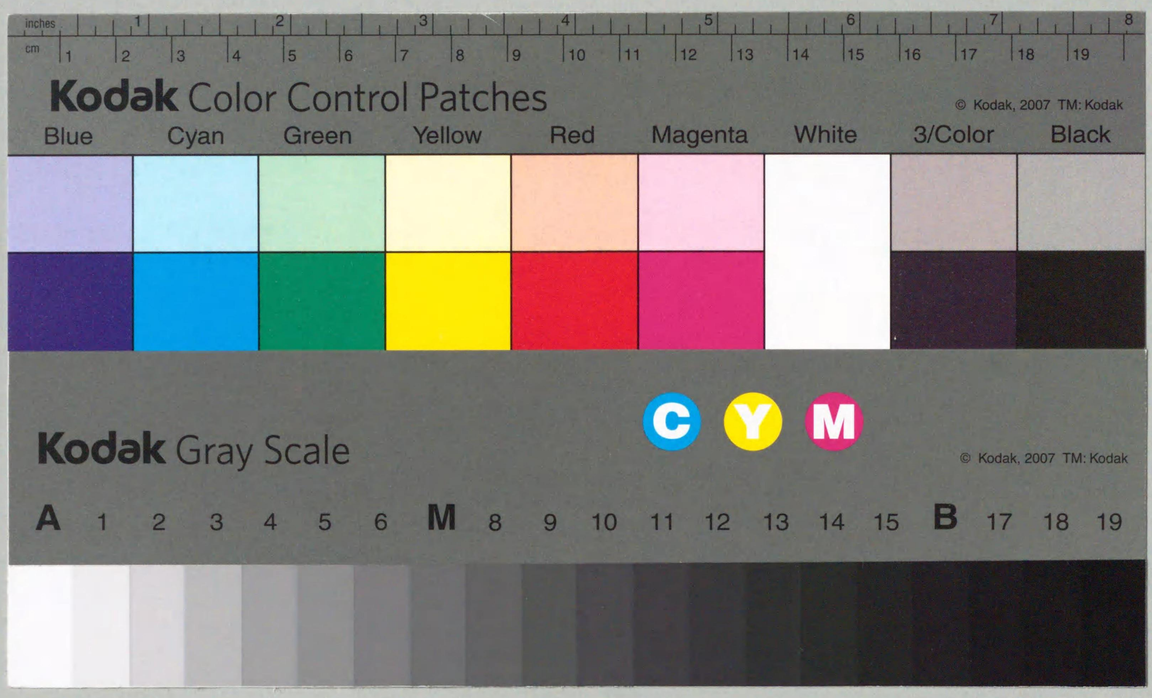


292.8
G13k
DD696361

貴族院
函3314
号
冊

外務省通商局編纂

近東經濟事情

東京　松誠堂書店發兌

292.8
G 13 k

國立國會図書館
41.6.10
国際情報局

696361

凡例

一、本書は主として土耳古、南露、巴爾幹、埃及方面に於ける一般經濟事情竝本邦との通商關係及之が增進策等に付記述したるものなるが此等地方と最密接の關係を有する小亞細亞、紅海沿岸及北部亞弗利加に於ける一般經濟事情に付ても極めて其の概略を併せて記述したり。

一、本書に記載する各地方は眞來我國との關係比較的密接ならざりしこと、特種の風俗習慣を有すること及歐洲戰後政治經濟其他各般の事情に亙り急激なる變化を來したること等の理由に依り其の詳細の事情に付ては今後の研究に俟つもの少なからず從て本書の內容に付ても完璧を期し難きものあり、此等の點は他日調査の完了を俟つて修正增補する所あるべし。

昭和二年五月

外務省通商局

近東經濟事情

目次

第一編　土耳古……一頁
第一章　總論……一
第二章　一般經濟事情……三
第一節　產業及交通……三
第二節　對外貿易……一六
第一款　最近貿易の趨勢……一六
第二款　貿易港としての君府……二〇
第三款　土耳古重要品貿易統計竝「スミルナ」港輸出品統計……二四
第三章　本邦との通商關係……二八
第一節　概說……二八
第二節　本邦品市場としての土耳古の現在及將來……三一
第三節　本邦への原料品供給地としての土耳古の將來……五四

第四節　通商促進に障害となるべき諸點……五九
第一款　國民購買力の低下……五九
第二款　土耳古の金融逼迫の狀況……六〇
第三款　信用調査の困難……六一
第四款　爲替相場の變動……六二
第五款　銀行の貸出警戒……六三
第六款　港灣設備不完全……六四
第七款　其他の困難……六四
第五節　日土間貿易促進に關し採るべき措置……六六
第一款　一般公衆並貿易に關する廣告の必要……六六
第二款　「インフォーメーション、ビューロー」の設置……六八
第三款　直通航路の開設……六九
第四款　金融機關の整備……八九
第五款　土耳古政府をして日土貿易の促進に熱心ならしむること……九一
第六款　人材の養成……九二
第六節　土耳古關稅法と本邦輸出品との關係……九三

第一款　土耳古關稅法概要……九三
第二款　輸出入制限並禁止……九四
第三款　現行關稅率と本邦輸出品との關係……九六
第四章　列國の競爭關係……一〇〇
附錄
Annex I. From Market Report of the Ionian Bank, Constantinople.……一〇五
Annex II From Market Report of the Chamber of Commerce, Constantinople.……一〇九
Annex III. Cours Des Marchandises.……一一四
Annex IV. La Stétistique du Commerce Extérieur Ture.……一三六
Annex V. Quantity of Importation of Turkey in 1923……一三八
Annex VI. L'etate des Bateaux de la Compagnie de navigation turque en Mars 1926……一四二
Annex VII Bourse de Vaieurs du 21 Octobre au 21 Novembre 1925……一四四
Annex VIII. Oversea Trade with other Countriee……一五〇
第二編　「ソヴィエト」聯邦黑海沿岸地方……一五五
第一章　「ソヴィエト」聯邦外國貿易概觀……一五五

第一節　概說……一五五
第二節　各國の對露貿易狀態……一五七
第三節　聯邦內地方別輸出入狀態……一六〇
第四節　「ソヴィエト」聯邦の貿易機關……一六三
第一款　總說……一六三
第二款　國營企業及官廳……一六四
第三款　「コオペラチヴ」……一六六
第四款　國立貿易株式會社……一六七
第五款　內外合辦會社及外國商社……一六八
第六款　結論……一七五
第二章　本邦と「ソヴィエト」聯邦黑海沿岸地方との通商關係……二〇九
第一節　概說……二〇九
第二節　對露貿易の研究……二一〇
第一款　「ソ」聯邦の輸入政策……二一〇
第二款　歐露向本邦商品……二一二
第三節　對露市場開拓策……二一八

第一款　一般方法……二一八
第二款　合併會社の設立……二一九
第三款　個人の活動……二二〇
第四款　本邦品の廣告及紹介……二二一
第四節　通過貿易（對波斯貿易）……二三二
第一款　歐露通過西歐諸國と波斯との貿易路……二三二
第二款　「バツーム」通過對波斯貿易……二三四
第五節　本邦「オデツサ」間航路問題……二四七
第一款　概說……二四七
第二款　黑海諸港貿易並船舶出入狀況……二五〇
第三章　露油に關する調査……二六四
第一節　露油の過去及現在……二六四
第二節　露國に於ける石油產地……二六五
第三節　露油の輸出……二六七
第三編　羅馬尼亞……二七五
第一章　本邦との通商關係……二七五

第一節　本邦輸出品市場としての羅馬尼亞の現在及將來……二七五
第二節　本邦への供給地としての羅馬尼亞國の將來……二七七
第三節　本邦人の投資及企業上より見たる羅國の將來……二七七
第四節　貿易助長上不備の點並對策……二七九
第一款　金融爲替……二七九
第二款　運輸……二八一
第五節　各市場に適切なる取引方法……二八七
第六節　本邦品廣告紹介の方法……二八八
第七節　取引上注意すべき事項……二八九
第八節　其の他貿易促進方法……二九一
第九節　本邦輸出品と羅國關稅率……二九二
第二章　各國經濟勢力の分布及競爭狀態……三〇二
第一節　歐洲大戰前に於ける各國經濟勢力の分布……三〇二
第二節　歐洲大戰後に於ける各國勢力の分布及競爭……三〇三
第一款　貿易上より見たる各國の勢力分布……三〇三
第二款　貿易上より見たる競爭關係……三〇四

第三款　投資上より見たる各國の勢力……三〇六
第四款　海運上より見たる各國の勢力分布及競爭……三〇八
第五款　結論……三一一
附錄
附屬第一號表……三一二
附屬第二號表……三一四
第四編　「セルブ、クロアート、スロヴェーヌ」……三一九
第一章　本邦との通商關係……三一九
第一節　本邦輸出品市場並本邦への供給地として「セ」國の現在及將來……三一九
第二節　本邦人の投資及企業上より見たる「セ」國の將來……三二一
第三節　貿易助長上不備の點並對策……三二二
第一款　金融爲替……三二二
第二款　運輸……三二四
第三款　保險及通信……三二七
第四節　取引上注意すべき事項……三二七
第一款　各市場に適切なる取扱方法……三二七

第二款　本邦品廣告及紹介の方法……三二八
第三款　商人の信用等……三二八
第二章　各國經濟勢力分布及競爭狀態……三二九
第一節　歐洲大戰前に於ける一般狀況……三二九
第二節　貿易上より見たる各國の勢力分布……三二九
第三節　貿易上より觀たる競爭關係……三三一
附屬第一號表　Importation 1924……三三五
同　第二號表　Exportation 1924……三三七
第五編　勃牙利……三三九
第一章　一般經濟事情……三三九
第一節　概說……三三九
第二節　外國貿易……三四〇
第三節　貨幣制度概要……三四三
第二章　本邦との通商關係……三四四
第一節　概說……三四四
第二節　勃國關稅法と本邦輸出品との關係……三四五

第六編　希臘……三五一
第一章　一般經濟事情……三五一
第一節　概說……三五一
第二節　產業及交通業……三五六
第一款　農業……三五六
第二款　工業……三五八
第三款　交通業……三六〇
第三節　對外貿易……三六一
第二章　本邦との通商關係……三六六
第一節　概況……三六六
第二節　希臘に於ける本邦品の將來……三六八
第三節　日希貿易發展策……三七二
第一款　日本商品宣傳の必要……三七三
第二款　日希間直接航路の設立……三七三
第三款　支拂方法の改良……三七七
第三章　希國に於ける各國の經濟勢力及競爭關係……三七八

第一節　貿易關係……三七八
第二節　金融關係……三八〇
第三節　投資及企業關係……三八〇
第四章　通商條約及關稅……三八三
第一節　日希通商條約及關稅法……三八三
第二節　輸出入制限又は禁止品……三八五
第三節　希臘輸入品の原産地證明……三八七
第四節　希國關稅法と本邦輸出品との關係……三八七
第七編「シリア」及「リバン」地方……三九九
第一章　概況……三九九
第一節　人口及面積……三九九
第二節　行政……四〇〇
第三節　教育……四〇一
第四節　財政……四〇一
第二章　産業……四〇二
第一節　農業……四〇二

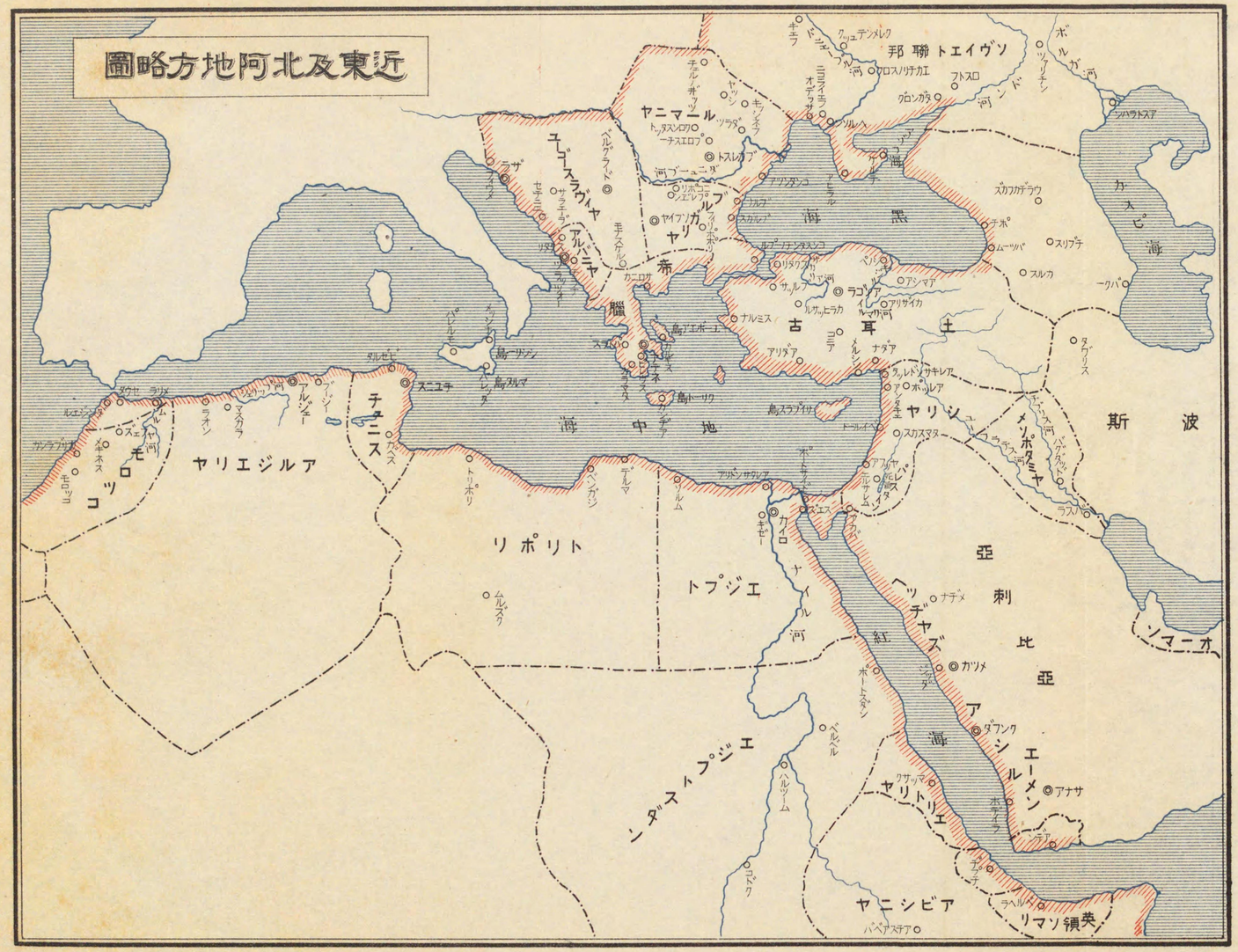
第二節　鑛産物竝に工業……四〇四
第三章「シリヤ」對外貿易概況と本邦輸出品の關係……四〇五
第一節　對外貿易概要……四〇五
第二節　本邦との貿易關係……四〇九
第四章「シリヤ」金融事情……四一〇
第八編「バレスタイン」……四一三
第一章　概說……四一三
第二章　主要産業……四一四
第三章「バレスタイン」對外貿易及金融……四一六
第一節　對外貿易……四一六
第二節「バレスタイン」の金融……四一八
第九編　埃及……四一九
第一章　一般財政經濟事情……四一九
第一節　棉花と經濟界との關係……四一九
第二節　埃及政府の財政經濟政策……四二一
第三節　埃及外國貿易狀況……四二六

第一款　輸入……四二六
第二款　輸出……四三一
第二章　本邦との通商關係……四四七
第一節　日埃間貿易概況……四四七
第二節　輸出入品取扱商……四四八
第三節　將來有望と認めらるゝ本邦品……四四九
第四節　貿易取引上注意すべき諸事項……四五〇
第五節　商品輸出促進策……四五一
附錄
附屬第一號　自一九二〇年至一九二四年對日貿易額……四五二
同　第二號　自一九二〇年至一九二四年對日輸出額及主要競爭國……四五二
同　第三號　自一九二〇年至一九二四年對日輸入額及主要競爭國……四五四
同　第四號　煙草統計……四五九
同　第五號　自一九二〇年至一九二四年對日埃及主要輸入品細別表……四六〇
第十編　「スーダン」國……四六五
第一章　一般經濟事情……四六五

第一節　「スーダン」の對外貿易概況……四六五
第一款　總說……四六五
第二款　輸入……四六六
第三款　輸出……四七一
第四款　對埃及輸出貿易……四七三
第五款　輸出入貿易經路……四七四
第二節　「スーダン」の生產物……四七五
第一款　棉花……四七五
第二款　「アラビヤ」護謨……四八〇
第三款　牛及羊……四八三
第三節　「スーダン」の海運……四八四
第一款　出入船舶及寄港船舶會社……四八四
第二款　運賃……四八五
第二章　本邦との通商關係……四八五
第一節　本邦よりの輸入品……四八六
第二節　本邦への輸出品……四八九

目次

附錄一　對「スーダン」各國輸出入貿易額表……四九三
同　二　主要商品輸入額表……四九五
同　三　主要商品輸出額表……四九七
第十一編　地中海沿岸北阿地方竝紅海沿岸地方……四九九
第一章　地中海沿岸北阿諸地方……四九九
第一節　輸入貿易概要……四九九
第二節　關稅制度……五〇〇
第一款　「アルゼリア」……五〇〇
第二款　「チユニス」……五〇一
第三款　「モロッコ」……五〇一
第三節　地方の廣袤と人口……五〇三
第四節　本邦との貿易關係……五〇四
第二章　紅海沿岸地方……五一六



第二款　「チユニス」……五〇一
第三款　「モロッコ」……五〇一
第三節　地方の廣袤と人口……五〇三
第四節　本邦との貿易關係……五〇四
第二章　紅海沿岸地方……五一六

近東經濟事情

第一編　土耳古

第一章　總論

一九二三年二月十七日「スミナル」に於て開催せられたる土國經濟會議は土耳古經濟政策の根本を樹立したるものにして同會議に於て議決せられたる土耳古經濟規約並決議は未だ充分に實行せられ居らざるも少くとも「ケマル、パシャ」が同會議に於て絶叫したる『經濟的勝利に成效せざれば劍の勝利は畢竟無意味に終るべし』との警告の精神は戰後土國人の經濟活動を支配し來れり元來土耳古人は公務に就くを本望と思惟し營業を輕蔑せるも大戰に依り激變せる思想界は當方面にも甚大なる影響を及ぼし旁々カピチユレーション廢止後の當國經濟界に於ける土耳古主義は益々濃厚となり經濟的發展を以て重大使命と考ふるに至れるを以て彼等の所謂經濟的復興の將來は目

下多大の興味を以て觀察せられつゝあり唯大戰竝希臘戰爭に依り被りたる創痍全く癒へざるのみならず歐洲經濟界の不況は同國にも影響を及ぼし經濟界兎角沈滯勝にて國民の購買力從て減退し所謂買度きものは山々あれど買ふを得ずと云ふ有樣なり他方資金の不足は勃興せんとする企業を屏息せしめつゝあり然れども貿易は年々發達し一九二四年の貿易は輸出に於て前年の其れに比し八七、六七％輸入に於て三三、六三％の夫々增加を示し（別紙附錄第四參照）一九二五年度に於ては更に進展して一九一四年に比し輸入に於て四八、七〇三、〇七〇土貨磅輸出に於て三四、二五一、四九九土貨磅の增加を示せり。

目下一部貿易業者金融業者の懷抱しつゝある土耳古經濟界は不景氣のどん底にありとの悲觀論は果して其儘に受入れ可然ものなりや否や姑く疑問とし將來の實際を見て判斷すること妥當なるべし政府の財政は困難なる地位にありて歲入不足は恒例なるも鐵道の建設都市の新設等に莫大の費用支出せられつゝあるを目擊するに於ては是亦一概に悲觀材料を提供するものと思考せられず啻歲入の不足を補ふ手段として或は關稅を增徵し或は複雜なる新稅を制定し或は專賣制度を種々の事業に及ぼさんとしつゝあるは產業の發達を阻止するものとして批難の聲少かなず。

以下項を改めて一般經濟事情本邦との通商關係列國經濟勢力の分布及競爭關係等に付述ぶる所あらんとす。

第二章　一般經濟事情

第一節　產業及交通

古來小亞細亞は黃金の國と稱せられたるも事實數字的には其經濟的價値未だ精知せられず唯農業の關する限りは將來灌漑と交通機關を設備せば豐饒なる農產地となるは衆目の一致する所にして最近政府當局も此點に著眼し農業立國を提唱して鋭意其發達に向て努力しつゝあり即ち農產物鐵道輸送運賃割引十分の一課稅法の廢止改良農具輸入農具に對する關稅免除農業銀行の改善農學校設立農業低利資金貸付品種改良施設等は右を立證するに足る鑛產物は地質學的には其種類數量の點に相當の價値認められ居るも目下の處は未知數なり次に製造工業は頗る幼稚にして未だ家內工業の域を脫せず僅に工場らしきものを製粉、製陶、粗布、棉油、「オリーヴ、オイル」製造業に見出し得ざるに非ざるも他文明國の程度に達し居らず從て當國に於ては靴下「シャツ」紙等の日用品より機械自動車に至る迄精製品の殆ど全部を外國より輸入しつゝあり（別紙附錄第五參照）政府

も右現狀に顧み工業原料の免稅又は減稅所得稅免除（通商に關係ある法制中の產業保護に關する法令參照）等に依り工業の勃興を計り他方精製品上の輸入稅高率なるに鑑み半製品の加工漸く起らんとするの氣運にあり。

土古耳殊に君府は歐亞兩大陸交通上樞要の地位を占め居るも交通機關完備せず港灣の施設宜きを得ず尙從來土古耳人が商業を蔑視せし結果商權は所謂「レバンチン」猶太人乃至外國人の掌握する所となり加之戰亂續發せしを以て土耳古は商業上其天惠の地位を充分に發揚することを得ざりしも最近土耳古人が商業に興味を抱き始め政府に於ても港灣の修築鐵道の修繕及增築稅關倉庫の改修通關手續の改正等を企圖し居るを以て此等の施設完成の曉には商業の發展目醒しきものあるべし當最近土耳古政府が土耳古人主義を振翳して從來產業方面に有力なる地步を占めたる「アルメニア」人希臘人を國外に放逐し其缺陷を其方面に不慣なる土國人を以て補充せんとしつゝあるは產業發達の過渡期に處する手段として政治上或は已を得ざるものとするも產業政策上果して適當なるや否や疑はし。

外國資本の輸入は常に背後にある外國の政治的干涉を招きたる辛き經驗に基き土耳古政府は產業發達の爲外資輸入の必要を認めつゝも尙過酷なる條件を附するを以て外國人は投資の不安を虞れて投資するを欲せず唯最近都市の建設鐵道の修築等に伴ひ英獨商人の材料供給するものあるも往時の如き利權の性質を帶ぶるものに非ず。

內地交通機關として歐洲領土內に「オリエンタル」鐵道亞細亞「アナトリア」鐵道「スミルナ」「エデン」鐵道「スミルナ」「カサバ」鐵道「ムダニア」「ブルサ」鐵道「メルシナ」「タルサス」「アダナ」鐵道布設せられ居るも未だ充分に其機能を發揮し居らず波斯と土耳古間には從前通り駱駝に依る貨物輸送行はれ居るも邊境の治安全からざる爲往時の如く盛ならず其他內地の交通道路は何れも頗る不完全なり。

土耳古は地中海「マルマラ」海峽黑海に面し海峽其間を貫通するも現代的設備を有する港灣は君府「スミルナ」「メルシナ」「サムソン」「トレビゾンド」に過ぎず而て輸出入の大部分は君府竝其附近の港に於て取扱はれ一九二四年中君府に入港したる船舶總數四千四百五十二隻中通過船二千六百七十六隻碇泊して荷揚荷卸せしもの二千七百七十六隻なり一九二五年は前年度に比し一千九十五隻の增加を示すも右は黑海方面に向ての通過船增加せしに依る。

現在土耳古に於て沿岸貿易に從事しつゝある外國汽船會社は英佛伊にして一九二六年七月一日迄沿岸貿易に從事することを許さるも其以後には政府の補助する土耳古汽船會社に對してのみ許

與する方針なりと云ふ。

即ち「ローザンヌ」條約第九條により各締約國は沿岸貿易を自國船に而已許與する權利を留保し土耳古政府は一九二四年七月一日以降二箇年間は外國船舶に引續き沿岸貿易を爲すことを許與し其以降に於ては特に政府の許可を得たるものに限ることゝなせり。

現在土耳古に於ては沿岸貿易を爲すことを許さるゝ外國汽船會社は左の九社なり。

佛國會社

Les Messageries Maritimes

La Compagnie Paquet

La Compagnie Fraissinet

伊太利會社

Le Lloyd Triestino

La Société italienne des Services Maritimes

La Société de Navigation Rossi

英國會社

The Khedivial Mail Company

M. & Y. Constant Company

Ellerman Line, Ltd.

然るに土耳古政府は外國船に對して將來沿岸貿易を許可する意嚮なきが如く土耳古汽船會社は從來外國船の行ひ來れる沿岸貿易業務を繼承する爲夫々準備を爲しつゝあり

土耳古政府の補助する Zeir-in-Sepain 會社は土耳古に於ける唯一の大會社にして一九二六年三月現在の所有船舶は最大五千噸より最少百四十噸に至る三十四隻總噸數四萬五百五十噸なり（別紙附錄第六參照）。

然るに前記汽船の約四分の三は政府の資金を以て購入したるものなり曩に希土兩國の間に人民交換の行はれたる際多數土耳古人を輸送する必要に迫られ土耳古商務省は五六十萬磅を投じて多數の小型汽船を購入せり然るに土耳古汽船會社は缺損を續け資金の借入に困難を感じ多くは氣息奄々の狀にあり。

土耳古に於ける港稅、燈臺稅、埠頭稅、水先料等は他國に比し極めて高率なるが如く希臘に比して約十倍の課稅に服し居る狀況なり政府は此等の問題と併せて保險及船舶業者に資金融通の方

法を攻究する爲主要なる船舶業者商業會議所議員等よりなる委員會を設置したり

尙參考の爲週刊「ミリー、テヂャレット」誌の記事『土耳古國產業の發達』を記すれば左の如し。

數年前より土耳古政府の爲せる施設效果漸次表はれ新土耳古は內外の障害を排し各般に亙り堅實なる發達を遂げ商業經濟竝農業及工業方面にも著しき進歩を示しつゝあり。

一、農業方面

近時土耳古の目的とする所は生產を增加せしむるに在り是一は農業が土耳古の活動の大原動力なるが故に其障害となるべき總てを排除し農民の生產力を增加せしめんとするに在り。

土耳古は其地理的關係に於て大農業國たるべき運命を有す是即ち吾人が農業方面に於て最善の努力を盡しつゝある所以にして左記各種の改革は國內の農民生活に於て極めて重要なる事實たり即ち十分一稅の廢止、農民に對する種子家畜及農具の配布其他農業銀行より信用を供與せる事實は生產地の範圍を擴大し且つ其能力を增加せしめたり一九二四年は各地方氣候不良なりしに拘らず一九二五年秋期の收獲は前年に比し實に五割の增加を示したり而して右は現首相「イスメット、パシヤ」によりて劃策せられたる二作制度の結果たり。

他方吾農業狀態の改善は輸出品の生產額を增加し輸出入關係の差額を整理し外國爲替率を改善したり而して左記の事實は一九二五年に於ける生產品の增加竝に貿易狀態の好境を雄辯に說明す。

乾果は吾國主要輸出品目の一にして昨年の收獲は五千六百萬基瓦にして前年の一千四百萬基瓦に比し實に四倍の增額に達したり。

煙草は一九二四年度に於て六千萬基瓦にして一九二五年の收獲五千五十五基瓦なりしが右は降雨の爲量に於て增加を示したるも質に於て劣りたり。

次に阿片は土耳古輸出品中の重要なる地位を占め一九二四年に於て二千二百箱なりしが其翌年に於て四萬五千箱に達したり。

「スミルナ」地方に於ける棉花收獲は四萬梱にして「アグナ」地方に於ては八萬梱の產出あり一九二四年度に比し何れも增收を見たり「スミルナ」地方に於ける「オリーヴ」乾葡萄及無花果の收獲のみは前年に比し減少したり然れども價格騰貴の爲に國內經濟關係に於て影響せる所少し。

二、工業方面

一九二五年度に於ける商工業上の顯著なる進歩は各地に幾多の會社消費組合及工場の創設せられたるを以て之を證すべく更に在來の銀行に加ふるに國民工業銀行の設置せらるゝにありて之が爲「ベーコス」製靴工場「フェーズ、ハネー」織物工場「バキルキョイ」製麻工場其他曾て陸海軍省附屬たりし「ハレケー」織物工場等の設置を見たり。

一九二五年に於ける建築物は「マラス」及「トシヤ」に於ける精米工場、「スバルタ」及「ブニアン」紡績工場、「ウーシャク」及「スレース」に於ける二製糖工場之なり（之等工場の建築物は或物は已に完備せり）更に小亞細亞中部に於ける工業的中心點を確立する爲に「マラチア」に「シ　メンス」會社と合同し數個の工場建設の爲に視察員を派遣せり「マラチア」は「メシー」川を利用して水力電氣を起し得べき地位にあり右の外「クタヒア」床瓦及磁器工場「ヤロヴアチ」製革工場其他土國製鐵會社の建設計畫中なり。

政府は工業奬勵の爲に百六十四萬土貨磅の豫算を計上し且同時貿易增進の爲にも常に最善の努力を惜まず政府の目的とする所は主として鐵道網を完備するにありて「アンゴラ」より東方に達する鐵道も亦開通するに至れり。

三、商　業

一九二五年度に於ける輸出入表を概觀するに一九二四年度に比し通商工業著しく發達し更に吾經濟狀態も滿足なる狀態にあるを知る可し。

一九二二年度に於ける土耳古の輸出總額は五千萬土貨磅にして輸入總額一億二千萬土貨磅なり即ち輸入超過は七千萬土貨磅に達せしも一九二四年に於ては總じて順境に向へり即ち輸出總額一億五千七百萬土貨磅輸入總額一億九千三百萬土貨磅にして其輸入超過三千六百萬土貨磅に下り前年の輸入超過額に比し著しき進歩を見たり。

一九二五年に於ける統計中未だ輸出入總額發表せられず然れども吾人の入手せる情報によれば輸出入差額は更に順境に向へるものゝ如し即ち吾輸出入關係は略同額にして次年度に於ては更に輸出額增加の傾向あり。

土耳古の輸出增加輸入減少に拘らず對外爲替關係は之に比例して順境に向はず右に關し疑問を懷くものあり吾人の見解を以てすれば土耳古通貨の下落は國內の經濟的發動を調整し得べき國立銀行の存在せざるに起因す然れども土耳古の商業發達は國內到る所に顯著となり昨年度に於て一億六千四百萬土貨磅なりし土耳古の豫算（歳入か）は大藏省發表によれば二億三千四百萬土貨磅に達し其增額は土耳古の經濟的進歩發達を證明するものなり。

四、鑛業奬勵法

土耳古政府は鑛業殊に鐵工業の進歩が產業開發の爲緊急の事業なるに著眼し千八百萬土貨磅を四箇年間に支出して鐵工業に充つる計畫を立て目下之が豫算を議會に請求中なり。

商務大臣「アリー、ヂェナニー、ベー」が新聞記者に談れる處に依れば今後四箇年にして土耳古は國內に需要する軌條、枕木、鐵梁等を供給し得る見込なりと云ふ。

次に週刊「エコー、ド、ツルク」揭載記事により外國會社の現狀一班を記せば左の如し。

現に土國にある外國會社は資本十萬土貨磅以上のもの其數二百五十四にして何れも商務省の管轄に屬す。

一九二四年に於ては外國會社數七十八にして之を其國籍及資本別により表示するに左の如し。

	個數	資本
英國	二三	約九六、〇〇〇、〇〇〇（土貨磅）
佛國	一三	二七、〇〇〇、〇〇〇
伊太利	九	二〇、〇〇〇、〇〇〇
米國	七	三八、〇〇〇、〇〇〇
白耳義	二	六二、〇〇〇、〇〇〇
和蘭	四	一、〇〇〇、〇〇〇
瑞西	六	三、〇〇〇、〇〇〇
露西亞	一	九、〇〇〇、〇〇〇
埃及	一	一〇〇、〇〇〇
羅馬尼	一	二、〇〇〇、〇〇〇
勃牙利	一	二〇〇、〇〇〇
希臘	一	七、五〇〇、〇〇〇
獨逸	八	（資本額未詳）

以上の諸會社を事業の性質により分類すれば左の如し。

保險會社	二八
商事會社	二二
汽船會社	一〇

煙草會社	七
銀行	六
「カーベット」製造會社	一
自動車會社	一
石油會社	一
時計會社	一
航空會社	一

一九二四年中土耳古に於て其事業を中止せる外國會社數十三に達し其内譯保險會社七、銀行三及商事會社三なりとす。

次で土耳古に於ける外國會社の事業經營狀態及其事業開始前に於ける手續換言すれば如何なる法制の下に右外國會社が存在を許さざるやにつき簡單に說明すれば左の如し。

今土耳古に於ける外國會社に關する現行法律は(一)一九一四年十一月三十日發布の法律及一九一五年八月十日發布の其附屬法規及(二)一九一六年三月三十日發布の法律なり。

外國會社を土耳古國内に建設せむとする場合若は土耳古地方に於て一個又は二個以上の支店其他代理店を說けんとする場合は豫め土耳古共和國商務大臣に宛て(一)請願書(二)附屬書類を提出せざるべからず請願書に記載すべき事項左の如し。

(イ)　會社の名稱
(ロ)　本社
(ハ)　國籍
(ニ)　資本
(ホ)　總ての土耳古法律及現行法規を遵守すべき旨の保證(以上)

會社は右請願書に附屬書の寫本を添付すべし右は左の諸點に關し公證人と土耳古領事館の證明を受けたるものなることを要す。

(一)　會社法人設立に關する證明
(二)　會社の定款
(三)　其本社所在地官憲の證明は該會社設立の適法にして且つ會社は誠實に業務を執行しつゝあることを證明するを要す。

(四)　土耳古に於て該會社を代表して商行爲を行ふ者(右代表者は要するに土耳古法廷に

於て責任を負ふべきもの）に對する委任狀（以上）

土耳古に於て支社又は代理店を設くることを希望する者は以下諸規定に準じて許可せらるべし

右會社支店及代理店代表者が如何なる國籍に屬すれ共會社は會社の屬する國籍を有する事勿論なり。

會社の支店及代理店建設地の如何に拘らず法律上土耳古に於ける會社所在地に以て法律上の住所とす土耳古に設立せられたる外國會社は毎年第三月末其營業報告書を商務省に提出すべし保險會社に就ては其業務執行に關し特別許可を受くべく其行爲が公衆の利益を害する場合には其許可を取消すべし利權會社及公共事業を營む會社の通信は其私用のものと雖土耳古語を以てせざるべからず總べて外國會社は土耳古政府又は個人宛の通信に際しても亦土耳古語を使用せざるべからず。

第二節　對外貿易

第一款　最近貿易の趨勢

土耳古の外國貿易は大戰中一時停止の姿なりしが休戰と共に非常に活氣を呈し其後一時閑散期にありしが最近漸次盛況に向ひつゝあり一九二三年には輸出總額土貨八千四百六十五萬一千百九十磅輸入土貨一億四千四百七十萬八千六百七十一磅なりしが一九二四年には輸出一億五千八百八十五萬七千九百五十七磅輸入一億九千三百六十一萬四十八磅に夫々增加一九二五年度は既述の如く更に增加して輸入二億四千二百三十一萬四千百十八磅輸出一億九千三百十一萬九千四百五十六土貨磅に及べり同國輸出品の重なるものは煙草、棉花、羊毛、阿片、緞通、皮革、毛皮、繭、葡萄、無花果、乾果、栗、「バロニア」（鞣皮明）、蠟、「ゴムアドラガント」、「オリーヴ油」、棉實油其他植物性油、穀物、甘草等にして輸入品の重なるものは綿糸竝綿製品毛糸竝毛織物、絹糸竝絹織物、石炭、石油、砂糖、食料品、機械、紙類等なり。

敍上の如く土耳古の外國貿易は年々大體順調なる行程を辿りつゝあるも其發達を阻害する原因例へば(一)主なる產業たる農業の發達遲々たること(二)爲替相場不安定なること（別紙附錄第七、最近の爲替相場表參照）(三)產業に於ける主要分子たる希臘「アルメニア」人の追放(四)煩雜なる課稅の突發的實行(五)中繼貿易の減少(六)流動資本の缺乏(七)交通機關の不完全等が今尙貿易の自由なる發達に對し有害なる影響を及ぼしつゝあり。

而して一九二三年度に於て輸入を仰ぎたる國の重要なるものは價格よりすれば伊太利第一位を

占め總額の約一九「パーセント」餘を土耳古に輸入し英佛之に次ぎ數量よりすれば米國第一位に位し總額の一四「パーセント」餘に當り英、勃、伊之に次ぐ尙同年度に於て價格よりすれば土耳古よりの輸出先中第一位を占むるは英國にして一八「パーセント」餘を輸出し伊、佛之に次ぎ數量よりすれば英（一三「パーセント」餘）伊佛の順序なり。

一九二四年度に於ては對土輸出國は伊、英、獨、佛、米の順序にして日本は第十四位に位せるも前年度に比し一位昇進す而して同年輸出先は伊、英、獨、佛、米の順序なり。

次に一九二五年度に於ける同國貿易の大勢を見るに輸入總額は二四二、三一四、一一八土貨磅輸出額は一九三、一一九、四五六土貨磅にして前年に比し既述の如く輸入に於て四八、七〇三、〇七〇輸出に於て三四、二五一、四九九磅の增加なり。

輸入品中綿製品依然首位を占め七四、一二七、六三四磅にして全輸入額の約三割を占め、次は穀物の二二、六九一、〇九二磅（全額の約九％）、金屬品二一、五五六、〇八一磅（全額約九％）、植民地物產二〇、八六三、七一〇磅、毛織物竝毛絲一七、六二五、五二一磅の順序たり。

伊太利は輸出國中依然第一位を持し、土耳其輸入貿易總額の約一八％即ち四三、四二一、〇七七土貨磅を占め、次で英國三七、八四六、八一七磅（一六％）、獨逸二七、四四二、〇七二磅（一一％）、佛國二六、〇七七、九六六磅（一一％）、米國一九、六五四、〇七四磅（八％）の順序なり。而して同年內に日本より輸入したる高は四百五十三萬五千五百六十五土貨磅にして、前年に比し百四十七萬八千七百五十九磅を增加を示し、又一九二四年には輸入國中第十四位なりしが一九二五年には第十三位に昇進したるを見る。

同年に於ける煙草の輸出額は六〇、九八四、四二四土貨磅にして、總輸出額の三一％を占め、前年に比し一四、四〇二、九九二土貨磅を增加を示し、次は果實の三七、六一七、六八二土貨磅（一、八六〇、一六八磅減）、棉花の一五、四七六、八二一磅（三、五二八、八二二磅增）、羊毛の一一、五四八、一一〇磅（一、六二二、一五九磅減）とす。一九二五年に於ける輸出狀況は果實竝羊毛を除き大體良好にして、前年に比し二一％の增加を見る。

輸出先の重なるものは伊、獨、米、佛、竝英にして就中伊太利への輸出は五〇、四九〇、七一八土貨磅に達し、同國よりの輸入を超過すること七、〇六九、六四一磅に上り、米、獨共に土耳古よりの輸入は輸出を超過しつゝあり。

尙日本の土耳古貿易界に於ける地位は別章日土通商關係に於て詳述すべし當國は別紙附錄第四表貿易統計の示す如く數十年來輸入超過にして一九二三年には六千十三萬七千四百八十一磅、一

九二四年には三千四百七十四萬三千九十一磅の超過額を示す。

第二款　貿易港としての君府

土耳古に於て外國貿易の中心をなすものは君府なるも近來「スミルナ」港は內地に對する貨物の供給地とし旁內地物產の捌口として殊に「アナトリア」地方の農產物竝同西南部の乾果業日々隆盛となるに伴ひ右乾果輸出に活氣附つゝあり。

尙君府商業會議所最近發行の報告は過去數年間に於ける君府の經濟的發展に關し左の如き記事を登載せり。

君府の通商貿易が最近一頓挫を來したるは爭ふべからざる事實なり右經濟的停滯の原因を詳にせんが爲に(一)、一九一四年間以前の商業活動期　(二)、一九一八年に至る閑散期　(三)、一九二三年に至る隆盛期　(四)、一九二三年以來の衰微期　(五)、君府の施設改善期の五時期に分ち土耳古の濟關係を考慮せんとす。

(一)、第一期一九一四年以前の活動期　一九〇八年始まる本期間の特色は經濟的堅實性にありて地中海沿岸諸國に於ける國際市場としての地位は甚だ堅實にして運輸事業旺盛且つ通商關係に於て無敵の狀態にありたり而して爲替相場安定し取引狀態安全にして實に通商關係極盛の時期と見るを得べし。

(二)、第二期、大戰中(一九一四——一九一八)の比較的閑散なりし時期　此時期に於ては市場閑散にして社會生活不安定なり且つ君府商業に最も重要なる貨物取引停頓の狀態にありたり露國及羅馬尼との政治的阻碍其他黑海に於ける露國艦隊の行動の爲に小亞細亞及勃牙利との海上貿易其他の問題は妨害を受け聯合諸國の海軍力の存在及航海の危險なりしが爲に中立諸國との海上交通も亦阻止せられたり。

(三)、第三期、一九一八年休戰當時より一九二三年に至る隆盛期　商業會議所の報告中當時君府に於て商事の繁榮なりし關係につき左の如き記事あり。

(イ)、過去數年間に於ける諸般の缺乏を補充する爲君府は勿論全土國勃牙利羅馬尼露國及「コウカサス」地方より各種の注文殺到したり。

(ロ)、西歐諸國の生產過剩竝輸出刺激の結果四箇年間君府の輸出を盛ならしめたり。

(ハ)、露國は歐洲との戰爭を中止し君府を通過する通商貿易榮えたり。

(ニ)、黑海岸諸國より盛に原料品を輸出したり。

(ホ)、商況不安定の爲商人は成る可く荷物の貯藏を希望したり。

(ヘ)、君府は東方諸國に於ける最大貿易港たりと雖此期間に於ける商業活動は例外の變體たりしは明なり即ち右は其當時に於ける土耳古爲替相場の下落及生活費の增加によりて證明するを得べし。

(四)、第四期、此時期は第三期に比し明に商業上の衰頽時代なりと雖最近一年間は其衰退の程度比較的徐々にして次第に經濟的復活の曙光を見確實性を帶ぶに至れり第四期に於ける特色を列記するに左の如し。

(イ)、一九一八年より一九二三年に至る第三期に於ける商品輸入の過多が原因となり荷物は著しく堆積せられたり。

(ロ)、地中海沿岸の諸港は急に發展し君府と競爭の地位に立つに至れり。

(ハ)、君府港は港市として必要なる近世的設備と制度とを缺く。

(ニ)、荷揚會社の如き寄生的組織の存在するが爲に有害且不利を來す場合多し。

(五)、第五期、君府の施設改善期　此の期に入りて君府の商業は緩漫ながら大體左の階程を辿り進歩發達しつゝあるを知る。

(イ)、土耳古商業を廣く海外に紹介せんが爲に商業上の宣傳をなしたり。

(ロ)、生産の安全且つ永續的生産の手段を企圖せり。

(ハ)、國民銀行を設立し外國銀行に拒否せられたる商人の信用を整理するに力めたり。

(ニ)、包裝其他の事情に留意し輸出に必要なる事項に注意を拂ひたり。

(ホ)、國際博覽會に出品し國産紹介に努力せり。

(ヘ)、港内警察の特別制度を設けたり。

(ト)、港内及海上運輸關係を實際家に付信托する希望を有す。

(チ)、經濟上更に大なる特權を商業會議所に賦與する希望を有す。

(リ)、荷揚荷卸に關する特別制度を設置せり。

以上の結果明に君府地方に於て經濟的發展を來し諸事好都合なるに至れり更に君府商業會議所は商業發達を助長せんが爲に左の如き設備を施したり。

(イ)、君府港をして國際貿易の中心地たらしめんが爲に近世的設備を設置す。

(ロ)、港内行政關係につき特別豫算及特別制度を設け港内事務管理をなす。

(ハ)、倉庫の數を增し荷物積替の便宜を圖りつゝあり。

(ニ)、荷揚會社に命じ其重要なる地位にある人物を更迭し又は會社の態度方針を變更せし

めたり。

(ホ)、大定期船に對し直接石炭を供給し得る爲に石炭倉庫を設置す。

(ヘ)、「ハイダル、パシヤ」に於て荷揚荷卸に關する制度を設置す。

(ト)、商業會議所内に西歐商業視察制度を設置す。

(チ)、銀行内商業信用制度を改善す。

商務省は右の設置により君府港の進歩發達を遂げしめ從來政府政策方針の緩漫なりしが爲に生ぜる君府の衰微を回復し再君府が地中海沿岸諸國に於ける第一港として商業上有利の地位に到達し得る爲に必要なる設備を爲すべき旨聲明し居れり。

第三款　土耳古重要品貿易統計並「スルミナ」港輸出品統計

參考の爲一九二四年度の土耳古重要品貿易統計及一九二四年「スミルナ」港より輸出せられたる重要貨物並特產品の表を掲ぐれば左の如し。

(一)　一九二四年度土耳古重要品貿易統計

品目	輸入(單位土貨磅)	輸出(單位土貨磅)
家畜	三四二、九〇四	三七五、五五五
同上副產物	一一二、五〇三	七〇八、七一七
穀物	四、〇六七、七二〇	四四八、五八五
果實並野菜	二八九、七七〇	四、六五三、七二八
砂糖其他食料品	二、二五五、四四三	一〇六、八三八
植物性油	一〇七、〇七八	二六二、八八〇
煙草	一九、九一九	七、七九七、二三二
獸皮	一六八、八七九	二九四、四八〇
製皮	四二一、四二〇	七四、三六七
紙並紙製品	三四〇、七六五	九八八
棉花並綿製品	五、八〇二、三四五	一、三七七、三二六
麻及麻糸	三五四、一六五	二五、八六四
生糸及絹織物	二八五、二四二	二八八、三九四
羊毛及毛織物	一、一一〇、七一六	一、三〇二、〇一二
「ガラス」並陶器	三一六、七七三	一六、五三六

金物類	二、八六一、五五三	八三二、一六五
機械	四七七、四〇九	二、七五六
石油	九〇八、二五八	五、六四三
染料	三三五、二二五	一、五八一、六五七

(二)

一九二四年「スミルナ」港より輸出せられたる重要貨物並特産品

(「スミルナ」商業會議所調査)

品目	重量(キログラム)	價格(土貨磅)
乾葡萄	四七、七一二、四〇六	一八、一〇一、九三五
無花果	二九、六一〇、二一六	一〇、〇八五、三三七
「パロニア」(繰皮用)	二七、四六九、九〇二	一、九四五、六三〇
甘草根	一一、七一五、七二五	一八、九一〇、六七八(誤?)
煙草	九、七四〇、一八四	一八、九一〇、六七八
金剛砂	七、六五八、七二六	二八二、七九〇
乾野菜	四、七八四、四五八	四八六、四九九
穀物	二、五〇四、四四九	二六五、九四九
棉花	二、〇三五、一〇七	一、九七四、七二二
麻實	一、二七七、七五六	一一八、一六八
「タピール」	一、〇四八、三八七	三、一〇〇、〇九六
胡麻	八一一、七五五	二二四、六八三
獸皮	三八二、五〇六	四四〇、四一四
玉葱	三一六、七六八	三二六、六三八
栗	三一一、三四一	四四、〇八二
肥料	二一七、一七七	六、七七三
胡桃	二〇三、〇二一	二四、四三九
「オリヴーヴ油」	一七五、二三四	七八、三六三
阿片	五五、九二一	九九六、二三二
羊毛	一四一、三五二	九二、一九七
蠟	七三、〇三九	七四、九一六

香料	四一、一〇二	一八、九一八
薔薇の精油	三八五	七八、二二八
月桂樹の葉	四、四八六	七三九

第三章　本邦との通商關係

第一節　概說

日土間に通商關係進展せしは休戰以後のことにして其以前には大阪商人中村某が「オットマン」宮廷に漆器、陶磁器、絹布等の日本工藝美術品を納めつゝ小規模に本邦雜貨を取扱居りしのみにて其以外には所謂貿易關係殆どなかりしも休戰と共に君府經濟界活氣を呈し他方露國等より幾多の避難民君府に集り來れるに連れ戰爭中世界的に販路を開拓したる本邦雜貨の當地に於ける需要激增し現に當時君府の一本邦雜貨取扱商（「チエッコ」人にして「バスカル、レーモンド」と稱し曾て中村の店員たり現店名富士山）の蚤取粉の賣上高のみにて優に其日の生計を營むことを得たりと云ふ而て粗布等が大量に輸入せらるゝに至りしは玆數年來のことゝす日土貿易關係趨勢を明示するに足る資料なきも大藏省理財局の調査せし所に依れば一九一九年本邦より土國への輸出總額は中繼輸出を除き漸く二十二萬九千八百九圓なりしに五年後の一九二三年には二百十六萬三千八百九十六圓に激增し其翌年一九二四年には四百三十七萬一千圓に增加せり同國稅關に於ても大體右に近き數字を發表し居れり。

右增加の主因は粗布の輸入にありて其破竹の勢當時綿布界を支配せし米國製品を驅逐するに至れり大阪商業會議所の調査に依れば大正十三年（一九二四年）大阪より土耳古に仕向られたる綿布のみにても生「シーティング」七、八一八、八〇〇碼價格二百五萬三千五百二十圓天竺布九三六二〇碼二萬四千二百二十六圓綾木棉一四〇、〇〇〇碼三萬八千二百三圓に達せり君府商業會議所の調査せし所に依れば粗布以外の輸入品は一九二三年度に於て絹織物の輸入額四千七百七十六「リーラ」（百十「キログラム」）なりし由なるも之以外に「リオン」邊より中繼輸入をなし居るものもありと云ふ臺灣茶が紅茶混料として相當輸入せられ居るものゝ如くなれど其數量竝價格不明但し綠茶は當方面人の嗜好に適せざるを以て殆ど輸入せられず土耳古「コーヒー」茶碗として瀨戸安物乃至金線入りの東洋模樣物歡迎せられ二千「リラ」內外輸入せられし由其他「ブラッシ」篩の二千五百二十一「リラ」金物類九千九百三十三「リラ」等あれど殆ど小口取引に依りしものゝ如し同年後莫大小殊に靴下相當輸入せられ其他輸入品目に變動を認むるも未だ信賴し得べき報告に接せず「ゴ

ム」「セルロイド」製玩具は數年前は相當輸入せられたる由なれど近來は獨逸製品に壓倒せられ勝なりと云ふ。

當方面人の日本製品に對する嗜好に付注意すべきは陶磁器、漆器、絹織物等を日本物として賞美するは露國希臘等の外國人にして一般土耳古人の所謂日本物に對する嗜好は未だ開拓せられ居らず當國に於ては前記日本商品の殆ど全部現在外國商人に依りて取扱はる前顯大阪商人中村は大戰後當地に再渡航し來りしも市況不振に遭遇し暫くにして引揚たり中村に前後して露國貿易に經驗ある横井某も君府「スタンブール」に雜貨商を始めしも當地の事情に通せず旁希臘人「アルメニア」人等の競爭に對抗することを得ずして露國方面に轉せり由之觀之言語風俗習慣を他所と餘程趣を異にして加之猶太人又は所謂「レバンチン」の商業上に相當强固なる根據を有する土耳古に於て而も物價高き君府に小資本を以て本邦雜貨商を營まんとせば多大の困難と犧牲とを覺悟せざるべからず。

現在土耳古商人中本邦製造業者又は貿易業者の代理店たらんことを申出るもの少からず土耳古官憲商業會議所に於ても日本當業者が土耳古人の代理店を設定せんことを望み居るも不幸當國に於ては商事に曉通する土耳古人は極て少數なりと云ふ。

要之當國稅關の發表せし日本より土耳古への輸出總額統計即一九二三年度一、二二〇、一〇六「リラ」一九二四年三、〇五六、八〇六「リラ」一九二五年四、五三五、五六五「リラ」竝大藏省理財局調査資料を綜合するに日本よりの賣込金額は年々增加の傾向あるも現下の國民購買力を以てしては俄に激增を豫期し難く寧ろ此際當方面に對しては著實なる經濟的發展と更に勃牙利又は「イラック」波斯方面に對する市場開拓に留意することを要す尙土耳古物產にして日本へ輸出することを得べきものもあれば右買入をも試み以て日土貿易の建全なる發達を計るを至當と思料す（大正十五年五月現在に於て土貨九「リラ」は英貨一磅に相當す）。

第二節　本邦品市場としての土耳古の現在及將來

土耳古は建國以來常に兵戰に惱まされ、殊に第二十世紀に入りて以來希臘、伊太利との戰爭に引續き第一、第二回の巴爾幹戰爭あり其翌年には歐洲大戰爭勃發し引續き希臘との戰爭あり一九二三年「ローザンヌ」講和條約に依りて平和の克復する迄約二十年間殆ど兵戰に寧日無き狀況に在りたり從て此間產業文化の進步が停頓したるのみならず國內は兵亂の巷と化し國庫の窮乏は益々甚しく國民は約三十萬の壯丁を殺し家財を喪ひ一時は國を擧げて疲弊困憊の狀に陷りたりと言ふ

も敢て過言に非ず、「オットマン」王朝に代りて政權を握れる土耳古國民黨は更始一新の氣慨を以て國内諸般の改革に著手し法制政治より初めて宗教教育産業の各方面に及び尚進んでは民俗因襲に至る迄舊慣を捨てゝ泰西の長につかんことを努めつゝありと雖維新の業は一朝にして爲し遂げ得べくも非ず少くとも産業及國民經濟狀況は尚甚しく歐洲諸國に比して幼稚なる狀態に在り。從つて國内經濟組織も到底之を歐洲諸國と同列に見ること難く加ふるに民力の疲弊は一般購買力を低下せしめ資本の蓄積を困難ならしめたり殊に平和條約後の土耳古は小亞細亞の農牧業を外にして何等富源の開發せしめられたるものなく且鑛業方面に於ても未開發の富源ありと報せらるゝも其の前途は未知數なるが故に差當り商品市場として多大の期待を此地に置くこと困難ならむ唯國民生活程度低くして購買が少き爲歐洲産の上等品よりも我國製品の如く價格の低廉なること競爭上最も有利なる事情あるを以て此點に於ては歐洲産貨物を驅逐して吾國商品を賣込む餘地尠からずと認めらる、即ち近年英佛の製品が漸次獨逸、伊太利の商品により驅逐せられたるが如く獨、伊商品の或物に對しては或程度迄日本の貨物によりて之を驅逐し得べく其成績の如何は一に本邦當業者の努力如何にかゝるものと信ず。

本邦より土國への輸入品中最も重要なる地位を占むるものは綿織物就中「グレイ、シーティング」にして之が正確なる數額は本邦より如何なる經路を辿りて到來するか詳知し難きも一九二三年中「グレイ、シーティング」丈にても輸入總額百萬圓を下らざるが如く又一九二四年中には二百五十萬圓以上輸入せられたりと信ぜらる（大阪商業會議所の調査に依れば一九二四年大阪港より土耳古に仕向けられたる「グレイ、シーティング」は二百五萬三千五百二十圓なり）粗布は本邦品の外英、伊、米の製品を初め最近には支那品も輸入せられたるが支那製品は關稅率引上の結果賣込困難となり目下日本製品は伊太利米國製品を壓倒して市場獨占の慨無きに非ず（別紙附錄第一參照）但し國民購買力の現狀を以てしては急激なる增加を期待し得ざるも其の前途は相當有望なりと思考せらる同國に於て日本粗布を取扱ふ英商 Whittell 商會は土耳古に百二十年以上も營業し居るものにして現在は倫敦 The British Corporation, Ltd. との合資組織なりと云ふ。

本邦製品は土國仕向の外亞歷山邊の綿布取扱商又は神戸邊りの希臘人印度人及猶太人の手を經て買入れ居るものもある由なり而して此等のものは皆日本の商人又は製造業者と直接取引を希望し居れり。

當國に於て最賣込める商品は大日本紡及東洋紡の製品なり。

本邦製粗布取扱人が日本製粗布の相場絶へず變動し殆ど豫想を許さず其の取引に不安を感じ居

ること竝本邦側取扱商が粗布供給に鎬を削らんとする傾向あるは粗布市場に於ける我地位確保上注意すべきことなり。

綿「フランネル」綿縮も亦相當有望なるも伊太利製品が價格低廉に輸入せられ居るを以て其の競爭に打勝つの用意と意匠に注意を拂ふことを要す綿「フランネル」は一般に農民の需要多し。

莫大小は賣込の餘地あるものゝ如く綿糸太物は日出岸和田製品入り込み居るも數量等の點に於て遙に伊太利製品より少し廉價なる支那製綿絲は最近關稅增徵の結果目下輸入杜絕の狀態に在り近年緞通の製造活氣付き又國内に粗布製造工業起らんとする事實に鑑み將來綿糸の輸入は有望なるべし。

要之綿製品の輸入に付ては今後當業者に於て加工品の輸入に努力を試みんことを希望す。

雜貨の輸入に付ては一般趣味低級にして安物買なり現在輸入せられつゝある陶磁器、漆器、玩具等には急激なる增加を豫期し難く唯琺瑯鐵器、刷子、釦、紙類、「タオル」に尙賣込の餘地あるものゝ如く認めらるゝも獨逸、「チエッコ」乃至伊太利、佛蘭西等の製品と競爭するの覺悟を要す。

尙參考の爲一九二六年二月二十一日より三月四日迄在土大使館主催の下に君府に開催したる本邦商品見本展覽會に於ける土耳古當業者の此等各種見本に對する需要狀態に關し其の概略を記せば左の如し。

展覽に供したる商品見本は東京、大阪、京都、名古屋、神戸、横濱等の製造業者又は貿易業者の出品に係るものにして綿布、綿絲、綿製品（「メリヤス」、小兒帽、靴下）絹織物、絹手巾、更紗、刺繡物、「ゴム」、「セルロイド」、「アンチモニー」各製品、蟹罐詰、陶磁器、鉛筆類、釦、漆器、扇子、模造眞珠、魚網材料、「バケツト」類、砥石、象嵌小物、七寶、眞鍮金具、箱根細工、竹紙、「ストローベーバー」、夏向帽子竝眞田、仁丹、蚊取線香、蚤取粉、蠅取器、醫療機械及器具、「マッチ」、茶等なりしが右各品目に對する概評次の如し。

(一)　綿製品

(1)　綿布

(A)　「グレー、シーチング」

「グレー、シーチング」は日本より土耳古へ輸入せらるゝ商品中最も重要なるものにして今回の展覽會出品中にても最も注意を惹き日々多數の取引希望者あり出品の殆んど全部とも既に土耳古市場に知悉せられ居り土耳古商人に特に需給狀況を說明するの要を認めざりき。

土耳古に於ける本品の需給關係を窺ふに抑も「グレー、シーチング」は英國品初めて同地に紹介せられたる由なるも諸外國品の競爭漸次激甚となり英國品は米國品に壓倒せられ更に米國品は伊國品竝に日本品に壓迫せられ各生產國中最も安價に製品を供給し得る條件の下にある國の輸入品市場を獨占する傾向あり最近支那に於ける勞銀低廉なる關係上支那製品は各國製品に比し最も安價なるべしと思惟され支那製品の輸入稍好勢の狀態なりしも一九二六年二月二十一日より土耳古の輸入稅改正せられ「ローザンヌ」條約締盟國よりの輸入品には增加係數五倍の稅率を課するに反し締盟國以外の國よりの輸入品には增加係數八倍の稅率を賦課することゝなりし結果同條約に加盟せざる支那製品は多大の打擊を受け將來日本製品との競爭の餘地なかるべし。

最も日本製品にても支那に於ける工場の製品は上述の不利益なる取扱ひを受くるとなれば日本綿糸布製造業者にして支那に工場を有するものは對土貿易に關しては適當の對策を講究するの要あり。

隨て日本製品の强敵は伊國製品にて最近伊國綿布が土耳古市場に活躍し居るは最も注目すべき事柄なり。

乍併土耳古綿布輸入業者に付き日伊兩國製品の君府に於ける市價を比較せしに日本製品は伊國製品に比し七分乃至一割方低廉なれば將來發展の見込多く偶々同所に來臨せる英國商務書記官及び米國商業會議所書記長も粗布に關しては兩國製品とも到底日本製品に對抗し得ざることを肯認し居れり。

(B)「シャーチング」

「シャーチング」は從來主として英國より輸入せられしも近來米國品及伊國品漸次勢力を扶植したり。

又本品輸入業者は從來英國製品の品質優良なるに馴れ他國製品の品質に對し幾分危惧の念を抱き居り就中日本製品に對しては果して見本通りの製品を供給し得るやを疑ひたる有樣に在りしも土耳古一般の購買力減退に連れ安價製品の需要を增加し下級品の輸入を促進せし結果日本品に對しても相應注意し來れる模樣なり。

猶同品に對する一般消費者の嗜好を見るに大體に於て縞物歡迎せられ殊に將來最も有望なりと思はるゝ縞柄は成べく大柄にて其縞の色合は靑又は綠色最も賞贊せらる。

(2)　「フランネル」

「フランネル」は此回の展覽會に少量出品されたるのみなれ共本品の取引希望者は相當に在りたり。

本品の主要なる供給國は目下伊太利にして伊國製品は其模樣「デザイン」及價格低廉なる點より一般農民に歡迎せらる。

本品に對する一般需要は無地竝に縞物何れも大差なけれ共元來「フランネル」は購買力に乏しき土耳古農民に供するものなれば常に安價なることを唯一なる必要條件となすが故に我輸出貿易業者は此の點につき一顧を要すべし。

(3)　更紗及綿繻子

更紗及綿繻子は日本製品は其意匠及價格の點に於て英國竝に伊國製品に比敵せず今後共競爭困難の模樣なれば本品生產につき更に研究の餘地あるが如く考察せらる。

(4)　綿縮

綿縮は夏季用として相應に消費せられ從來主として伊太利より輸入せられつゝあり從て本邦關係業者は伊國製品を標準として輸出品を吟味する要あるべく今一般消費者の嗜好を示せば縞物は縞柄の荒さを迎へ染色は桃色黃色及び青色を喜ぶが如し。

(5)　縞「ズボン」地

縞「ズボン」地は今迄主として伊太利波蘭及び「チェッコスロヴァキア」諸國より輸入せられ日本製品は認められざりしも今回出品の見本にて日本製品の安價なるを認め將來競爭の見込ある模樣なり。

縞柄は他品と同じく比較的大柄にて派手なるものを歡迎せり。

(6)　莫大小類

「メリヤス」肌着は男女用共需要多く日常必需品たる關係上其數量に於ても大量の引合を爲し伊國品と「チェッコ」國品と激烈なる競爭を極め居れり。

一般嗜好としては色物より無地物多く賣捌かれ日本品は右兩國製品に比較し價格割安なるため新に取引希望する者多し。

靴下は男女用共主として伊太利より供給せられつゝありしも最近日本品の輸入漸次增加し君府の一「デパトーメント、ストア」の監理者は日本よりの輸入品中最も賣行き良好なるは綿靴下なりと語り居れり。

男子用としては目下派手な縞物流行し其品柄は青色生地に樺色又は黄色の縞又は筋を配合せるもの丶如き外見の良きものを歡迎し無地物としては黑色か青味を有する色合のものを好めり。

婦人用としては無地物多く其色合は主として黑色、鼠色又は帶黄褐色を歡迎す。

要するに靴下は外見に重きを置き品質の良好なるものよりも寧ろ色合縞柄等良きもの賣捌き多し。

右は購買力の乏しき關係より來る當然の結果にして之に乘じ將來販路を擴張せんには從來製造せる靴下に「マーセライズ、コットン」又は人造絹糸を應用し目新らしき縞柄を考察すること肝要と思料さる。

(二)　糸　類

(1)　綿　糸

綿糸の主なる供給國は英國と伊國とにて伊太利は主として太番手を英國は細番手ものを輸出す今回出品せる日本綿糸に就き取引希望者の意嚮を糺せるに何れも二十番手前後の品引合を希望せり。

尙目下君府市場にて日本綿糸の好評あるものは日之出印及び龍印なり。

(2)　「ミシン」糸

「ミシン」糸は出品なかりしも各番手共相當取引希望者ありたれば本邦同業者は今後本品發展の用意を爲す要あり。

(三)　絹製品

土耳古は從來生糸生產國たる關係上絹工業保護の爲めに輸入絹製品に對しては殆んど禁止的の輸入税を賦課しをるため日本の絹製品も賣込困難なる事情に在れども土耳古内地の絹工業未だ幼稚にて國内の需要を充實する程度に至らず從て外國品の供給に俟たざるべからざる品種尠しとせず今之品種別に細述せば

(1)　羽二重

羽二重は實需相當あるも購買力貧弱なるため取引希望者寡く殊に重目物は殆んど引合なし但し川俣物の如き輕目物は價格の割合に丈尺長きため婦人裝身用（例へば「ベール」の如く）及裝飾細工用として相當需要あり。

(2)　「クレープデシン」及び「ジオーゼット」

「クレープデシン」及び「ジオーゼット」は何れも高級品たるものなれば固より大口の引合は見込なきも近來婦人服裝改良されたる結果從來の「ベール」廢止せられ帽子の代用として大型の「ハンカチーフ」(大いさは二十吋角乃至二十七吋角)の如き「クレープ」又は「ジオーゼット」を以て髮を蔽ふこと流行し婦人の大部分之れを使用しをれば相當市場開發の餘裕あるべく其色合は大體に於て黑色の無地物を選ぶも衣類と調和するため樺色青色又は鼠色を用ゆるもの少からず、又若き婦人中には種々の模様を施したる「ハンカチーフ」樣のものを使用せるもの多々あれば此種方面の需要に應ずるため將來本品取引相應に增加せんかとも思はる但し英、米、佛に於けるが如き「クレープ」及び「ジオーゼット」を衣類に應用せるものは甚だ稀なり。

(3) 富士絹及絹紬

富士絹及絹紬は絹織物として廉價なるため一般に歡迎せらる羽二重其他上級絹織物は高價なる爲婦人服用としての使用は僅少なるも富士絹及絹紬は價格廉價なるため婦人用の「ブラウス」を初め加工して肩掛「ハンカチーフ」其他に用ひらるゝが故に土耳古市場に於ける絹織物としては今後最も有望なるものと見らる。

(4) 友染及捺染絹

友染は嗜好上大いに賞美せらるゝ所なるも價格高きため到底大口の取引豫想するを得ず。

捺染物は友染に比し價格稍々低廉なる爲相當需要の見込あり。

本品の用途は主として婦人服「コート」裏地及び婦人の髮蔽等にて今回出品されたる本邦製品の模樣「デザイン」は大體に於て土耳古の嗜好に適應せるものゝ如し。

(5) 絹「ハンカチーフ」

絹「ハンカチーフ」は男女用共需要多く目下の消化狀態は模樣物流行のため大體模樣物氣受け良く白無地「ハンカチーフ」は綿製品にて代用せらるゝため其需要少し。

大型「ハンカチーフ」は色物、模樣物、無地共に屢々婦人の髮蔽に應用せらるため其需要可成有り。

其色合は宗教上の關係より國民性として綠色又は黃色を好み又土耳古國旗に因み赤色を賞贊す。

又男子用「ハンカチーフ」の內胸「ポケット」に入れ裝飾とする派手な模樣付小型「ハン

カチーフ」相當に流行し此種の需要も相應に增加しつゝあり。

(6) 絹製着物及び刺繡を施せる製品

着物及び刺繡を施せる製品は今回の展覽會中少數の引合ひありたるも値段高きに加へ高率なる輸入稅を賦課せらるゝため大口取引覺束なき樣子なり。

(7) 西陣

西陣は餘り高級品なるため商品として將來取引の見込無し。

(三) 護謨製品

(1) 護謨製玩具

護謨製玩具中特に注意を惹きたるは護謨人形及び護謨鞠にて何れも今回出品の見本は大體に於て歡迎せられたり。

然し護謨鞠は其表面に種々の意匠を施したるは概して高價なる爲氣受惡く安價なる普通品相當實需ある模樣なり。

今回出品されたる護謨鞠中空氣拔けたるもの多かりしは取引開始に甚だ不利益なるのみならず將來信用を傷つくる恐あれば本邦製造業者本品製法を特に改良する要あり。

(2) 護謨底の「キャンバス」靴

護謨底の「キャンバス」運動靴は男女用共需要多く從來獨逸品及び「チェッコ」國製品輸入され居るも今回出陳本邦製品は右兩國品に比し價格低廉なるため多大の興味を與へたり。

「オーバシユース」は出品なかりしも土耳古市場としては其需要廣く殆んど全國に亙り日常使用せらる右は謂ふ迄もなく道路の不完全なると氣候の變化激しきに伴ひ降雨多き爲め「オーバシユース」を常に用意せざるべからざるに依るものにて將來此種需要の增加は明かなるべし。

小兒用護謨靴は相當注目を呼びたるも日本製品は一般に踵が軟弱すぎるとの非難あり又「オーバシユース」も從來の如く踵が柔軟にては使用上不便なりとの批評ありたれば本邦製造業者は此點一應研究の餘地あるべし。

(四) 「セルロイド」製品

「セルロイド」製品は生產條件に於て殆んど日本の特產物と迄で認められ玩具裝飾、器具、家具、工藝品其他等に亙り外國品の競爭到底不可能にて日本製品の賣行きは將來益有望と

觀測せらる。

(五)「アンチモニー」製品

「アンチモニー」製品は生活程度低き土耳古人には銀器の代用として廣く使用せられ殊に卷煙草箱、寶石入れ花筒等一般の注目を惹き變りたる形狀及び珍らしき「デザイン」喜ばれ歐洲風の型態のみならず純東洋風のものも相當歡迎されつゝあり。

(六)　蟹罐詰

蟹罐詰は日常用食用品として高價なる爲引合なし。

(七)　陶磁器

陶磁器は綿製品に亞ぎ注目せられ森村製品の如きは英佛獨等の高級品に似て而も價格低廉なる爲め取引希望者多く其他各出品共に好評を受け其「デザイン」は固より歐米式のものを選ぶも純東洋式のものを歡迎する者亦尠からず。

又土耳古は本來珈琲の飲用盛なるため珈琲茶碗の需要多く殊に日本趣味の「デザイン」ある小型珈琲茶碗を新に輸入せんと取引希望せるもの相當あり就中萬古燒の如きは全然日本趣味のものにて一般的には迎へられざるも價格低廉なるため一部業者は却て之れが輸入を切望する有樣なり。

(八)　文房具類

文房具類は大體に於て獨逸及び「チエッコスロヴァキア」製品にて市場を獨占せられおる關係上本邦品の販路開拓疑はれ本邦製品中稍々注目を惹きたるは「エバーシャープ」鉛筆のみに過ぎず。

(九)　貝　釦

土耳古市場に在る貝釦は高級品は佛國より低級品は「チエッコスロヴァキア」國より供給せられつゝあるも今回の展覽會出陳の結果日本製貝釦は大體に於て佛國製品に近く價格同國品に比し低廉なるため新取引希望する者多數あり。

本邦製品中最も問合多かりしは「ドブ」貝又は高瀨貝の如き低級品にて色釦の如きは輸入稅高率なるため購買力乏し。

(一〇)　眞珠及模造眞珠

(1)　養殖眞珠は今回の展覽會に唯だ「カタロク」のみ出陳され實物の見本なかりし爲め關係業者に本品の眞價を徹底的に了解せしむること困難なりしも大體に於て購買力の減

退せる土耳古市場に於て賣廣め見込僅少の樣觀測せらる。

(2) 模造眞珠就中首飾りは歐洲一般の流行に伴ひ需要相當ありて本邦品の取引希望者多數あり尤も各供給國の賣込競爭激烈にして現在にては品質本位よりも市價低廉なるを勝ちと爲すが如く今回出陳の模造眞珠首飾は大體上級品少く低廉なる下級品多かりし爲め良く注意を喚起せり。

尙目下同國內の一般嗜好としては巴里流行に倣ひ大粒又は大型物を賞美しをれり。

(二) 魚網及び人造「テグス」

(1) 魚網

魚網は從來相當需要ありしも近時同國內の製網業幼稚ながら漸次勃興し來れるため現在は網製品よりも其材料たる網糸の輸入を希望するもの多し。

(2) 人造「テグス」

人造「テグス」は從來主として伊太利より供給せられ未だ本邦製品を使用せし經驗なき爲め今回出品の「テグス」に付相當注意する所ありしも果して日本製品が水浸に耐へるや又組糸が水中にて分裂する虞れなきやを懸念したれば一應本邦品の品質に關し說明しおきたるも今後販路開拓せんには本邦當業者が此點を保證し一般消費者の疑を除く樣勉めざるべからず。

猶魚網及び「テグス」は一「メートル」何程と相場の單位を定め居る關係上今回出品の本邦品に使用せるが如き何呎のもの一束何程と爲すは同國當業者に採り採算上不便なりとの評あり。

(三) 「バスケット」類

「バスケット」類は隣接國より極めて安價なるもの輸入せられ日本品の割込の餘地殆んどなし。

(三) 人造砥石

人造砥石は相當注意を喚起せるも大口の取引は困難の模樣なり。

(四) 象眼及び七寶類

象眼製品及七寶燒製品は高級美術品として好奇心を唆りたるも商品としては價格高き爲め取引見込寡し。

(五) 眞鍮金具類

眞鍮金具類は獨逸品及び「チエッコスロヴァキア」國製品主として使用せらるゝも價格低廉且つ新考案に富む本邦製品の賣込は幾分研究の餘地あるが如し。

(六)　箱根細工

箱根細工は其考案面白きと價格低廉なる爲取引希望者多し。

(七)　「ストローペーパー」

「ストローペーパー」は土耳古が煙草の產地たる關係上卷煙草の口紙用として需要多く從來は重に口紙として「コルク」及金箔を使用せし爲「ストローペーパー」は一般に珍らしく大に衆目を惹きたれば今後取引希望者續出すべし。

(八)　帽子及製帽材料

從來土耳古は赤き土耳古帽を以て有名なりしが如きも一九二五年九月以降法規を以て土耳古帽の著用を禁止し其以來男子は歐洲諸國と同樣に山高帽、中折帽又は鳥打帽を著用することゝなりし爲今回出品の本邦製土耳古帽は遺憾乍ら陳列することを得ざりき。

日本製品にて今後賣廣め可能なりと思はるゝは「フェルト」製の中折帽、鳥打帽及學生帽等なるが其內「フェルト」中折帽は從來主として供給せられたる伊太利品墺匈國品等より價格の點に於て本邦品有利の狀態に在り君府市內の店頭に陳列せられたる中折帽の價格を見るは大體四乃至八土耳古磅(邦貨に換算し約五圓乃至十圓なり)にて其品質は大略本邦製品の上級品の程度と同一と見て差支へなく其色合は主に灰色、薄樺色又は「オリーヴ」色の如き派手なものを歡迎せり次に緣は大體に於て巴里型の狹きものを第一と爲すも廣緣の所謂米國式のものも相當見受られつゝあり。

更に鳥打帽は主として下級階級者の使用に備ふるものなるがために一般に安價なる「ショディ」製品(廢毛にて作りたる織物の製品)賣行最も良く其色合は千差萬別なれど大體に於て灰色及び薄樺色を好むが如し、又學生帽は他國と異り女學生に多く著用せられつゝあり

右は土耳古婦人の服裝改良に伴ひ女學生は帽子を著用して運動を爲すこと近來旺盛になりし結果にして女學生の大部分は日本の男子學生が著用せると同樣の黑「メルトン」製學生帽を使用しつゝあり、但し婦人は髮を結ぶ關係上普通の男子學生帽に比し「クラウン」(帽體とも云ふか)を廣く且高くせるもの多し。

以上說明せる所は主として冬帽に關するものなるが夏帽に付ては一九二六年土耳古帽廢止令施行以來未だ經驗なければ實狀說述し難きも一般嗜好は麥藁帽を選擇する模樣にて同地

當業者は同年夏の麥藁帽需要增を見越し麥稈眞田の取引開始を望むもの多數あり次に麻眞田は婦人用帽子に使用せられつゝあるものにて將來流行如何に變遷するか不明にて思惑困難なると其價格割高なるとの爲めに引合ひ何れも躊躇するせのゝ如し。

更に今回出品の婦人用「セルロイド」帽の如きは外見竝に色合に於て土耳古婦人の嗜好に乘する所多かりしも價格割高なる爲め取引希望者尠し。

又「メリヤス」又は人絹製の子供帽は今回出陳の品物大體に於て歡迎せられ色合は白無地の外に綠色は紅色の縞入物をも賞贊せり。

(一九)　仁　丹

仁丹は清凉劑又は口中錠何れとしても刺戟性强き爲め同國人の嗜好に適せず何等改良を施すに非れば將來見込少し。

(二〇)　蚊取線香蚤取粉蠅取器

蚊取線香蚤取粉蠅取器は何れも季節用のものなれば今回の展覽會に於て特別に注意を惹かざりしも種々宣傳に力めたる結果次期季節には引合ひ希望者續出する模樣なり。

右の内安住(アヅミ)の蚤取粉は既に當業者の一部に認識せられ居りしも蚊取線香は未だ同市場に紹介されざりしため同展覽會にて始めて同業者に好き刺戟を與へたり猶安住商店の製品が說明書を佛語にて記載せるは同當業者に好印象を與へ將來同品の販路擴張に有利なるに付本邦の一般關係業者も此點考慮を要すべし。

(二一)　醫療機械及器具

醫療機械及器具は主として獨逸墺太利より輸入せられ其精巧なると價格低廉なる點に於て到底本邦製品の競爭困難なるべしと考へらる。

(二二)　燐　寸

燐寸は土耳古政府の專賣に屬し輸入不可能の狀態に在るも爲念同國當該官廳に付佛國の例に倣ひ自國燐寸專賣と同じく自國生產以外に日本製品を輸入するの意向なきやを問合せたる處目下同政府としては同國民の失業防止の爲めに出來る限り自給政策固執の方針なる由に付本邦品の輸入は殆んど至難なる樣子なり。

(二三)　精　茶

土耳古人は本來珈琲を主要飲料とせる爲め茶の消費は比較的少量と觀察せらる而も同國人は茶の内にて紅茶は愛飲するも綠茶は殆んど玩味出來ざるため本邦精茶供給は大體見込な

し。

飲茶方法は紅茶に少量の砂糖を加へたるのみにて牛乳を混入するもの甚少く、其茶質は市場の「ホテル」又は喫茶店にて供給せる茶の風味より察するに印度茶に臺灣烏龍茶を混合し居る模樣なれば此點より將來本邦烏龍茶の賣込相當有望なる樣考察せらる蓋し烏龍茶のみを使用することは色薄きに過ぎ而も高價にして一般日常用として普及すること困難にして混用品として販路擴張を圖ること急務なりと思料せらる。

最後に今回の展覽會に出品されしものにて同地商人の取引希望多かりしは漆器類印刷用紙「ブライウッド」等にて此等商品は現在土耳古市場として需要相當多大なる由なり。

第三節　本邦への原料品供給地としての土耳古の將來

爲替關係よりするも將又購買力乏しき土耳古に本邦製品を賣込む爲にも當國生產品を買入るゝことは希望すべきことなり而して有望輸出品と目せらるゝものは羊毛、「モヘール」、棉花、煙草、「オリーブ」油、「バロニア」、「ゴムアドランタ」、無果花及葡萄の乾果阿片等の特產物あり（別紙附錄第二君府商業會議所報告參照）此等の產物產額、輸出餘力、品質等に關し精確なる資料を缺くも煙草に付其の生產及輸出狀況を概述すれば次の如し。

煙草は土耳古輸出品中最重要なるものゝ一にして輸出總額の約二割を占め土耳古國家經濟を組織する重要分子なり重なる產地は(一)、「アナトリア」黑海沿岸殊に「サムソウン」、「バフラ」、「トレビゾンド」、「プラタナ」、「アラチャム」、「シノップ」等(二)、「スミルナ」地方殊に「セヴチコイ」、「ギャウルコイ」、「アヤスラック」、「リグダ」、「チラ」、「マグネジー」、「カサバペルガム」、「デニスル」等(三)、「マルマラ」海沿岸殊に「ブルス、イスミッド、バリケセル」等なり土耳古烟草生產年額は「バルカン」戰爭前は四千萬乃至五千萬「キロ」なりしが（內約三千萬「キロ」は「アナトリー」の產額なりとす）其後右產額は戰爭の餘波を受け次第に減じ一九一九年より一九二二年度の平均年額約二千三百萬「キロ」にして一九二二年度に至り二千五百萬に增加せり越えて一九二三年度に至り五千四百萬「キロ」（世界生產額の約二分七厘）に激增せり此增加の重なる理由は人民交換の結果烟草栽培に經驗を有する土耳古人が同栽培の最發達せる地方と稱せらる「カバラ、セレス」（Cavalla, Serris etc 元土耳古領にして現希臘領）地方より「アナトリア」に歸來し其栽培に從事せる結果なりと云ふ產額增加の形狀左の如し（單位千「キロ」）

地方名	一九二三年	一九二三年	一九二四年	地方名	一九二三年	一九二三年	一九二四年
「スミルナ」	五、〇〇〇	五、〇〇〇	一六、〇〇〇	「ブルウス」	三、〇〇〇	三、〇〇〇	六、〇〇〇
「アンドリノブル」	一、五〇〇	一、五〇〇	三、五〇〇	「イスミッド」	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、五〇〇
「ヘンチッリ」	一、一〇〇	一、〇〇〇	二、五〇〇	「ドスデ」	一、〇〇〇	一、〇〇〇	二、五〇〇
「グーネン」	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、五〇〇	「ヌルバー」	二、五〇〇	一、四〇〇	一、一〇〇
「サムソウン」	一、五〇〇	一、〇〇〇	一、四〇〇	「バフラ」	一、五〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
「トカート」	一、五〇〇	八〇〇	四〇〇	「ブラタナ」	一、四〇〇	一、〇〇〇	六〇〇
「アルトウイン」	一、〇〇〇	—	—	「ニリサル」	一、〇〇〇	四五〇	三五〇
「ケブセー」	一、〇〇〇	一七五	三〇〇	「アラチャム」	八〇〇	三五〇	七〇〇
「シノーブ」	八〇〇	五〇〇	五〇〇	「アダナ」	七〇〇	五三〇	四〇〇
「チャルチャンバ」	六〇〇	四〇〇	三〇〇	「ハチコイ」	五〇〇	二〇六	二〇〇
「トレビソンデ」	三〇〇	四〇〇	五〇〇	「バリキセル」	一五〇	一五〇	五〇〇
「シンヂルリ」	三〇〇	三〇〇	五〇〇	「ジレー」	一五〇	一五〇	四五〇
「ウニー」	一〇〇	二〇〇	四〇〇	「ロドストー」	三〇〇	六六	三五〇

「ハウザコイプル」	八〇	一〇〇	三〇〇	「アダバザル」	—	—	二〇〇
「チタルヂヤ」	一三〇	一〇三	二五〇	「ガリボリ」	七	二五	二五〇
「ビガ」	二五	八〇	一〇〇	「ダルダネル」	七	二五	一〇〇
計	二、六〇〇	二五、〇〇〇	五四、三〇〇				

一九二三年度煙草耕作多く開墾されたる地面は約三萬六千「ヘクタール」に達す又一九二四年終季君府賣煙草値左の如し（一「キロ」に付價額單位「ピアストル」）

地名	價格	地名	價格	地名	價格
「サムソウン」	二〇〇—二七〇	「バフラ」	一五〇—二四〇	「スミルナ」	一五〇—二三〇
「ドズチエ」	一〇〇—一四〇	「シノーブ」	八〇—一二〇	「トレビゾンド」	六〇—一二〇
「グーネン」	八〇—一〇〇	「タシオバ」	八五—九〇〇	「イスミッド」	七五—九五
「ブルース」	七〇—八五	「ヘンデック」	七〇—八〇		

右の內品質優良にして價格最も高きは「サムソウン」、「バフラ」產出煙草にして品質の點に於て「スミルナ」煙草之に次ぐ「サムソウン」煙草は「アナトリー」產出煙草中品質優良にして優に「ルメリー」產（註優良なる煙草生產地として最有名なる元土耳古領現希臘領たる「セルス」、「カバラ」地

方一帶を云ふ）と競爭に堪ふ又「アナトリアノマーデン」及「デレ」地方は高雅纎美なる煙草の生產地として有名なり（希土戰爭前同地方產額一箇年三百乃至四百萬「キロ」なりしが一時に其額百萬「キロ」に減じ一九二四年には百五十萬「キロ」に達せり）「バフラ」產品も同樣優良品に屬するも價格に於て前記「サムソウン」品よりも約二三割方安し「スミルナ」產品は四種に分つ(一)「スミルナ」市を中心として其近所に產出する煙草右は香氣强く味風雅なり其得意先は米國埃及なり(二)「リグダ」及「チラ」地方產品は一時獨逸が其最大顧客なりしも近年に至り第一種品に壓倒せらるゝに至れり(三)「アクネシー」、「カスサバ」地方產品(四)「ベルガーム」、「デネジー」地方產品なり內(三)(四)は何れも劣等品にして「バルカン」諸國を其得意先とす尤も是等劣等品は從來屢々所謂優良品として密輸出せられたる爲政府は其栽培に禁止的制限を加へたり何れにせよ「スミルナ」產品も「サムソウン」產品同樣土耳古煙草中最重要なるものゝ一にして世界市場が同煙草の千乃至千二百萬「キロ」則ち土貨約二千萬「リラ」を吸收しつゝある現狀なり尙此外に「トレビゾンド」、「イスミッド」、「ヘンデック」地方品は其品質一般に前記「サムソウン」、「スミルナ」品に劣り埃及に其得意先を有したるも埃及人が土耳古煙草の輸入に大制限を加ふるに至てより多く中歐諸國に輸出せらるゝに至れり君府附近煙草の產地としては亞細亞沿岸「ゲブゼー」、「トウズラ」及歐羅巴沿岸「チャカルジヤ」等にして年額三百萬「キロ」に達す又土耳古內地の煙草消費額は千萬「キロ」にして其輸出額は一九二三年度千三百萬「キロ」一九二四年度の約五千萬「キロ」即ち土貨七千五百萬「リラ」に達す而して土耳古煙草戰前の重なる輸出先は其輸出額の順序に列記すれば墺匈國北米合衆國埃及英國伊太利獨逸露國和蘭及佛蘭西なり而して英國の戰前消費額の二割五分は其供給を土耳古に仰ぎしが戰後其額三分に激減せり埃及は前記の通り土耳古煙草輸入に大制限を加へ亞米利加「ヴアージニア」を使用するに至れり反之米國は專ら煙草の大生產國なるにも拘らず戰後「サムソウン」、「バフラ」、「スミルナ」品にして香氣强きものを多量輸入するに至りたり之を要するに戰後土耳古煙草消費者は其額の順に從ひ米伊埃獨和及波蘭となれるを見る。

第四節　通商促進に障害となるべき諸點

第一款　國民購買力の低下

土耳古人が過去二十年來の兵戰により困憊の極に達し居ることは前述せる所の如し而して君府「スミルナ」、「アンゴラ」等都市に居住する住民を除き地方多くの農民は金錢に餘裕なければ外國產品の購入を必要とせざる程度の生活を爲し得る階級に屬するが故に一九二五年度の如く農作の

收獲少く且主要物品の輸出多大の障害を受けたる有樣（小亞細亞より輸出する小麥は年々約五六千貨車に上り英國のみに對しても三千輛を輸出したる趣なるも一九二六年は品質の惡しき爲購入者無き狀況なり其他粟葡萄無花果棉花羊毛及び「ヘール」の賣行も面白からずとす）に於て一般國民の貨物消化力減退するは止むを得ざりしも現在土耳古は未だ農業國たる域を脫せざるが故に其の經濟力の恢復も農產收獲の良否に依ること多く最近數年間の統計は逐次輸出入貿易增加の傾向を示せるを以て一般の購買力も漸を逐ふて增加するものと推斷し得べし。

第二款　土耳古の金融逼迫の狀況

君府竝他の重要都市に於ける商業關係者は土耳古人たると外國人たるとを問はず現に一樣に資金難に窮しつゝあり從て外國商品の仕入に付ても購買力乏しく又現に君府經濟界の不振期は經過し去らざるを以て各商人共手持過多市況不振に苦しめる狀況なり商品の輸入に際して其支拂の確實を期せんとする者は勢ひ確實なる信用狀取引に依るか又は Cash against Do.uments により代金の決濟をなす外無きも土耳古商人の現狀は前記の如き支拂方法に依りて買入れを爲すことすら相當困難なるの狀態に在り近年土耳古市場に割込み來れる伊太利獨逸等は長期信用方法に依り販路を開拓したるも市況不振の爲回收難に陷り現に米國商人の如きは最近一切現金取引に依ること、なせる狀況なり然れども新に土耳古に市場を開かんとする場合には代金の支拂方法を容易にする爲適當の便法を講ずる必要あること勿論にして日本側に於ても信用確實なる商人に對しては或程度の信用取引を開くこと望ましきも之が爲には新に信用調査機關を設け土耳古輸入商人の信用調査を行ふの要あり信用調査機關は輸入貿易に利用し得らるゝのみならず土耳古品の輸出取引に際しても之を利用することを得べし此等の點に付ては金融爲替の項に於て之を述ぶべし。

第三款　信用調査の困難

近東方面の輸出入者を相手としては信用取引を爲すこと危險なりとの信念は今尙廣く行はれつつあり殊に君府には信賴すべき興信所無く又商業會議所の信用調査と雖信を措く能はざる狀態なるを以て若し前に述べたる如き信用機關を設立せざる場合には君府にある信用ある銀行（例へば「オットマン」銀行の如き）に依賴して之を調査せしむる外無し此場合には横濱正金銀行又は日佛銀行の關係（正金銀行は「オットマン」銀行日佛銀行又は「サロニカ」銀行と取引關係を有す）により調査を委託することを得べし從來土耳古の商權は希臘人猶太人「アルメニア」人等に掌握せられ居

たるが歐洲戰後種々の理由により（土耳古政府が國民主義をとり外國商人を壓迫し土耳古人に保護を加へ居ることも其理由の一と見ることを得べし）漸次土耳古人の手に歸する傾向ありと云ふ將來代理店を設くる場合に當りても其の邊の事情を考量する必要あり現に大日本紡績が英商「ウイットル」を一手販賣人と爲せることは土耳古官邊の一部に惡印象を與へたるが如し。

第四款　爲替相場の變動

大戰前に土耳古帝國內に流通せし金貨磅は三千萬磅にして英國の磅と略同價格を維持し英貨十磅に對し土貨十一磅にて換算せられたり然るに大戰に參加して以來政府は一種の不換紙幣を發行したるが故に「オットマン」銀行の兌換券は次第に影を潛め現在にては全く市場に現れず現に流通する政府紙幣（公債局發行）は數多の「セリー」に分れ居るも之が準備として蓄積せらるゝ金貨は殆ど云ふに足らず又獨逸銀行に供託したる紙幣準備金は戰後聯合國に引渡したる結果全く存在せざるに至れり。

土耳古紙幣は一九一六年一月三日以來下落を初め一九二六年四月現在英貨一磅に對し九磅乃至九磅五十「ピアストル」の間にあり。

國內流通高は約一億六千萬磅と計算せらるゝも戰後火災等の爲一、二割の消失ありたるものと推算せられ居れり從て戰前の貨幣流通高に比し僅に五倍の額に相當するに過ぎざるに紙幣相場は約十分の一に下落せるを以て實際の流通紙幣は戰前の半額に當る貨幣制度の基礎斯の如く薄弱なるを以て土國の朝野は速に中央兌換銀行を設け以て幣制を確立すべしとの意見を有し居るも中央銀行の資金を集むること困難なる事情あり今日迄其の實現を見ず、從て外國貿易は多く英貨を標準として取引せられつゝあり、而して英貨に對する土貨の相場は堪へず變動するを以て其の影響は外國貿易の促進を阻害すること甚しきものあり現在の狀勢を以てすれば一兩年の間に土貨爲替相場が急激に上騰する如き形勢を馴致するものと思考するを得ず蓋し土耳古が其貨幣を安定するには(一)財政基礎を固くし(二)中央銀行の制度を確實し(三)輸出貿易を盛にして國際貸借の改善を圖る外無きも茲一兩年の間に右の施設を爲すこと困難なるべしと思惟せらる。

第五款　銀行の貸出警戒

現今の如き經濟不況の際に金融業者が貸出を警戒するは當然の歸結なりと雖銀行界の消息に通ずるものは、從來外國銀行の競爭餘りに激しく不確實なる貸出を行ひたる結果却て財界に惡影響

を與へたりと稱し居れり外國銀行の庇護なき土耳古商人は現に一層資金難に陷り商工業各方面とも金融硬塞に依りて事業の不振を來せりと傳へらる政府は銀行業者をして資金融通の途を講せしめつゝあるも銀行自身の資力不充分にして之が救濟容易ならざるが如し。

第六款　港灣設備不完全

君府は港灣として多くの缺點を有し(面積狹く激流急にして各般の設備不完全)現に輸入貨場は埠頭に雨晒しとなり山積せられ居る狀況なり荷揚積荷は一九二五年三月以降君府及「スミルナ」共に特定の特權會社の手に委ねられたる結果一層仕事の能率を減じたりとの不平多し朝野共海陸連絡設備の改善を叫び居るも之が實現は未だ豫測し難し此等の事情に鑑み土國宛貨物の包裝は殊に注意することを要す尙土國に入港する船舶の取扱に關し各國船主側の苦情絶えざるの有樣なり。

第七款　其他の困難

(一)　通關手續の煩瑣

日本產商品は最惠國の待遇を受けつゝありと雖實際貨物の通關に付ては稅關役人の素質惡しく官僚的にして杓子定規の取扱多く土地の事情に通ぜざるものには一層困難を感ず之が通關を敏速に行ふには土地の習慣に通ずる者の力を藉る外に途なし。

(二)　言語の不通

近東の市場にて一般に用ひらるゝ言葉は佛蘭西語にして其の上に土耳古語を解すれば更に可なり此點に於て日本當業者は不便を感ずること一層甚しきものあるべし。

(三)　通信機關の不備

電信郵便の不著遲延は稀ならず殊に日本との通信は米國又は「シベリア」經由にて尙四十日を要す。

(四)　國內立法

土耳古政府は一面には國民主義的政策の實行の爲又他方には財源を求むる必要ある爲或は外國人の企業に制限を加へ又は各種の專賣制度及消費稅法を實施し外國人をして一般に前途の不安を感ぜしめつゝあり。

一九二六年二月多數の新稅法發布せられ(註、賣却稅法與業物及飲食稅法、所得稅法、附加稅法)殊に賣却稅法は廣汎なる範圍に涉りて貨物の賣買に對し價格の千分の二十五の稅を賦課

す、然るに當國に於ては通常貨物の輸出には少くも生産者より四個の仲介を經て行はるゝを以て右税法の結果土耳古生産品は最低一割の價格を增加することゝなり物資の輸入に付ても同樣の結果を見るべく輸出入貿易に惡影響を及ぼすこと言を俟たず。

又最近には外國の銀行會社に對し使用人の一定數が必ず土耳古人たることを要し又其の記錄通信等に土耳古語を使用するを要することゝせり勿論如何なる程度迄此種の制度を强制すべきか明白ならざるも外國會社が土國にて業務を執行することの困難を訴へつゝあることは疑なき處なり。

第五節　日土間貿易促進に關し採るべき措置

第一款　一般公衆竝貿易に關する廣告の必要

日本貨物の安價にして品質の信賴すべきことを周知せしむる必要あるは勿論なるが公衆も商工業者も日本に於て如何なる貨物を生産し得るやを知悉し居らず之に對して必要の智識を與ふるには多大の努力を要すべく又小亞細亞地方に廣告を爲すことは容易ならざる仕事なるが差當りの方法としては

(一) 商品陳列所の設置
(二) 巡回見本市の開設
(三) 旅商の派遣
(四) 見本及「カタローグ」の送付
(五) 雜誌新聞廣告

等を考慮することを得べし。

「ソビエット」代表が現に君府に於て行へる如く商品陳列所を設くることは最も有效なるべきも之には巨額の費用と特殊の技術者とを必要とし果して此方面の市場に之が設立を要するや尙研究の餘地あり。

巡回見本市を開くことは比較的費用少くして效果あるべし（一九二六年二月君府に開ける際には經費總計邦貨二千圓を要したり）最も此展覽會には日本側の當業者が臨席し必要に應じて土地の當業者と直に商談を開く丈の準備あるに非れば其效果充分ならざるやうに認めらる從つて今後此種の計畫に付ては本邦商業會議所等に於て政府の協力の下に當業者を出張せしめ見本の展覽會を爲すと同時に販路を確實に拓くことを要す。

土耳古内に見本及「カタローグ」を送付するには佛蘭西語を用ひ出來得れば更に土耳古語を併用することを要し之に君府又は「スミルナ」渡しの定價(價格は英貨磅を表記すれば足る)を附すること必要なり(尙日本尺を避け「メートル」法に依ること肝要なり)土耳古内に代理店を有せざる當業者が神戸又は横濱渡しの定價を附する時は引合を躊躇する者多かるべし。

土耳古には有力なる新聞雜誌の類少きを以て特殊の商品の外は新聞雜誌に廣告を掲ぐるも效果少なかるべし尤新聞廣告の掲載料は他國に比して單價低し。

第二款　「インフォーメーション、ビューロー」の設置

土耳古商人の信用調査、日本商人の紹介、仲介其他商事に關する報道を得る爲に「インフォーメーション、ビューロー」を設置すること急務なり。

右の機關を設置するに當り最も困難なることは適任者を得ることなるも差當り佛語を解するものにして貿易に經驗ある者を選びて主任者とし商務書記官と密接の連絡をとることゝせば相當の效果を擧ぐることを得べし右の設備は專ら輸出組合又は商業會議所聯合會の事業とし若し民間より資金を得ること困難ならば政府に於て或程度の補助を給しても之を實行すること緊急の必要なり。

第三款　直通航路の開設

通商を促進するには航路と金融機關と輸出業者との間に一體無二の關係を保つことを要件とす現在土國に輸入せらるゝ貨物は多く「ポートサイド」にて積換へ居るを以て「トランシップ」に莫大の經費と危險とを伴ひ假に「ポートサイド」迄一噸三十志の「フレート」を拂ふものとせば君府迄の「フレート」少くも五十志を超ゆるの狀況なり又「トランシップ」に伴ふ危險を冒すことは輸出入業者に多大の不安を與ふるを以て日土兩國間の貿易を促進するには是非共日本より土耳古領水竝黑海に通ずる航路を開始すること肝要なり今本件參考の爲土耳古海運の概況に付述ぶれば左の如し。

一　君府に寄港する船舶、取扱旅客、運賃等

土耳古貨物の海外輸出は殆ど全部海上を經由し而も外國船舶に依りて國外に搬出せらるゝものとす主要なる海運會社を擧ぐれば次の如し。

Lloyd Triestino, Servive Maritime de l'Etat Roumain, Xhediviel Mail Line, Fabre Line,

Bulgaian Line, Cie Fraissinet, 等

以上汽船會社は（The Deutsche Levant Linie は貨物のみを取扱ふ）何れも貨客双方を取扱ふ次第なるが此外 Ellerman, Parayanni, Westcott, Lawrence の諸社が獨逸英國向土耳古貨物を最も多量に輸送しつゝあることは閑却すべからざることゝす。

君府よりは地中海の重要港並に倫敦「リヴアプール」漢堡「ブレーメン」「アントワープ」紐育（回數少し）に至る定期便船あり極東向貨物は坡西土に於て積換を要す。

此外不定期船に依り運搬せらるゝ貨物は實際上數ふるに足らざるが如し。

現在土耳古船舶は專ら沿岸貿易に從事し外國航路に就航するものなき次第なるが最近同國商務省は土耳古國航運業奬勵の見地より外國航路に從事する會社又は個人に對し補助金若くは奬勵金を下付せんとする法案に付審議中なりとのことなり右は實現に至る迄には尙相當の月日を要すべきも早晩外國船舶は土耳古船に對し相當困難なる競爭の地位に置かるゝに至るべきは明かなり。

（イ）汽船國籍別

今君府より外國諸港に至る船舶國籍別、名稱、噸數等を示せば左の如し。

國籍別	船數		
	一九二四年	一九二五年	一九二六年
伊太利	三六五	四一〇	三九四
「ルーマニア」	一二七	一五三	一七八
佛蘭西	一三五	一四七	二六八
英國	一〇七	八四	九五
「ブルガリア」	八九	六六	三四
露國	一九	—	—
希臘	一七	—	—
獨逸	一	—	—
合計	八六〇	八六〇	九〇六

America-Levant Line Ltd. (「キューナルド」に對する補助航路)	英	"River Oraxex"		4,407
		"River Delaware"		5,222
		"River Hudson"		5,225
		"River Orontes"		4,351
		"Catherine Park"		4,834
Ellerman, Papayani, Moss and westcott and Lawrence Lines (「ロンドシ」及「リヴアープール」行)	英	"Algerian"		2,305
		"Audalusian"		
		"Bulgarian"		2,0
		"Castilian"		3,057
		"Bavarian"		3,012
		"Fabian"		3,059
		"Egyptian"		2,865
		"Lesbian"		2,332
		"Mardinian"		2,429
		"Borodino"		2,004
		"Edenhall"		3,610
		"Gourko"		1,975
		"Grodne"		2,452
		"Morocco"		3,84
		"Pola"		1,950
		"Scipio"		2,270
Lloyd Triestine	伊	"Cleopatra"	7,600	4,013
		"Rome"	7,965	4,063
		"Semiramis"	8,000	4,071
		"Abbazia"	7,200	3,838
		"Adria"	6,500	3,526
		"Dalmatia"	6,200	3,352
		"Galicia"	5,640	2,924
		"Graz"	6,965	3,905
		"Palacky"	6,965	3,903
			etc. etcetera	

（ロ）　君府に寄港する定期汽船の名稱船籍噸數

會社名	船籍	船名	排水噸數	總噸數
Messageries Maritimes.	佛	"Pierre Loti"	9,350	5,110
		"Lanatine"	9,350	5,580
		"Cheli"	10,345	6,512
		"Theophile"		
		"Gautier"	10,400	9,000
		"Louus"	10,090	7,184
Compagnie Paquet.	佛	"Lonle"	8,160	
		"Phrygie"	7,525	
		"Tadla"	8,400	
		"Imerethie"	6,500	
		"Le Rhin"	5,000	
Fabre Line (毎月一回米國行)	佛	"Patria"	18,000	
		"Providence"	18,000	
		"Canada"	14,000	
		"Sinaia"	16,000	
		"Braya"	11,000	
		"Asia"	11,000	
		"Roma"	9,000	
		"Britannia,,	9,000	
Khedivial	英	"Fezara"		5,809
		"Famaka"		5,815
Cunard	英	"Bressia"		3,235
		"Tyria"		2,936
		" la"		2,950
		"Phrygia"		3,353
		"Pavia"		2,945

(ハ) 君府より外國諸地に到る旅客統計

附表に依り明かなる如く一九二五年以降旅客數の急に減少せるは今其の原因を明にするを得ざるも一九二五年度は一般的不景氣なりし爲海外旅行者の減せると外國人の政治的其他の關係上土耳古を去れるもの一九二四年度に於て特に多かりしとに由るものゝ如し。

一九二四、五、六各年に於ける各會社運搬船客數

會社名	國籍	一九二四年 一、二等	一九二四年 三等及甲板	一九二四年 計	一九二五年 一、二等	一九二五年 三等及甲板	一九二五年 計	一九二六年 一、二等	一九二六年 三等及甲板	一九二六年 計
Lloyd	伊	四、〇一四	一三、一三六	一七、一五〇	四、七八九	八、七九二	一三、五八一	三、一二四	四、九三一	八、一五五
Roumanian	羅	二、一〇五	四、二八三	六、三八八	一、六五四	四、四二七	六、〇八一	二、九二九	四、四一一	七、三四〇
Kredivial	英	一、七三五	六、四二六	八、一五一	一、四六二	四、三九〇	五、八五二	七七八	一、一〇七	一、八八五
P. quet	佛	一、一〇九	五、八七〇	六、九七九	一、二六七	三、三三二	四、五九九	八五五	一、七三四	二、五八九
Sitmar	伊	七一七	四、〇一一	四、七二八	八七八	二、六三三	三、五一一	一、〇五五	一、八〇四	二、八五九
Byron	英	七一四	四、〇九二	四、八〇六	五三四	一、六八四	二、二一六	六三六	一、三九五	二、〇三一
Mess geries	佛	八四六	三、四五〇	四、二九六	五八九	二、〇〇四	二、五九三	八〇三	一、四二六	二、二二八
Faure Line	佛	八五	四三二	五一七	七七	五七六	六五三	六二	一五八	二二〇
Cie Bulgare	勃	八〇	九六四	一、〇六四	二五	二九六	三七一	七	二四五	二五二
Fraissinet	佛	五一	三三七	三八八	九四	三一八	四一二	九二	三八八	四八〇
Teleleb & Staf.	希	二二	六三〇	六五二	—	—	—	—	—	—
Gostorgflot	露	四〇	五二六	五六六	—	—	—	一七〇	六二九	八〇九
Black Sea & Co.	英	二〇	二〇七	二二七	—	—	—	—	—	—
Pandeli Freres	英	九	四二	五一	—	—	—	—	—	—
Papaiannou	希	一	二八	二九	—	—	—	—	—	—
Alexatos	希	七	二一	二八	—	—	—	—	—	—
Sambaditi	希	六	一八	一八	—	—	—	—	—	—
Van der Zee	希	九	—	九	—	—	—	—	—	—
Ag. Marl, Orient	希	—	六	六	—	—	—	—	—	—
W° Seager	英	三	—	三	—	—	—	—	—	—
Deutsche Orient	獨	—	三	三	—	—	—	—	—	—

行先地名	汽船所屬社名	一二等船客數	三等及甲板船客數	船客數合計
計		一一、五五七	四四、五三一	五六、〇七九
(二) 行先地別旅客統計(一九二六年度)		一一、三六九	二八、四五〇	三九、八一九
土領黑海沿岸及「バツーム」	Paquet	三二九	五五五	一、〇六〇
	Lloyd	二九六	四九八	一、六八二
	Sovtorgflot	—	四	
「コンスタンザ」及「ダニューブ」	Roumaine	二、〇九一	三、〇二〇	一八、三八
	Lloyd	一三六	四四〇	二八、八四八
	Sitmar	一一五	五六〇	六、八一九
	Fraissinet	五七	二七一	
	Fabre	三	二〇	
	Kl.édivial	八	一一	
	Sovtorgflot	七八	三三一	
「オデッサ」	Lloyd	一一八	一五一	七四九
	Sitmar	一五	五六	
「ブルガス」及「ワルナ」	Lloyd	六四	一四一	四五一
	Bulgare	七	二三九	
「マルセイユ」(「ピレー」其他經由)	Fraissinet	五五	一七	六、八三五
	Byron	六三六	一、三九四	
	Messageries	五一二	一、〇四〇	
	Paquet	五二六	一、一七九	
	Sitmar	六六〇	八一五	
「ネープルス」及「ジエノア」	Sitmar	一〇二	五四	一五六
「サロニカ」及「ピレー」	Bulgare	五	三	八
「ヤッフア」	Romaine	二七	三二	五〇七
	Fabre	一〇	四二	
	Sovtorgflot	九二	三〇四	

「スミルナ」及「ベイルート」	Messugories	二九〇	三八六	六七六
「ピレー」及「アレキサンドリヤ」	Khedivial	七七〇	一、〇九六	
	Roumaine	八一一	一、三五二	四、〇三〇
	Bulgre	—	—	
「スミルナ」、「ピレー」及埃及	Lload	一三〇	七七	
	Sitnar	一六三	三一九	六八九
「ピレー」及「トリエスト」	Lloyd	一、九一六	二、〇三五	三、九五一
「スミルナ」「ピレー」及「トリエスト」	Lloyd	一二一	一二二	二四三
「スミルナ」多島海及「トリエスト」	同前	六九	一五〇	二一九
「カワラ」「サロニカ」及「トリエスト」	同前	三七四	一、三一九	一、六九三
紐育	同前	四九	九六	一四五
計		一〇、六一〇	一八、二三八	二八、八四八

(ホ) 旅客及貨物運賃

旅客運賃は時に依り變動常無く殊に佛國船に於て其の甚しきを見るも今某汽船會社規定の旅客運賃を見るに左の如し。

君府各港間旅客船賃

港名	會社名	エムエムパケー		シトマル		フアーブル	
		一等法	二等法	一等法	二等法	一等トルコ磅	二等トルコ磅
「ピラウス」		六九一	四七六	三二	五三〇	四四〇	二〇〇
「ナポリ」		一、六二〇	一、〇四三	五六七	—	—	一一〇
「マルセイユ」		二、一六〇	一、四一八	七五六	一、八三二	一、三三一	六八二
紐育	アムステルダム又ハ「ロツテルダム」	—	—	—	—	—	—
	和蘭郵船ニテ二〇〇「フローリン」						
「ベイルート」		二〇九三	一、三一七	八一〇	—	—	—
「ジアフア」		二、七〇〇	一、七六九	一、〇四四	—	—	—
「アレキサンドリア」		二、七〇〇	一、七五五	一、〇八〇	—	—	—
「ゼノア」		—	—	—	—	—	—

港名	會社名	一等トルコ磅	二等トルコ磅	三等トルコ磅	一等トルコ磅	二等トルコ磅	三等トルコ磅
「ピラウス」		四四〇	二〇〇	二〇	二〇	—	—
「ナポリ」		—	一一〇	七五	四〇	—	—
「マルセイユ」		一五〇	一〇〇	五〇	—	—	—
紐育	アムステルダム又ハ「ロツテルダム」	—	—	—	三五四	一六三	一四四
「ベイルート」		—	—	—	—	—	—
「ジアフア」		—	—	—	—	—	—
「アレキサンドリア」		一五〇	一〇〇	五〇	—	—	—
「ゼノア」		—	—	—	—	—	—

貨物運賃に付ては各社は競爭其の他各般の事情に依り隨時變更するのみならず多くは之を祕密として公表せざる爲的確なる材料を得ること頗る困難なるも今「メサジユリイマルテ

イム」及「ドッチエレバンド」兩社に付棉花羊毛及煙草の運賃を比較するに左の如し。

君府各港間貨物運賃（千「キロ」ニ付）

仕向港	棉花	羊毛	煙草	汽船會社名
「ロンドン及「ハンブルグ」」	三磅（但し「メルシナ」より）	三磅	二磅一〇志	獨逸「レファント、リニー」
「ロッテルダム」又「ハアムステルダム」	五〇志	五〇志	六〇志	「ローヤルダッチ」會社
「ロンドン」	七五志	八五志	七五志	同
「ニューヨーク」	一〇〇志	一〇〇志	九〇志	同
「マルセイユ」	一八〇法	二九〇法	二九〇法	「エム、エム」
「ロンドン」	四磅乃至六磅	四磅乃至六磅	六磅乃至七磅	同
「ニューヨーク」	七磅乃至八磅	七磅乃至八磅	八磅乃至九磅	同
神戸	約六七五法	約七〇〇法	約一〇〇〇磅	同

（へ）君府各港間海上保險率（毎百磅に付）

仕向港	棉花	羊毛	葉煙草	保險會社名
「ロンドン」	一〇志	一〇志	一二志六片	「ラコンチネンタル」
「ニューヨーク」	一五志	一五志	一七志六片	同
神戸	一七志六片	一七志六片	二〇志	同
「ロンドン」	二一志	二一志	二三志	「アシクラシオニケネラリ」
「ニューヨーク」	一五又は一六志	一五又は一六志	一八志	同
神戸	二〇志	二〇志	二〇志	同

右の他盜難及雨濡に依る損害塡補に對する保險率は毎百磅に付二志六片なり。

二、各汽船會社に對する政府補助金

君府に寄港する英國汽船は特種の例外を除き（戰時編成替を爲し得るものには補助金を與ふる場合あるが如し）一般に補助金を與へざるが如きも他國の汽船會社中には二三の實例あり例へば佛國政府は「メサジュリ、マルティイム」（勿論全會社を指す）會社に對し年額三千二百萬法迄の損失を保證す同社は一九二五年度に於て六千七百萬法の損失を蒙りたる爲佛國政府は餘儀なく三千六百萬法を補塡せりと稱せらる又「ロイド、トリエステイノ」會社は三千三百萬伊太利「リラ」の損失を招きたるに政府は之が全額を補償せる如し要するに當方面に就航する汽船會社は

額の大小こそあれ何れも年々缺損を續けつゝあるものゝ如し。

三、君府に於ける石炭積込設備及炭價等

君府に於ける石炭積込設備は特殊の施設全く缺ける爲多く艀に依らざるを得ざるに依り其の不便甚し石炭積取の時間は午前七時より午後五時迄を普通とするも許可さへあれば夜間又は日曜と雖之を爲し得、夜業、金曜日、其他の休日從業の場合及灣外積取りは一噸一志の割合と定まれり檢疫中の積取りは一噸五志の割增とす。

石炭の價格は一噸に付大要次の如し。

Ourdif	英　炭	22—23	リラ
Zongouldak	土耳古炭（塊）	19—20	
同	同	11—12	
Kozlon	同	11	
Eregli	同	9.00	
Zongouldak	同（粗炭）	8.50	

併し實際的には土耳古炭の供給の途なきが如し。

次に君府に寄港する船舶の採炭港を擧ぐれば左の如し。

君府に寄港する船舶の採炭港

會社名	採炭港
Messageries Maritimes	The Piraeus, Naples and Marseilles. also Smyrna, Rhodes, Larnaca, Beyrouth, Jaffa and Alexandria.
Paquet Company.	The Pi aeus and Marseilles.
Fabre Line.	The Piraeus and/ or Smyrna, Naples, Marseilles, Spain Lisbon, the Azores, Providence and New York. Also Beyrouth, Jaffa and Alexandria.
Sitnar (Servizi Marittimi)	Piraeus, Naples, Marseilles and Genoa.
Khebivial Mail	Smyrna, Mitylene, Piraeus, Port Said, Alexandria.
Lloyd Triestino.	Piraeus, Corfu, S. ti Quaranta, Brindiei, Bari, Venice, Fiume, Triests. Also Salonica, Constanza, odessa, Varna, Bourgas, Also Dedeagatch, Cavalla, Salonica, Volo, Also Smyrna, Mitylene, Rhodes,

Mersina, Alexandretta Tripoli, Beyrouth, Haiffa, Jaffa, Port Said and Alexandria. Also Ancona, Spal to Bari, Brindisi, Piraeus, Canea, Rethima, Syra, Candia (Crete) Alexandria etc, Also Larnaca, Limassol and Patras, Also Ineboli, Samsoun, Kerassound, Trebizond and Batoum.

Ellerman, Papayanni. London or Liverpool with sometimes stops at

Messrs and westcott and Intermediate ports.

Lawrence

四、海港の施設

(イ) 君府港　港灣の深さは埠頭四尋中流二十四尋、港内風波の危險なし常風は南風及北風にして一月より四月頃迄時々霧を免れず Stamboul 及 Galata の岸壁は Constantinople Quay Co. の所有にして兩所に稅關あり五噸迄の起重機を有す、「スタムブール」の岸壁へは十一、二艘の船を「トモ」著けとし荷役は艀に依る、「ギャラタ」側は六艘の船を横著けにすること を得千噸餘りを包容する上屋兩方合し二十許あり此外に普通倉庫、保稅倉庫を合せて約二、三十あるも多く荷役の便惡し三十噸位迄の浮動起重機三個、艀より埠頭に移す時に用ふる函船擔附三噸起重機僅に一、二に過ぎず荷役能率は袋入荷物一日八百噸乃至千噸普通雜貨一 Hold 毎七十五噸乃至百噸、倉入れ能力は兩方の稅關構内其他の倉庫を合せて凡そ五萬噸位と稱せらる輸出貨物は輸出商が所有する倉庫より隨時積出さる而して引船の數凡そ四十、艀船は五噸乃至百噸の艀凡そ千二百艘此等は Lighter and Lightermen Association の支配に屬す。

君府港に來る船舶の多くは黑海に行き再び君府に寄港するを以て往復に對し港費の支拂ひを一度になす次第なるが今二千二百噸の船に對する費用の概算を示せば左の如し。

	T. L.	T. L.
Sanitary Dues up 88.05 down 88.05		276.10
Light dues up 126.05 down 126.05		252.10
Light ship due 110.10 Anchorage 165		111.75
Consular fees up and down		15.00
Harbour master Clerk Sanitary Guards		7.50
Pilotage up and down		32.00

Motor boat hires	10.00	
Telegram, Postage Potty expense	12.50	
Dardanells agents attendant		£ 1-10-0
Stevedoring Bill		
Transhipment Bill	616.93	72-11-6
Agency fes		8-8-0
計		£ 282-9-6

代理店料は普通左の如し

地中海より黑海に通過する場合	£ 5-5-0
黑海より地中海に出る場合	£ 3-3-0
一般貨物の荷揚げ	1% On Freight
一般貨物の積込み	£ 10-10-0
Cargo Coal の荷揚げ	£ 10-10-0
立替拂に對し	1 %

「ボスフヲラス」海峽の通過は代理店に於て必要料金及費用の仕拂手續さへ完了すれば停船する必要無きも此手續頗る面倒なるを以て君府到著前充分時間の餘裕を取り少くとも Chanak 著二日前に代理店に詳細報知の要あり露國行は露國官憲の指圖書を受取る爲め停船を要す又黑海よりの歸り船は檢疫許可證を得る爲め Kavok 港に停船せざるべからず。

(ロ)「スミルナ」及「メルシン」港

「スミルナ」

港は狹隘、稅關、倉庫、上屋の設備不完全なり市街は一九二二年の大火後未だ何等修築に著手せず目下佛蘭西の一會社が市の復興と港の改築を請負ひ居るも未だ資金の調達出來ざる爲實行の運びに至らずと稱せらる。

荷役は資本金百萬「リラ」土耳古人獨占の會社にて一切之を取扱ひつゝあるが其の料金左の如し。

荷卸料金

(1)　麥類、豆類、麥粉、馬鈴薯、「ゴマ」、「セメント」、甘草、鞣材料は一噸二「リラ」五〇

(2) 米、珈琲、砂糖、蜜蜂、「チース」、「ゴム」及其製品、鐵及鋼鐵製品、「ソーダ」箱入煙草葉、「オレンヂ」、「レモン」は一噸三「リラ」

(3) 「マッチ」は一噸四「リラ」

(4) 上記記載以外の品物は一噸三「リラ」七五

(5) 動物、自動車等特別の定率あり。

積込料金

乾果物	一噸	○・七○（リラ）
煙草葉		一・一○
鞣材料		○・八○
棉花		○・四○
「オリブ」油		○・五○
甘草		○・九○
（カーペット）敷物	一梱	○・八○

「メルシン」港

「メルシン」は「アダナ」より汽車にて二時間半土耳古東南端にある重要港にして「アダナ」棉花の大部分を輸出し此地方に供給される輸入品の陸揚地たり現在港の設備極めて不完全にして目下改築の計畫中に屬す。

港に貨車の引込み線を有する點は君府及「スミルナ」港に優るも波止場の設備なき爲め强風の場合は荷役は殆ど不可能なり又港内淺く三四千噸の船は二三哩の沖に碇泊せざるべからず。

第四款　金融機關の整備

日本の爲替銀行が君府に支店を設置することは最も望ましきも既に若し右不可能なるに於ては差當り正金銀行が其の取引銀行たる「オットマン」銀行との連絡を一層密にし手形の割引信用調査等に付て特殊の便宜を開くことを要す正金銀行以外の特殊銀行に對しても近東に對する輸出組合に長期に亙る手形の割引を行はしむることを得ば一層便宜なり近東及東歐との取引に於ては長期信用によること最も商權持續に便宜多し。

前述の如く土耳古商人は Irrevocable credit (L/C) を開くことを好まず通常行はるゝ取引は

Cash against document なり。

本邦當業者も從來の信用狀に依る前拂制度を改め少くとも貨物の君府著を俟つて支拂を爲さしむる樣機宜の方法を講ずることを必要と認む本邦當業者が Cash against document を承認し得ざるは專ら日本の銀行が此種船荷證券に對して融通を拒むが爲なりと聞く然れども若し銀行が船荷證券を買入れ得ざる場合にも日本の銀行が土耳古にある確實なる銀行と連絡をとり確實なる商取引に對し日本の銀行が積出貨物に對して七八割迄の資金を貸與し右貸金の取立を土耳古銀行に依賴して決濟を行ふことも便宜の方法にして「オットマン」銀行は正金の提議あらば充分便宜を圖るべき意嚮を洩し居れり尤も現在の如く土耳古商人の資金豐かならざる際には出來得れば小賣商人より賣掛代金を回收したる後に支拂はんことを希望するが故に長期六十日又は九十日の手形拂を希望す此種の支拂方法を認むる爲には銀行業者が長期手形を割引するに非れば實行不可能にして本邦に於て特定の爲替銀行に資金を融通し此種の手形を割引せしむる方法を講ずる外無かるべし斯の如き制度の創設は望ましきも差當り此の制度より Cash against document に移ることは焦眉の急務と認めらる。

英國商人は(一)三十日乃至六十日期限の手形を受取り（稀には九十日期限のものあり）(二)分割引渡即ち註文の貨物を代金支拂の金額に應じて荷受人が荷受けする方法により(三)價格の半額を現金拂として即時に貨物を引渡し殘額を信用貸とする方法に依る佛國商人も大體右と同樣の方法を採るが如し伊太利商人は英佛商人に比し一層信用貸を爲すもの多きも最近經濟界の不振と共に代金回收の困難に陷れるもの多く一般に現金取引を爲すもの增加し來れりと云ふ米國商が全く信用貸を差控へて凡て現金取引となせることは既に述べたる所の如し土耳古に於ける手形割引「コール、マネー」の利率は日本の市場よりも高く割引率は一割以上一割二、三分に上る（尤も「オットマン」銀行は六十日期限の商業手形を八分乃至九分の利率にて引受くる方針なり）此點は特に考慮する必要あり。

近東方面に「ローカル、バンク」を設くることは貿易の現狀並日本人の智識の程度にては其運用上各種の困難あることを覺悟せざるべからず從て此際の急務は爲替取組の改善又は爲替資金を特殊銀行に貸與して長期の信用を與ふる等の方法に依り又は爲替銀行の支店を設くるに在りと認めらる。

第五款　土耳古政府をして日土貿易の促進に熱心ならしむること

土耳古の現狀は未だ官尊民卑の域を脱せず從つて政府の意嚮如何は事業の消長に多大の影響を及ぼすことあり。

土耳古人は概して歐米人に對し猜疑の念を抱くこと多きが故に土耳古政府が卒先して眞實日本との經濟關係を密にせんことを計畫する場合には貿易促進上に諸般の便益を得べし此點に付ては專ら土耳古にある外交機關の活動に俟つべきものなるも現在土耳古朝野の本邦に對する感情は日本が亞細亞人種なると又政治的に何等野心なきを知るを以て歐米人に對するよりも遙に好意を抱けるものと認めらる故に日本の確實なる商人又は銀行業者の活動は意外の好意を以て迎へらるべし。

第六款　人材の養成

本邦商人が近東の事情に暗きは止むを得ざることゝするも今後商權の擴張を行はんとせば之が任に當るべきものを速に養成すること肝要なり例へば正金銀行、日本郵船會社、本邦紡績會社、三井物産會社等が今日より之に留意し留學生又は實業練習生を派遣することは最望ましき施設なり。

此外外務省が其の機關を充實し且人才の養成を必要とすることは贅言を要せざる所とす。

第六節　土耳古關稅法と本邦輸出品との關係

第一款　土耳古關稅法概要

現行土耳古關稅定率法は一九一六年三月の公布に係り後一九二〇年七月二十八日附法律を以て前記稅率に增加係數五を乘じたるものを以て一般稅率とせり。

次で土耳古は一九二三年七月二十四日、日、英、佛、伊、希、羅及「ユーゴースラヴィア」の七國との間に「ローザンヌ」通商條約を締結し其結果有條約國品と無條約國品との間に差別的稅率を設くることとなり一九二六年二月より本條約加盟國以外の諸國の生產品に對しては種類に應じ一九一六年の稅率に增加係數八を乘じたるものを適用し本條約締盟國領域內の生產及輸出品に係る天然物及製造品に對しては依然增加係數五倍の稅率を賦課することとせり。

其後一九二六年六月關稅法の一部改正ありて現在に及べり。現行土耳古關稅法に依れば關稅項目を生產品別に依り三十項目に別ち稅表番號七百七十より成る。

第二款　輸出入制限竝禁止

土耳古は「ローザンヌ」會議諸條約中通商條約第三條に依り本條約實施後左記の事項に必要なるもの丶外輸入及輸出に對する禁止を廢止し且本條約の有效期間中には之を復活せざることを約し居れり。

(一) 食料供給に缺くべからざる資源の保全及國民の經濟的活動の防護
(二) 國家安全の確保
(三) 人、動物及植物に對する傳染病の豫防
(四) 阿片其他の毒物使用の防止
(五) 土耳古國内に於て使用禁止の酒精含有物の輸入禁止
(六) 金貨及金塊の輸出防止
(七) 國家の專賣制度の設立又は維持

猶從來土耳古「ゾングルダク、ヘラクレー」產出石炭輸出及販賣に關する制限ありしが一九二〇年八月十五日の法律に依り廢棄し爾來土耳古よりの輸出は金貨及金塊を除き全然自由となりたり。

尙土耳古は一九二一年五月七日の法律を以て同法D表記載品同例へば刻煙草、木綿物、絹物、毛織物、寶石其他の貨物の輸入を禁じたりしが一九二三年一月十一日關稅改定に關する法律を以て右禁止は解除せらるゝと同時に前記品目の輸入に關しては高率の輸入稅を課すること丶なりたり一九一六年九月一日以降實施中の土耳古關稅法（一九二〇年七月二十八日の法律及一九二三年一月十一日の法律により改訂）は左記品目の輸入を禁止し居れり。

古衣、武器大砲其他の軍需品、裝藥、雷管、口徑十五「ミリ」以内の拳銃、獵銃彈丸、火藥「ダイナマイト」其他爆發藥
鐵道鑛山爆發藥、鑛山爆發用導火線、土耳古内に於て法的に使用せられざる貨幣、各種劇毒藥、外國富籤券、固形「チジタリーン」「サントニーン」「ストロファンチーン」結晶又は非結晶の「カスシア」、「カフェイン」「テオブロミーン」
「藥劑學名簿に記載無き藥種、外國鹽、酒精、擦附木、刻煙草、鹽酸又は窒酸化「ポタース」及同曹達
爆發製造用窒素「グリセリン」又は其他の窒酸化物

「サッカリーン」、硝酸鹽を含める花火材料、紫ウマゴヤシの種子

第三款　現行關税率と本邦輸出品との關係

本邦よりの輸入品は勞山條約に依り最低税率の適用を受くる次第なるが今本邦品中特に將來有望なりと認めらるゝ品目に付其の税率を擧ぐれば左の如くなるも實際は右税率に係數五を乘じたるものが適用せらるゝものとす。

一、綿　製　品　（税表番號二七〇―二七二）全體を通じ高率なり本邦品の需要多き厚地粗綿布類は百「キロ」に付六、〇〇〇「ピアストル」半瓦斯、生「モスリン」類は百「キロ」に付一〇、二〇〇「ピアストル」精製品の上等のものなるに隨ひ課税額も累進せり綿製品目中課税額の最大なるものは「ヤズマ」、「ヤレムキャー」と呼ばるゝ種類の綿織物即ち捺染されたる精巧の敷布絨氈類なり。

綿糸類（二六六、二六七）は英式番手の番號により且つ又精粗の如何により分ち百「キロ」に付最低九〇〇、最高三、〇〇〇「ピアストル」の課税額なり。

二、莫大小製下衣及下繻類　（税表番號三四〇）一、綿製　二、毛製　三、絹製により區別し一は百「キロ」に付三七、五〇〇「ピアストル」二は一七、五〇〇「ピアストル」三は一七五、〇〇〇「ピアストル」なり。

三、帽子　男帽子（三四四）

（イ）毛皮製	一個に付	九〇「ピアストル」
（ロ）麥稈製		三五
（ハ）「バナマ」		二〇〇
（ニ）「フェルト」		七五
（ホ）絹製		二〇〇

婦人帽（三四五）（飾なきもの）

（イ）麥稈製	一個に付	二〇「ピアストル」
（ロ）同　上（交編經木眞田を合せ用ひたるもの）		三五
（ハ）「フェルト」		二〇

之を要するに帽子類の需要は土國國民政府が土耳古帽廢止を言明せるにより今後盛々增加の見込あり。

四、日傘、雨傘類　（三四八）　絹製一本に付四二〇「ピアストル」毛製（同上）七五「ピアストル」綿製、麻製（同上）三五「ピアストル」の割合にて增加係數九の適用を受く。

五、陶器類　（三九七）　日用陶器類は低率なる課税額にして一個に付一九〇「ピアストル」なり

六、硝子器　（四一二―四一三）　一個に付普通品三五〇「ピアストル」なるが模様入り及彫刻の施されたるものは組成材料の如何により二個に付一、二〇〇「ピアストル」乃至三、〇〇〇「ピアストル」なり。

七、煉瓦　（三九四―三九五）　（イ）釉薬を施さざるもの　百「キロ」に付　四五「ピアストル」

（ロ）釉薬を施せるもの　一五〇

（ハ）耐火煉瓦　四五「ピアストル」

八、「ゴム」製品　（三五二―三六〇）　高率なり平均百「キロ」に付六、〇〇〇「ピアストル」なり。

九、紙及同製品　（二三三―二六三）　包装用紙百「キロ」に付三五〇「ピアストル」、印刷紙（普通品）同二二五、筆記用紙（截斷せざるもの）同四五〇「ピアストル」なり

十、絹糸及び絹製品　（三〇一―三一四）　は高率なる關税賦課さる

十一、靴下、手袋類　（二七六）　百「キロ」に付一〇、〇〇〇「ピアストル」なり

十二、機械工具類　（四九八―五一三）　機械類は他の税目部類に比較せば低率にして電氣機關車竝に電氣機械　（四九九）　の百「キロ」に付二五〇「ピアストル」、農具（五〇七）の無税、印刷機、石版機　（五〇五）　百「キロ」に付三五〇「ピアストル」なるは異とするに足る

十三、時計　（五三三―五三四）　金時計一個に付四〇〇「ピアストル」、銀時計五〇「ニツケル」時計三〇、部分品たる側は金製一「キロ」七二五「ピアストル」、銀製七五〇「ピアストル」、「ニツケル」類七五「ピアストル」なり

十四、石鹸類　（五六一―五六二）　（イ）洗濯石鹸百「キロ」に付五〇〇「ピアストル」、（ロ）化粧石鹸同三、〇〇〇「ピアストル」、（ハ）石鹸粉末同二五〇「ピアストル」なり

十五、蠟燭類　（五六〇）　（イ）「パラフイン」、「ステアリン」蠟燭は百「キロ」に付五〇〇「ピアストル」なり

十六、燐寸　（五七〇）　容器共（イ）木製　百「キロ」に付六〇〇「ピアストル」

（ロ）蠟製　一、五〇〇

（ハ）「ベンガル」燐寸　二、二五〇

十七、砂糖類　（一一五）　（イ）粗糖　百「キロ」に付二二五「ピアストル」

（ロ）精製糖（角砂糖類）　三八〇

十八、茶　（一一四）　百「キロ」に付二、五〇〇〇「ピアストル」

十九、「セルロイド」製品　（七六一）　百「キロ」に付一、七五〇—一〇、〇〇〇「ピアストル」

二十、玩　具　（七六二）　百「キロ」に付六七、五〇〇—八〇、〇〇〇「ピアストル」

第四章　列國の競爭關係

休戰後同盟國側の當方面に對する經濟活動一時停頓せるに引換へ聯合軍側殊に君府を占領せる英佛伊米諸國の製品は君府市場に殺到し來れり伊國は一九二三年に入り輸出國として第一位を占め土耳古輸入總額の約一九・五八％に相當する土貨二千八百三十五萬二千九百四十一磅の貨物を賣込み英佛米の順位を以て之に次ぎたり尤も輸出貿易に於ては英は伊に勝り伊の一千五百二十萬六百七十一磅に英は一千五百七十五萬六千六百七十磅の貨物を土耳古より輸出せり（別紙附錄第八の中一九二三年度貿易統計表參照）伊國の對土貿易は爾來駿々として進み翌一九二四年には土國への輸入總額四千九十八萬三千九百六十磅に夫々激增し英其他を遙かに凌駕せり（別紙附錄第八の中一九二四年度貿易統計表參照）一九二五年全年度に付ては未だ精確なる數字を掲げ得ざるも前半期に付て見るも該趨勢は維持せられたるもの丶如し（別紙附錄第八の中一九二五年度貿易統計表參照）

伊國より土耳古へ輸出品の重なるものは穀物、馬鈴薯、腸詰其他肉罐詰、絹糸竝絹織物にして次で綿布竝綿糸なり其他に紙竝紙製品、皮製品、麻布其他麻製品、「セメント」、石膏、石綿、染料、苛性曹達、機械等を擧ぐることを得又土國より伊國への輸出品の重なるものは煙草、棉、蠶、羊毛、「モヘール」、乾葡萄、肉類、鷄卵なり地理的に有利なる同國は低き勞銀を以て生産せられたる製品を有力なる商船隊と銀行との助を得て海岸都市は勿論小亞細亞の奥地迄へも運搬し地方同國の勃興しつ丶ある工業の爲内地の産物を輸入しつ丶あり現下土國方面に對する伊太利の經濟的發展は伊國の東方政策と共に列國環視の的となり居れり。

伊國に次ぐ對土貿易主要國は英國にして一九二四年には土貨三千四百二十七萬五千百九十磅の貨物を輸入し又土耳古より二千三百二十八萬一千八百八磅の輸出をなせり其輸入總額は同年度に於ける日本よりの輸入に比し約十倍せり英本國に於ても最近近東貿易振興氣分旺盛にして殊に後述の獨逸製品の土耳古市場侵蝕は英國に杞憂の念を懷かしめ現に駐土英國大使の如きは英國の現地位は遠からず獨逸に依て奪はるべしと警告せる趣なり英國よりの輸入品の重なるものは綿糸竝綿製品、羊糸竝毛織物、皮製品にして石炭、及物、釘其他金屬製品、陶器、「ガラス」、機械竝電氣器具、麻製品、麻油、菜種油其他植物性油、砂糖、「コーヒー」、茶、香料、米之に次ぐ輸入品

としては羊毛、「モヘール」、「タビー」、「葡萄、無花果、胡桃、「アマンド」其他乾果、阿片其重なるものなり。

英國の土耳古に於ける商業的地位は牢固として拔くべからざるものあるも土國が安物買ひの國柄として列國の競爭品例へば綿糸竝綿製品に付ては白、伊、米製品に毛織物に付ては伊太利、「チエッコ」佛蘭西製品に機械器具類に付ては米、伊、獨製品に皮竝皮製品に付ては佛、伊、米製品に砂糖、茶等の所謂「コロニヤルプロダクト」に付ては和蘭品の競爭に脅威を感しつゝあり。

戰前對土主要貿易國なりし露國は戰後貿易額頓に減退し昨今に於ては和蘭白耳義乃至勃牙利にも劣り一九二三年には土耳古への輸入三百三萬九千百六十六土貨磅露國への輸出百七十三萬二千四百四十五磅一九二四年には輸入六百三十六萬九千三百七磅輸出二百萬五千三百二十三磅なりしと云ふ併しながら露土間の貿易は露國の經濟狀態改善さるゝに於ては現在の兩國間の友交關係繼續する限り發達の見込充分あるものゝ如く一般に觀測せらる因に土耳古より同國に供給しつゝある物産の重なるものは煙草、棉竝綿布、蜜柑其他生果實及乾果、眞鍮、銅製品にして土耳古に賣込つゝあるものは穀物、石油其他鑛油、「セメント」、家畜、魚卵等其重なるものなり。

獨逸は自己の生産力恢復と共に一時失墜せし貿易上の地位を恢復するに汲々たるものあり殊に「アンゴラ」其他に於ける造營物建設請負を始め內地に向て目覺ましき經濟活動をなしつゝあり一九二三年には土貨九百二十二萬二千七十三磅に相當する貨物を土耳古に賣込たるに一九二四年には一千九百二十一萬三千五百十五磅に激增し佛米の對土貿易上の地位を覆すに至れり現在土耳古が獨逸より輸入しつゝある物品の重なるものは釘、「レール」其他鐵製品、染料及化學製品、紙竝紙製品、電氣工藝品其他機械類樂器にして獨逸が土耳古より輸入しつゝあるものは煙草、阿片、甘草、葡萄、無花果、「アマンド」、胡桃等の乾果、羊毛、「モヘール」等なり因に土耳古よりの輸入總額は一九二三年には七百六十二萬五千五百七十八磅、一九二四年には二千五十五萬一千百三十六磅に增加せり。

目下土獨間には正式通商條約の成立するある兩國間の關係は今後刮目に値す。

次に最近土佛竝米土間貿易には著しき發達の跡を見ず。

佛國よりの輸入品の重なるものは織物類、皮製品、化粧品、化學製品にして米國よりの輸入品は穀物、綿糸竝綿布、植物性竝動物性油、石油其他鑛油、機械類なり。

要之過去數年間の列國賣込競爭は相當激甚なるものありしに當國民の購買力が著しき增加を見ざりしを以て目下國內に「ストック」堆積勝の由爲に目下英、米、佛等は警戒氣味なり。

Annex I.

From Market Report of the Ionian Bank, Constantinople.
Textile Market in December. 1925.

The market, which was considerably overstocked last month, has since improved greatly.

Dealers here have, in general, suffered heavy losses, but have not defaulted in any way.

The demand from the interior has fallen off considerably, and, under present conditions, stocks are sufficient to last for another two months.

AMERICAN SHEETINGS:

"A" (3 yds. equal I lb.(15 cents per yard, c. i. f. Constantinople. Local market price per piece of 40 yards (duty paid) Lt. 12. 80.

"CCC" (3 yds. equal I lb.) 14 ½ cents per yard, c. i. f. Constantinople. Local market price per piece of 40 yards (duty paid) Lt. 12. 40.

JAPANESE SHEETINGS:

Lion "CCC" (13 ½ lbs.) 21/3. c. i. f. per piece of 40 yards. on spot, in transit, 21/-. Local market price for same (duty paid) Lt. 11. 35.

"Dragon C" (13 lbs.) 20/3 c. i. f. per piece of 40 yards. On spot, in transit, 20/-. Local market price for same (duty paid). Lt. 10. 90.

From Market Report of the Ionian Bank,
Constantinople. January. 1926.

There was no important business on this market and the

negotiation, but Chinese sheetings are looked upon as being definitely debarred.

Prices at Port-Said for Japanese sheetings are at least 6d below origin, snd on our market rule the same as those for forward buying from origin.

Stocks are down to 1500 bales, but, mainly owing to financial reasons, the market is not buying.

The Interior market is average, purchases being in small quantities.

AMERICAN SHEETINGS:

"A" (3 yds. equal I ld.) 14 cents per yard, c. i. f. Constantinople Local market price per piece of 40 yards (duty paid) Lt. 13.

"CCC" (3 yds. equal I lb.) 13 $\frac{1}{2}$ cents per yard, c. i. f. Constantinople. Local market price per piece of 40 yards (duty paid) Lt. 12. 40.

JAPANESE SHEETINGS:

Lion "CCC" (13 $\frac{1}{2}$ lbs.) 20/9 c. i. f. per piece of 40 yards. On spot, in transit, 20/4. Local market price for same (duty paid) Lt. 11. 15.

"Dragon C" (13 lbs.) 20/2 nominal c. i. f. per piece of 40 yards. On spot, in transit. 20/- nominal. Local Market price for same (duty paid) Lt. 10. 90.

From Market Report of the Ionian Bank, Constantinople.
March. 1926.

Since our last report prices at origin have broken considerably owing to cheaper cotton.

As a result of the increase in the Customs tariff, Chinese

demand from the interior, which had fallen off considerably, showed no improvement.

Prices have dropped slightly.

AMERICAN SHEETINGS:

"A" (3 yds. equal I lb.) 14 cents per yard, c. i. f. Constantinople. Local market price per piece of 40 yards (duty paid) Lt. 13.

"CCC" (3 yds. equal I lb.) 13 $\frac{1}{2}$ cents per yard, c. i. f. Constantinople. Local market price per piece of 40 yards (duty paid) Lt. 12. 40.

JAPANESE SHEETINGS:

Lion "CCC" (13 $\frac{1}{2}$ lbs.) 20/6 c. i. f. per piece of 40 yards. On spot, in transit, 20/6. Local market price for same (duty paid) Lt. 11.

"Dragon C" (13 lbs.) 19/10 nominal c. i. f. per piece of 40 yards. on spot, in transit. 19/6. nominal. Local market price for same (duty paid) Lt. 10. 60.

From Market Report of the Ionian Bank, Constantinople.
February. 1926.

An increase in the Customs tariff from 34 piastres to 36 piastres on Japanese and Chinese sheetings, which will come into force on the 20th inst., had a very bad effect on the local market.

This increase will also apply to British colonial produce, but America is unaffected.

There is a possibllity that Britain and Japan may avoid this new tariff by the conclusion of Trade Treaties now in

Annex II.

From Market Report of the Chambar of Commerce, Constantinople.

The principal articles of exports in Turkey.

TOBACCO is produced in Turkey to the amount of 50/60 millions a year. The amount of production in 1340 was 60 million and in 1341 55 million kilos. 10 million kilos of this quantity is consumed in the interior and the remainder is exported to different countries particularly to America, England, Germany, Austria, and Italy. The principal regions of production are Samsoun, Smyrna, Ismit, Adrianople and the District of Brousse.

COTTON is produced in the zone of Adana and Smyrna and on the banks of the Sakaria river. The general cotton production of Turkey in 1340 was 160,000 bales of 200 kilos each. 100,000 bales of these are obtained in the Adana zone. In 1920. when Adana was already in French occupation the total amount of cotton production of this country was 20,000 bales, in 1921 35,000 in 1922 40,000, in 1923 60,000 and 1924 more than 100,000 bales.

In the case of all land favourable for cotton being cultivated in Turkey it is estimated that 2 million bales of cotton can be obtained.

A small portion of the cotton production is used in the interior and the remainder is exported to England, France and Italy

goods have ceased to arrive.

With the approach of the buying season, considerable business is expected during next month.

Local stocks are down to 1000 bales which represent about one month's requirements.

AMERICAN SHEETINGS;

"A" (3 yds. equal I lb.) 13 $\frac{1}{2}$ cents per c. i. f. Constantinople. Local market price per piece of 40 yards (duty paid) Lt. 12. 75.

"CCC" (3 $\frac{1}{2}$ lb.) 13 cents per yard, c. i. f. Constantinople. Local market price per piece of 40 yards (duty paid) Lt. 12. 40.

JAPANESE SHEETINGS:

Lion "CCC" (13 $\frac{1}{2}$ lbs.) 19/3 c. i. f. per piece of 40 yards. On spot, in transit. 19/9. Local market price for same (duty paid) Lt. 11.

"Dragon C" (13 lbs) 19/– nominal c. i. f., per piece of 40 yards. On spot, in transit, 20/– nominal. Local market price for same (duty paid) Lt. 10. 70.

Tokat. The third class opium is that of Malatia. This is mostly used in England and America for intoxication for pleasure. The quantity of morphia in this grade is relatively smaller. The general morphia production of Turkey is 5000 bales and is entirely exported.

VALONIA: mostly is produced in the Smyrna region of the Hellespont and exported often via Smyrna. In 1339, 24.732,000 kilos of valonia were exported. The countries where it mostly goes are America, England, Italy, Germany, France and Russia.

FIGS AND RAISINS are specially produced in the vilayets of Aidin, Mentecheh. Denizli and Balikesser. The production obtained in these regions is exported almost wholly to Europe and America and a small proportion is consumed in the interior.

HAZELNUTS. Hazelnuts produced in Turkey are very much appreciated in the European markets because they are round and contain a great quantity of oil. In 1339 in spite of a bad crop 1,918,000 kilos shelled and 9,800.00 unshelled hazelnuts were exported. The greatest part of this export was to France. Italy and Germany.

OTHER DRY FRUITS. In 1339. 6,410,000 kilos pine nuts; 270,000 kilos pumpkin pips; 331,000 kilos kernels of almond; 493,000 kilos shelled and 330,000 unshelled nuts; 550,000 kilos chestnuts and 6,815,000 other different fruits were exported from Turkey.

CARPETS. The Carpet trade occupies an important place in Turkey. Turkish carpets enter into competition with

Japan.

WOOL OF ANGORA GOATS AND FLEECES are the most important articles of export of Turkey, and go mostly to England and France. They are produced practically in the places situated along the railways of Anatolia and exported via Constantinoplo and Smyrna.

SKINS: In Turkey the skins of oxen, buffalos, kids, goats and lambs are partly used in factories in the country and partly exported abroad.

In 1339:

181,645	kilos	Lamb and kid skins (Wet)
569,712	"	Lamb and goat skins (Dry)
179,000	"	Other different skins (Ox, buffalos, etc)
30,000	"	Horse hair and horse tails
322,000	"	Different animals' hair

Were exported.

Besides these the amount of tenned lamb, goat and kid skins exported is 110,000 kilos.

FUR SKINS: Different furs of hare, fox, jackal, badger, marten, wolf and zebra are also exported from Turkey.

OPIUM: Turkish opium is specially used in preparing drugs. The druggist's opium contains 11% of morphia. Opium of this kind is produced in the environs of Ouchak, Akchehir, Kutahia, Afion-Karahissar, and Elghin. The second class opium is known by the name of "soft" and contains morphia in the proportion of 13%. This opium is produced in the vicinity of Amassia, Sileh, Gumush Hadjikeuy and

was : 3,125,000 kilos.

LINSEED AND POPPY SEED are produced in Angora, Aidin Sivas, Castamouni, Kutahia, Afion Darahissar etc, regions and exported through the ports of Constantinople and Smyrna 663,908 kilos were exported in 1339.

COTTONSEED AND HEMP SEED are mostly sent to England, France, Greece, and Italy. The exportation in 1339 was 3,117,496.

BRAN AND CAKES OF SEEK AND FRUIT. In 1339 was 6,643,600 kilos Bran and 632,000 kilos cakes of different seed and fruit were exported from Turkey.

---

3. The greater part of the exports of Turkey go through Smyrna, Constantinople, Samsoun, Trebizonde and Mersina. The advantage of being connected by railway with the interior of Anatolia has caused the ports of Smyrna, Constantinople and Mersin, the greatest exportation ports of Turkey, to be more active than other Turkish ports.

other carpets in the markets of the world by reason of their cheapness.

At the same time Constantinople is also the center of the transit sales of the Persian Carpets.

In 1339, 981,000 kilos carpets and 64,400 kilos kilims (a kind of hard carpet) were exported. The greater part of the exportation is to England ; America and France.

BOWELS, 243,000 kilos of bowels both dry and wet were exported from Turkey in 1339.

WAX. is mostly exported to America and Bulgaria. The average quantity of exports is 240,000 kilos.

MILLET (BIRDSEED). In 1339, 2,597,833 kilos were exported. The exportation is mostly to Belgium, England, America and Germany.

SESAME is mostly produced in Adana, Antalia, Aidin, Diarbekir, Adrianople and its surrounding districts snd mostly exported to Bulgaria and Greece.

In 1339, 866,000 kilos were exported.

DIFFERENT GRAINS. In 1339, 6,000,000 kilos rye and millet 2,200,000 kilos barley for beer, 4,22,000 kilos kidney beans, chickpeas, peas and beans were exported from Turkey.

SALEP is mostly sent to Syria. 290,000 kilos were exported in 1339.

OLIVES. In Turkey olives are produced and consumed in great quantities. In 1339 in spite of a bad crop 9,000,000 kilos olives were exported.

OLIVE OIL. In the same year our olive oil exportation

Soft:

Hadji-Keuy	3200	3350

Mohair.

Marché calme. Les ventes du mois ne dépassent pas 275 balles.

Les stock augmentent à Constantinople et en Anatolie. L'intérieur ne consomme presque rien,

Le stock est évalué à 20000-21000 balles.

Les prix du mois furent :

Yozgad	l'ocque	pts.	215	
Eski-Chéhir	„	„	213	
Yozged	„	„	200	265
Mardine	„	„	194	200

Laine:

Les prix sont invaniables.

On a enregistre quelques demandes pour l'intérieur.

Le faiblesse du marché des centres européens ne permet pas l'exportation de nos laines.

Les ventes du mois se sont élevées à 793 balles.

Les prix du mois furent les suivants.

	Piastres	par ocq.
Anatolie	100	105
Konis	101,5	102
Angora	105	—

Chanvre.

	Piastres par ocque.	
Kastamouni Extra	85	90
„ 1°	80	85

Annex III.

COURS DES MARCHANDISES.

(hors de la Bourse)

du 21 Décembre 1925 au 21 Janvier 1926

Opium.

Les prix de l'opium ont accusé une hausse de 200-360 piastres par ocque.

Cette hausse a été causée en grande partie par la fréquence des demandes. Les ventes du mois s'élèvent à 220 caisses, contre 226 le mois passé.

Le stock est évalué à 615 caisses, contre 297 l'année passée.

Les arrivages d'Anatolie continuent et s'élèvent à 60-80 caisses, en moyenne par semaine. Ces dernières se vendent complètement sur la place. Les opiums provenant de Ak-Chéhir et Kara-Hissar, qui étaient cotés à 2900 piastres, ont été vendus dans la cuite à 2800-2850 piastres.

Les opiums de Hadji-Keuy sont cotés 330-3350 piastres et les Zilé 3050-3100 piastres.

Droguiste :

	Prix-Min.	Prix Max.
	Piastres par ocque.	
Karahissar	2650	2900
Ak-Chéhir	2700	2900
Bolvadin	2650	2800
Yalvatoh	2500	2700

Kars (non fondu)	130	140
Ourfa	180	190

Huile de sésame.

Etrangère	75	27
Indigène	75	76

Végétaline.

La végétaline a suivi les fluctuations du cours de la livre sterling. Elle a accusé constamment une hausse et une baisse de deux piastres par ocque.

	Prix Min.	prix Max.
	Piastres par ocque	
Eu fût	85	86,5
En bidon	87	88

Huile d'olive.

Les prix des huiles d'olive extra extra augmentent continuelement. tes huiles d'olive employées, l'année passée, par la savennerie sont actuellement vendues comme huile comestible. Le degré d'ocidité des huiles de la nouvelle récolte est au minimum de 3–3,5%.

Les prix des huiles extra extre ont haussé de piastres 85–87 à piastres 90–95.

Le marché des huiles d'olive extra est le même. Les huiles comestibles ont haussé de piastres 5–8 par ocque. Mais elles ne sont pas de boune qualité. Les huiles pour la savonnerie sont vendues a piastres 69–74, suivant la qualité.

	Piastres par ocque.	
Aivalik Edremid extra extra.	87	95
" " extra	85	90

" 2°	75	00
" 3°	65	75

Commes adragaotes.

Les prix ont accusé une hausse assez marquée. Les demandes furent animées. Les produits de meilleure quelité ont raffermi le marclé.

	Piastres par ocque.	
Blanc	225	275
Biando	220	260
" Jaune	115	125
Djolo	60	70
Terreux	—	30

Cire.

Cet article est cité parmi les marchandises les plus demandées.

Les prix ont augmenté. Le marché est très sctif.

Mer Noire	195	200
Anatolie	190	196

Beurre

Le marché du beurre fut très calme le mois écoule; aucune demand importante n'alétè offectuée.

Les prix du mois sont les suivants:

	Prix Min.	Prix Max.
	Piastres par ocque.	
Trébisonde (enffit)	130	170
Erzeroum (fondu)	150	160
(noe fondu)	130	140
Kars (fondu)	150	160

» supérieur	24	26
Verte, Karamusal	43	50

Citrons et Oranges.

Le marché des citrons et des oranges est très calme. L'exportation en Russie a diminué. Cela a causé l'accumulation de stocks sur notre marché et occasionné une baisse des prix.

Pendent les 20 derniers, gours les citrons et les oranges n'étaient pas cotés sur notre place. Les bruits courent que la Russie achètera de nouveau d'importantes quantités de ces produite. L'intérieur ne consomme presque rian. Les stocks de notre place sont évelués à 20000 caisses d'oranges et 8000 caisses de citrons. Les citrons de provenance italienne continuent d'arriver. Ils sont vendus à piastres 500 par caisses de 504 pièces et à piastres 500–450 par caisses de 330 pièces.

Fruits secs.

La vente presque entière des raisins et des figues a majora les prix.

Sulianines extra	80	90
» moyen	60	75
Smyrne Razaki	45	50
Razaki en gruppes	65	75
Ouria	28	30
Aintat	30	35
Smyrno (raisin noir)	30	35
Aintab (» »)	28	30
Pêche extra Malatia	70	80
» commun »	40	50

» » comestible 1°	83	86
» » nouvelle récolte	76	22
» » pour savonnerie	69	72
» » » »	73	78

Savone

Les prix n'ont pas varié. Le marché est feme.

	Prix Min.	Prix.Max.
	Pts. par	ocq.
Aivalik Extra Extra	55	57
Edremid I–rs qualité	54	56
Savons indigènes	52	54
Savons à froid	36	40
» parfumés	40	44

Olives

Les prix des olives n'ont pas varié, car le produit de la nouvelle récolte, de qualité inférieure, est vendu aux mêmes prix que les olives de meilleure qualité de la dernière récolte.

	Min.	Mix.
	Pts. par	ocq.
Guemlik (doublé)	38	40
» spécialité	32	34
» supérieur	25	26
Trillya superieur	24	26
» extra	22	24
Erdek supérieur	24	26
» extra	22	24
Moudenia spécialitè	26	28

Oeufs

	Ltq. la caise	
Bartine	62	67
Inéboli–Samsoun	60	65
Trébizonde	52	58
Anatolie	62	66
Panderma–Kara–Bigha	60	65

Soie

Marché clame. Les prix ont haussé de 50–60 piastres par kg.

	Prix min.	Prix max.
	Pts. le kg.	
Soie pour fil. Brousse 1ᵉ qual	25,50	24,50
„ „ „ „ 2ᵉ „	22,50	23,00
Cocons 1ère qualité	450	500
„ médiocre	380	400
„ maigre	100	120

Sauvagines.

La saison hibernals a activé les demandes dex peaux de chasse. Les qualités les plus demandéos sont la fouine at le lapin. Le marché des lapins, qui avait débuté à 75, s'est haussé jusqu'à Ltq. 88. Les autres qualités ne sont pas beaucoup demandées.

	la paire	
Renard (Anatolie)	1000	1600
Fouine (Erzeroum)	5000	5400
„ (Anatolie)	4200	5200
Lapin (lot de 100 pièces)	7500	8800

„ Damas	95	100
Caroube Alalé	8	10
„ Oreto	10	11
Figues Bedroum	18	20
„ dans les boftes en gélatine	45	50
„ „ „ en carton	50	55
Raidens de Corinthe	30	35
Amande cassée	180	190
Figues en petits sacs	50	55
Noix	15	16
Noix (de la nouvelle récolte)	16	18
Noix cassée	70	80
„ „ qualité médiocre	50	60
Prunes	15	17
Miel à cire	—	100
„ fondu	—	60
Pruues séchées	30	35
Arachides	39	40
Datte blanche	—	35
Datte d'Egypte	24	25
Igdé Murefté	15	20
„ Smyrne	25	30

Noisettes cassées.

	Pts. par ocp.	
Kérqssunde livrable cif c/ple	82	90
Ordou „	80	88
Trébizonde „	80	86
„ en coque	32	34

„ „ „	au bateau cif...	15,25	15,50
Java(double sac) „	cif	16	16,25
„ „ „	au bateau	16,50	16,55

	Le Kg.	Pts.
Hollande cube dédouané	38,20	40,25
„ concassé „	35	36,50
Tchécosl cube „	37,50	40
„ concassé „	33,75	36
Java concasé(double sac)	35	37

Café

	Le Kg.	Pts.
Rio No. 1–5 livrable, cif	107	118
„ „ „ „ au bateau	108	114
„ „ „ è livrer, le quintal.....	88	164
„ „ „ dédouané	147	164

Peaux

Les transactions ont été nombreuses sur les peaux de chèvres. Le marché est ferme sur les peaux d'agneaux et de chevroaux. Les marchandises arrivées tout dernièrement sont complètement vendues.

	pièc.	kg.	Pts. la paire	
Peaux d'agneau	100	(100 à 105)	250	255
„ „ „		(90 à 95)	230	240
„ „ „		(80 à 85)	180	190
„ de chevreau Mer Noire.....			270	280
„ „ Anatolie			200	220
„ de mouton salées, séchées.			88 l'ocq.	92
„ „ „ „			88 klg.	92

Chacal	400	450
Castor.....	8000	3200
Chat	350	400
Blaireau	580	600
Loup	800	1000

Royaux

Mouton(la pièce non ouvrée).....Pts.		30

Sacre

Les prix du mois sont invariables. On estime que la nouvelle récolte sera la même que la dernière et que le marché du sucre ne subira pas de grands changements. Les demandes importantes faites de New-York à Trieste ont augmenté les prix du sucre dans le port. La production hollandaise en cubes est vendue sur notre marché à Sterling 19–19,5.

Le marché de sucrés dédouanés a été beaucoup influencé par le décret du gouvernement au sujet des sucres provenant des pays qui n'ont pas signé d'accord commercial avec la Turquie.

	Livre Sterling la tonne	
Hollande cubes livrable cif	19	19,50
„ „ „ au bateau.....	19,5	20
„ concassé „ cif.....	—	16
„ „ „ au bateau.....	—	16,50
Tchécosl. cub livrable cif	18,75	19,25
„ cubes livrable au bateau cif...	19,25	19,75
„ concassé „ cif	14,75	15

Kosaque	70	80
Ghebdhé	35	40

Tapis persans

	Prix min.		Prix max.
Kervan	12,5	le m2	15
Hériz	20	„	25
Tébriz	13	„	20
Korassan	12	„	15
Mechhed	18	„	22
Kerman	30	„	35
Mech-Ab.d	14	„	15
Mohal	15	„	17
Sarouk	35	„	45
Chiraz	36	„	46
„ extra	65	„	80
Mossoul	22	la pièce	24
Hamadan (Mossoul)	21	„	24
Guemré (Mossoul)	50	„	60
Erdebil Kénaré	33	„	38
Karadja Kénaré	45	„	60

Tapis du Belcudjistan

Belo djistan	pts. 120,	le pied carré	150

Tapis de Boukhara

	Sch.		Sch.
Boukhara	9	le pied carré	12

Tapis de l'Afghanistan.

Afghanisan	5	„	4

R i z

Peaux de chèvre (Mer Noire)	130/120	l'ocq.	300	la paire 340
„ „ „	140/150	„	360	„ 370
„ „ (Anatolie)	115/125	„	250	„ 270
„ de renard (plus de 2 ocques)			430	„ 440
„ de boeuf en saumure (plus de 19 ocques)			70	l'ocq. 75
„ de boeuf d'Anatolie seché et salé			100	„ 110
„ „ de Césarée			115	„ 120
„ „ en saumure, peaux de buffles (plus de 22 ocques)			30	„ 83

T a p i s

Tapis anatoliens :

	Prix min		Prix mak.
Kilims usés	20	Ltqs. la pièce	25
Coussins	4,5		5,5
Kilims Namazi	8		10
Sedjadés usés	15		20
Césarée (en soie)	30		35
„ (pour table)	20		22
„ (couleur végétale 1°)	50		60
„ „ „ 2°)	30		35
Kurdus	7	(le m2)	8
Demirdji	8		10
Bourlou	10		13
Sparta (non lavé)	14		17
„ (lavé)	17		22
Bergama	17		22

Tapis du Caucase

Chirvan	40	60

Fine	16,5 pts. le Kilo		—
Régal (0)	17	»	—
» (00)	18	»	—
» (000)	20	»	—
Valvaline	20	»	21
Graisse	24	»	25
		la tonne	piastres
Huile de moteur	7450		7500

COURS DES MARCHANDISES.

(hors de la bourse)

du 21 Janvier au 21 Février 1926.

Opium.

Marché faible. Les prix du mois sont inférieurs de piastres 100–150 par rapport aux prix du mois passé. La vonte du mois ne s'est Clevée qu'a 120–130 caisses.

	Prix Min,	Prix max.
	Piastres par ocque.	
Karahissar	2800	2850
Ak-Chéhir	2700	2850
Bolbadin	2750	2850
Gueyvé	2500	2600
Eski-Chéhir	2400	2500

Mohair.

Le marché de mohair n'est pas animé, 134 balles de mohair, de provenance Angora, furent vendues à piastres

			Prix min.	Prix max.
			Lstg. par tonne	
Rangoun N° 3 livrable cif			16,50	16,75
»	»	» au bateau cif	17	17,25
Siam	»	» cif	18,50	18,75
»	»	» au bateau cif	19	19,25
Bombay	«	» cif	19	21
»	«	« au bateau cif	49,50	21,50
Rizon	»	» cif	22	22,50
»	«	« au bateau cif	22,50	23
Java	«	» cif	21,75	21,25
«	»	» au bateau	21,25	21,75
Indes	»	» cif	21	21,50
»	»	» au bateau cif	21,50	22
			Ocque	Piastres
Rangoun dédouané			38,25	40
Bombay	»		42	46
Sésame	»		39,50	42
Rizon	»		43	46
Java	»		41	44
Indes	»		43	46,30

Pétrole et benzine

Il n'ya auoun changement dans les prix.

Pétrole	13,5 Pts. le Kilo		14
» 2 bidons	475		480
Benzine	22,5 Pts. le Kilo		23
» 2 bidons	635		

Huiles pour machines

» spécialité	40	42
» supérieur	33	34
» extra	28	30
Trillya Hatman	30	32
Erdek	35	37
Moudania spécial té ?	35	36
Karamasal	50	55

Les marchés de fruits secs et d'agrumes sont invariables.

Noisette cassée.

Les prix continuent à baisser.

Les prix ont varié entre piastres 70–75–78.

Oeufs.

L'exportation s'active.

Prix du mois : piastres 50–60.

Peaux de Chasse.

Marché constant.

Pétrole.

Livrable à Constantinople	le kg.	13.–piast.
» aux détaillants	»	14,5 »
prix maximum an ditail	»	20– »

Sucre.

En cubes la caisse de kg. Ltqs. 19., cristallisé le sac de 100kg. Itqs. 34. En cube (en détail) piastres 54, cristallisé (endétail) piastres 49 par ocque.

Le marchê du riz et du café n'apas varié.

COURS DES MARCHANDISES

(hors de la Bourse)

194–195 l'ocque.

Laine.

Les prix la laine ont baissé.

Les prix ont varié entre piastres 95–100.

Le prix du chanvre, de la gomme adragante et du beurre n'ont pas varié.

Même prix que le mois passé.

Huile d'Oive.

Les prix continuent à hausser.

	piastres par Ocque.	
Aivailik–Edremid extra extra	95	100
» » extra	90	95
« » comestible 1°	36	90
» » comestible	82	86
» » pour savounerie	80	82

Savons.

	Prix Min.	Prix Max.
	Pts. par ocq.	
Alvalik Extra Extra	57	58
Edremid Ire qualitè	55	56
Savons indigénes	52	54
Savons à froid	56	54
» parfumés	40	44

Olives.

Les prix d'olive ont augmenté de piastres 5–6 par ocque.

	Min.	Max.
	Pts. par ocque.	
Guemlik (doublé)	45	46

Les ventes continuent. Les prix sont constants.

Anatolie	90	100
Konia	9	95

Chanvre

Marché constant.

	piastres par ocque	
Kastamouni extra	85	90
„ 1°	80	85
„ 2°	75	80
„ 3°	65	75

Gomme adragante

Prix inchangé.

	Piastres par ocque	
Blanc	255	270
Biando	240	260
„ jaune	115	125
Djolo	60	65
Terreux	—	30

Cire

L'activité des transactions a influencé les prix, qui ont subi une certaine.

Mer Noire	200	215
Anatolie	195	205

Beurres

Marché inactif. Les transactions se bornèrent seulement aux ventes en détail.

	Prix Min.	Prix Max.
	Piastres par ocque.	
Trébizonde(eu fût)	150	160

du 21 Février au 21 Mars 1926.

Opium

Les prix du mois ont baissé: environ 200 piastres par ocque : par contre les ventes s'élevèrent à caisses 350.

Les opiums de provenace Ak-Chéhir sont cotés à piastres 2500-2600 et ceux de Zilé à piastres 2900 l'ocque.

Le stock est évalué à caisses 650

Il n'est pas possible d'évaluer la quantité de la nouvelle récolte,

	Prix Min.	Prix Max.
	Piastres par ocque.	
Ak-Chéhir	2500	2600
Karahissar	2400	2550
Bolvadin	2400	2500
Bey-Bozou	2200	2400
Soft (Hadji-Keuy)	2900	3000

Mohair.

Marché actif. Vente du mois: balles 3000. Le stock est évalué à balles 16000. Les prix accusent une faible baisse. Les prix cotés sont les suivants:

Angora	170	175
Tossia	—	160
Ak-Chéhir	170	173
Eski-Chéhir	160	175
Chevreau	210	220

Laine

» » comestible 1°	92	95
» » comesticle	90	92
» » pour savonnerie	88	89

Savons

Les prix de l'huile d'olive ont augmenté de piastres 5–6 par ocque.

La hausse des prix des savons de fabrication indigène est causée surtout par le fait que les Grecs ont déversé sur notre place un grand atock de savons provenant du Mételin.

Ces savons sont offerts sur notre place à piastres 1–2 meilleur marché que les savons indigènes.

	Prix Min.	Prix Max.
	Pts. par oque	
Aivalik extra extra	61	65
Edramid 1-re qualité	60	66
Savons indigènes	58	62
Savons à froid	45	55

Le marché de fruits secs, d'agrumes et d'olives est inchangé.

Noisette cassée

Les demandes effectuées par les marchés de l'Europe ont haussé les prix, qui ne dépassaient pas piastres 75 au commencement du mois. Le 40% de la dernière récolte n'exs pas encore vendu.

Les noisettes en coque expédiées en Alexandrre à l'occasion du Ramazan ont été vendues à piastres 36–38,5.

Les noisettes pourries employées dans la savonnerie et qui

Erzeroom (fondu)	130	140
» (non fondu)	120	130
Ourfa	170	180

Snif

Les prix ont oscillé entre piastres 85–90 l'ocque.

Huile de sésame

Les transactions furent assez animées, causées surtout par l'élévation des prix de l'huile d'olive. Les huiles les plus recherchées sont celles de provenance française. Le prix accusèrent une certaine hausse vera la fin du mois.

Huile de sésase	80	90

Végétaline

Les prix de la végétaline ont haussé ,par suite de la demande et aussi par les fluctuations de la devise anglaise.

	Prix Min.	Prix Max.
	Pts. par ocque	
En fût	89	90
Eu bidon	90	91

Huile d'Olive

La hausse. qui s'était manifestée jusqu'à présent dans les prix de l'huile d'olive cessa et, vers la fin du mois, les prix accusèrent une stagnation.

Le marche est presque inactif.

Les huiles d'olive employées dans la savonnerie ont augmenté vers le milieu du mois.

	Piastres par ocque	
Aivalik–Edremid extra extra	98	100
» » extra	95	97

Lapin (100 pièces)	6506	6800
Chacal	350	400
Castor	1800	2000
Chat	380	450
Blaireau	450	500
Loup	800	1000

Coloniaux :

Sucre

La direction du monopole du sucre a fixé le prix du sucre en détail à 49–54 piastres par coqus.

Café et Riz

Marché presque invariable.

ne pouvaient trouver acquerreurs à 20–21 sont vendues à piastres 30.

	Pts. par ocque	
Kérassunde livrable cif Constantinople	80	83
Ordou » »	77	82
Trébizonde »	76	81
» en coque	36	38
pourrie	25	30

Oeufs

La nouvelle récolte est arrivée. Les prix baissent. Les prix oscillent entre piastres 47–52.

	Ltq. la Caisse	
Bartine (nouvelle récolte)	49	52
Inébeli–Samsoun	49	51
Anatolie	48	50
Trébizonde	43	47
Fatsa	46	48
Panderma–Dara Bigha	46	49

Soie

Prix invariables.

Peaux de chasse

Les transactions ont peu à peu perdu de leur importance. Vers la fin du mois, le marché devint presque complètement inactif.

	La paire	
Renard (Anatolie)	800	1500
» (Erzeroum)	1800	2300
Fouine	3500	4300

1327(1911)	44.990.700	24.712.100

D'après le "Bulletin Statistique de l'Empire Ottoman" 1327 9 1911. Troisième année. Stamboul. 1914.

D'après les données de la Direction des Contributions Indirectes(Douane).

1328(1912)		
1329(1913)	40.809.682	21.436.120
1830(1914)	Pendant la grande guerre et	
1331(1915)	les deux premières années de	
1332(1916)	l'occupation de Constantinople	
1333(1917)	par les Alliés, les statistiques	
1334(1918)	n'étaient pas publiées.	
1335(1919)		
1336(1920)		
1337(1921)	127.630.000	82.100.000
1338(1922)	151.000.000	99.210.000
1339(1923)	144.788.671	84.651.190
1340(1924)	193.611.048	158.867.957

Annex IV.

La Stàtistique du Commerce Extérieur Ture.

Années	Importations En Livres Turques or	Exportations En Livres turques or.
1303(1387)	20.105.600	11.289.100
1304(1888)	19.456.700	13.546.500
1305(1889)	21.041.500	15.272.400
1306(1890)	22.914.300	12.836.500
1307(1891)	24.553.900	15.370.000
1308(1892)	24.496.700	15.572.000
1309(1893)	24.108.700	13.262.400
1310(1894)	24.075.500	13.753.800
1311(1895)	20.575.700	15.536.600
1312(1896)	21.859.700	15.428.500
1313(1897)	23.434.100	14.744.500
1314(1898)	26.621.300	13.425.400
1315(1899)	24.496.500	15.561.400
1316(1900)	23.841.600	14.905.000
1317(1901)	24.567·600	15.393.400
1318(1902)	23.025.500	15.562.300
1319(1903)	24.396.100	17.540.200
1320(1904)	27.903.100	17.004.800
1321(1905)	31.366.000	19.672.400
1322(1906)	33.539.000	18.573.400
1323(1907)	34.763.600	19.213.000
1324(1908)	31.432.200	13.439.100
1325(1909)	95.936.000	18.299.300
1326(1910)	40.125.700	21.937,900

manufactures	53.939.763	25.030.070	»
Articles for manufacturing, of flax, hemp and yarn...	2.594.513	6.113.644	»
Sik, sewing silk and its tissues	754.718	2.600.904	»
Wool, woolen yarn and its tissues	8.897.278	811.739	»
Confectioned cloths, fashion articles and linens	1.777.021	1.593.224	«
Rubber and rubber manu factures and waxcloth	2.044.878	63.242.025	»
Fuel	1.444.697	17.342.409	»
Glass, porcelaine and glass articles	2.278.707	33.991.651	»
Met..ls and itsmanufactres	7.750.966	2.634.478	»
Machines and mechanical apparatus	1.336.448	622.444	»
Carriage, waggon and ship...	4.686.240	773	ton
Watchmarker manufactures and musical instruments...	575.609	235.658	kilos
Oli for industries, candles...	6.510.104	49.696.214	»
Explosive matters	864.634	1.553.774	»
Prepared colours, medical specialities and perfumeries	3.460.504	13.361.717	»
Articles not mentioned iu other places of tariff	1.804.800	1.681.519	«
TOTAL	144.788.671	496.752.723	

Annex V.

QUANTITY OF IMPORTATION OF TURKEY IN 1923.

Species of Articles	Values	Quantity	
Living animals	2.228.475	145.258	number
			kilos
Eaxable produce of animals and fishes	2.557.313	5.506.706	»
Provisions berries and productions of them	14.642.731	161.408.351	»
Vegetables and fruits	2.071.952	19.625.423	»
Provisions of colonies, sugar, coffee tea &c.	15.094.098	54.075.641	»
Intoxicants, alchol and mineral Waters	632.128	2.400.918	»
Vegetale oils	1.501.908	3.251.527	»
Tobacco and tobacco of Shiraz	188.581	185.094	»
Seed, hay and plant clamps	101.213	1.796.812	»
Animal skins and clamps	1.423.924	3.245.030	»
Manufactured sole leather and furs	371.441	2.447.218	«
Manures	408	3.550	»
Timber, Wooden manufactures and articles of brushmaker	9.441.692	8.473.971	»
Paper and its application	3.168.569	14.175.975	»
Cotton and cotton			

Switzerland	340.795				
Syria	7.880.087	11.661.284	1774	6175	1 ton.
Yougo-slavia	844.556	61.177	13	15225	
Other countries...	5.764.705	27.396.733	4228	4342	60mètre cub. 292 ton.
Others	6.568.219	20.262.572	4071	1296	427mètre cub. 471 ton.
TOTAL	144.783.819	496.752.723	9226	14528	5112mètre cub. 773 tons

QUANTITIES AND VALUES OF IMPORTIONS
REGARDING ORIGINAL
AND OUTLET COUNTRIES

Countries	Values Ltqs.	Kilos	Quantities Number		
America.....	11.059.352	70.191.859	29	2	
Austria	1.284,750	3.518.341	4514	5	
Belgium.....	7.413.836	30.017.803	565	2	
Bulgaria.....	4.944.775	58.615.789	333	89096	
Checo-slovakia ...	1.880.340	5.620.754	365	2	
Egypt	6.682.612	23.398.958	1872	22	
England.....	25.063.477	66.842.560	2362	464	184mètre cub.
France	13.229.353	214.596	13.646	258	1755 „ „
Germany ...	9.222.072	19.127.333	1864	1	1332 „ „
Greece	927.346	4.173.030	378	3322	420 „ „ 1 ton·
Holland	38.370.603	9.877.114	1117	5	840mètre cub.
Hungary ...	21.703	114.354	22	0	
India	525.604	1.440.077			
Irak	266.744	809.603	0	575	
Italy	28.352.941	46.732.076	18.602	7	104 „ „ 4 ton.
Japan.....	1.000.106	800.522	24		
Persia.....	653.392	236.848	20	10163	
Poland	168.114	89.777	40		
Roumania ...	3.799.529	30.531.428	50	11277	
Spain	13.489	25.329			
Russia	3.039.166	31.419.010	1	05	4 ton.

Ghéliboli	282
Bandirma	279
Nimet	233
Eréghli	176

Annex VI.

L'état

des

Bateaux

de la Compagnie de navigation turque (Séfr-i-Séfarn)

an Mars 1926.

Noms des bateaux.	Gross-tonn.	Noms des bateanx.	Gross-tonn.	(remorquers & steamboats) Noms des bateaux.	(Moteurs) Nome des bateaux.
Ghul Djémal	5071	Kadi Keuy	697	Ghayret	Moteur Filia
Ak Déniz	5006	Moda	699	Koudket	
Kara-Déniz	4745	Bourgas	697	Kartal	Moteur Berck
Réchid Pacha	4458	Kinali Ada	472	Chazal	〃 Tchakidji
Djumhouriet	4171	Maltépé	472	Séffa	〃 Sur-at
Kizil Irmak	2764	Pendik	472	Tékir Dagh	〃 Vazif
Mahmoud-Chev-ké Pacha	2690	Buyuk Ada	555	Hidmet	〃 Ghul Djéms
Ghul Nihal	1259	Haleb	437	Ak Bake	〃 Kilaghouz
Zongouldak	1222	Bagdad	437	Raghbet	〃 Istkial
Mersine	1186	Bassora	437	Sébat	〃 Trébizond
Tchanak Kalé	1176	Néve Esser	375	Nil Mouchi	〃 Sélaamet i-Bahri.
Marmara	1078	Ihsan	375		
Antalia	1024	Fener Bagtché	286		
Alemdar	362	Haidar Pacha	286		
Kodja Ili	50	Djik	146		

Annex VII.

BOURSE DE VAIEURS

du 21 Octobre au 21 Novembre 1925.

CHEQUES:

Londres chèques	Min.	Max.	Moyenne.
Pts.Par Ltqs.....	584.25	879	860.25
New-York Ltq· Par Doll	0.56.75	0.5525	0.5636
Paris Frs	14.35	12.69	13.75
Bruxelles Frs	12.52	12.15	14.40
Milan Lires	14.38	13.815	14.16
Genève Frs	2.94	2.86	2.92
Amsterdam Flor	1.41	1.37	1.40
Madrid Peset	3.95	3.85	3.91
Sofia Levas	80	77.25	78.86
Berlin Marks	2.38	2.25	2.34
Varsovie Zlotys.....	3.60	3.25	3.32

	Min.	Max.	Moyenne
I Livre St	852	879	858.19
1 Dol.(E.U.A)	175.01	181	176.47
20 frs(France)	141	166.20	146.72
20 lirettes (Italie)	139.20	146.20	141.00
20 frs. (Suisse)	673	692.20	679.15
20 Drachmes(Grèce) ...	46.225	49.225	47.41
I Reichsmark (Allemagne)	41.10	42.20	41.59
1 Shilling(Autriche) ...	24.10	26	24.64
20 Leis (Roumanie) ...	16	17	16.32

Vienne Shell	4.05	3.88	3.99
Bucarest 20 Leis Pts....	16.375	17	16.75
Moscou I Tch. Pts.....	907	910	909.60

EMPRUNTS:

Emprunt intérieur ...	56.6875	56.6250	51.52
Unifiés.....	121.5	143.25	132.75

20 Levas (Bulgarie)....	24.30	26.15	26.42
1 Flerin(Pays-Bas) ...	68.30	71	69.47
20 Krons(Tchécos.) ...	103	106	104.75
20 Dinars (Yougos.)...	61	62.30	61.665
1 Zloty (Pologne).....	29	31	30
1 Tchervonsi(Russie)...	895	915	904.00

BOURSE DE VALEUR

du 21 Novembre au 21 Décembre 1925.

Chèques:

Londres chèques	Min.	Max.	Moyen.
Pts. par Ltqs.	854.25	879	860.25
New York/Ltq.par dol	0,56.75	0,5525	0,5636
Paris Frs	14,35	12,79	13,75
Bruxelles Frs	12,52	12,15	14,40
Milan Lires.....	14,38	13,815	14,16

	Moyenne.	Min.	Max.
1 Liv.St	906,10	882,30	919,20
1 Dol. (E.U.A.)	186,55	180	184.20
20 Frs. (France)	147,20	141	153
20 Lirettes(Italie)	150,92	146	154,20

Genève Frs	2,94	2,86	2,96
Amsterdam. Flor.....	1,41	1,37	1,40
Madrid Peset.....	3,95	3,85	3,91
Sofia Levas.....	80	77,25	78,86
Berlin Marks.....	2,38	2,25	2,34
Varsovie. Zlotys	3 ,60	3,25	3,32
Vienne Shell.....	4,05	3,88	3,99
Bucarest 20 Leis Pts...	16,375	17	16,73
Moscou I Tch. Pts. ...	907	910	909,60
EMPRINTS:			
Emprunt intérieurs ...	50,232	47,37	57,25
Unifiés	144,63	133,50	163,50

20 Frs. (Suisse)	716,74	695	727,30
20Drachmes(Grèce) ...	49,255	46,10	51,120
1 Reichsmark (Allemagne)	43,60	40,30	44,20
1 Shilling(Autriche) ...	26,23	26	27
20 Leis (Roumanie) ...	16,89	16,275	17,50
20 Levas(Bulgarie) ...	26,16	25,20	26,50
1 Florin(Pays-Bas) ...	71,638	70,20	73,20
20 Kron (Tohecos.)...	108,34	106	110
20 Dinars(Yougoslav.)	35,32	63,10	67
1 Zloty(Pologne)	26,57	21	32
1 Tchérvonsi.(Russie)	940,12	916	960

BOURSE DE VALEUR

du 21 Novembre 1925 au 21 Janvier 1926.

CHEQUES:

Londres chèques	Min.	Max.	Moyenne
Pts. par Ltqs. Lstg. ...	905,50	933,75	914,128
NewYork Ltq. par Dol...	0,53,775	0,520,625	0,53,151
Paris Frs.....	14,60	13	14.00
Bruxelles Frs	11,775	11,475	11,68
Milan Lires	13,30	12.85	13,187
Genève Frs	2,77	2.69	2,742
Amsterdam Fler.....	1,33	1,29	1.318
Madrid Peset	3,78	3,67	3,74
Sofia Levas	75	75,25	74,39
Berlin Marks	8,25	8,18	2,216
Varsovie Zlotys.	5.30	3,70	4,54
Vienne Sholl.	3,80	3,70	3,75
Bucarest20 Leis Pts. ...	16.875	17,375	16.974
Moscou I Tch. Pts....	952	982	964,08

EMPRONTS:

EFFECTIFS:

	Meyenne.	Min.	Max.
1 Lstg.....	903,20	931,30	911,56
1 Dol.(E.U.A.)	185,30	191	187,05
20 Frs.(France)	140	146,20	143,34
20 Lirettes.(Italie).....	150	154,20	151,56
20 Frs. (Suisse).....	715	738	721,37
20 Drachmes.(Grèce)...	47,10	32,10	43,16
1 Reichsmark(Allemagne)	43,30	45,20	44,10
1 Shillng (Autriche) ...	36,30	38,10	37,26
20 Leves(Roumanie) ...	16,35	17,75	17,24
20 Levas (Bulgarie) ...	26,20	27,25	27
1 Flerin(Pays-Bas) ...	73	75	73,78

Emprunt intérieur ...	56,6875	74,5	67,59
Unifiés	134	155	146,89

20 Krons(Tchécos.) ...	108	112	108,85
26 Dinars(Yougos.)...	66,10	69	66,74
1 Zlcty(Pologne)	17,20	25	20,17
1 Tchérvonsi(Russie)...	940	980	968,82

BOURSE DE VALEUR

du 21 Janvier au 21 Février 1926.

CHEQUES:

Londres chèques	Min.	Max.	Moyenne
Pts. par Ltqs Lstg ...	980,819	910,00	932
New York Ltq. Par Dol.	0,58,528	0,52,00	0,52,1375
Paris Frs.....	14,140	14,42	13,96
Bruxelles Frs	11,553	11,625	11.45
Milan Lires	13,031	13,18	13,920
Ganève Fre	8,721	2,74	2,695
Amserdam Flor	1,506	1,32	11,2036

	Moyenne.	Min.	Max.
Livre Sterl	983,30	915,30	930
1 Dol (E.U.A)	189,08	138,10	190,2
20 Frs(France).....	141,483	139	143,10
20 Lirettes(Italie)	152,71	151,10	155,10
30 Frs.(Suisse)	730.46	726	733
20 Drackmes (Grèce)Nouv	51,498	38,10	55,25

Madrid Peset	3.705	3,73	3,67
Sofia Levas	74,615	75,75	73,00
Berlin Marks	2,20	2,23	2,1825
Varsevie; Zlotys	3,807	3,85	3,75
Vienn Shel	3,732	3,77	3,70
Bucarest 20 Leis Pts...	16,738	16,50	17,00
Moscou I Tch Pts ...	961,75	930	984

EMPRUNTS.

Emprunt intèrieur.....	70,50	68,75	72,625
Unifiés	129,22	150,75	171,75

20 Drachmes(Gr;)àncien	48,25	39,10	19,33
I Reichsmark(Allemagne)	45,05	44,20	45,50
I Shilling(Autriche)...	27,45	29	28
20 Leis(Roumanie) ...	16,339	16,20	17
20 Levas (Bulgarie)...	26,896	26,30	27,50
1 Florin(Pays-Bas) ...	74,83	74	75,20
20 Krens(Tchèces).....	111,45	110	113
20 Dinars(Yougosl.)	67,83	67	69
1 Zloty (Pologne)	22,51	20,06	25
1 Tchervonsi (Russie) ...	962,23	960	980

Syria	7.526.930	9.243.138
Egypt	7.171.361	4.830.638
Holland	6.383.819	9.343.923
Russia	6.369.307	2.005.323
Czecho-Slovakia	6.103.941	—
Bulgaria	3.574.911	1.543.077
Japan	3.056.806	—

For the First Six Monthes of 1926.

GERMANY

	Import from	Export
January	1.886.759	2.800.312
February	2.418.042	2.421.404
March	2.187.527	1.384.952
April	2.086.017	1.286.902
May	1.995.621	1.954.569
June	2.604.306	1.274.321
Total	13.191.272	11.119.460

ITALY

	Import from	Export
Janury	3.305.767	5.952.662
February	3.053.395	6.817.042
March	2.183.840	3.318.331
April	2.754.458	4.711.836
May	4.360.572	2.768.398
June	4.094.608	1.944.901
Total	19.752.640	25.513.170

UNITED KINGDOM

Annex VIII

Oversea trade with other country

For 1923

	Import from	Export
Italy	28.352.941	15.200.671
United Kingdom	25.063.477	16.756.670
France	13.229.353	10.504.219
America	11.059.352	6.749.602
Germany	9.222.063	7.625.578
Syria	7.880.087	6.045.927
Holland	3.837.603	6.654.989
Belgium	7.413.836	2.226.994
Egypt	6.682.512	2.475.186
Burgaria	4.944.775	1.054.798
Russia	3.039.166	1.732.445
Roumanie	3.799.529	728.180
Greece	927.346	2.881.851
Austria	1.284.750	8.327
Japan	1.220.106	—

For 1924

	Import from	Export
Italy	40.983.960	34.883.764
United Kingdom	34.275.190	23.281.808
Germany	19.213.515	20.551.136
France	18.297.973	18.786.421
United States	11.377.884	16.391.604
Roumania	10.165.171	1.983.695
Belgium	8.762.943	3.731.673

March	335.322	189.317
April	311.519	175.155
May	338.037	341.589
June	302.465	136.864
Total	1,992.192	1,334.747

HOLAND

	Import from	Export
January	959.884	187.662
February	550.929	415.008
March	405.261	616.244
April	564.900	407.867
May	565.901	506.829
June	542.524	646.072
Total	3.239.399	2.779.682

EGYPT

January	565.838	343.110
February	454.322	392.464
March	482.310	491.609
April	583.225	243.342
May	588.837	406.038
June	533.829	282.029
Total	3.208.361	2.163.592

	Import from	Export
January	2.100.512	1.302.914
February	2.565.875	1.650.708
March	1.956.864	1.194.995
April	3.063.950	1.109.995
May	5.025.780	841.843
June	4.071.836	413.805
Total	18.784.817	6.513.260

UNITED STATES

	Import from	Export
January	4.014.288	1.184.240
February	2.007.923	1.620.729
March	2.324.439	1.081.294
April	2.077.802	622.698
May	1.534.042	675.925
June	1.852.224	742.443
Total	13.810.718	5.927.329

FRANCE

January	1.766.392	3.086.845
February	1.778.111	2.294.236
March	2.001.598	2.135.890
April	2.067.059	1.725.602
May	2.173.241	1.448.470
June	2.156.266	713.351
Total	11.942.667	11.404.401

RUSSIA

January	293.294	259.968
February	405.555	234.854

第二編　「ソヴィエト」聯邦黑海沿岸地方

第一章　「ソヴィエト」聯邦外國貿易概觀

第一節　概說

歐洲大戰に至る迄露國の對外貿易は逐年發展し來れるが大戰開始と共に國內の產業機關は擧て戰時品の製造に忙殺せられ國內の一般需要を充すに足らず從て輸出貿易頓に減退し同時に輸入貿易額著敷膨脹せり然るに一九一七年末「ソヴィエト」政權の樹立以來內には各處に反革命軍の蹶起あり外部よりは封鎖せられ國內の產業組織は玆に全く破壞せらるゝに至れり「ソヴィエト」政府は鋭意之が復舊に努めたるも資本及物資窮乏を告げ他方國外市場は之を悉く失ひたる結果左表に示すが如く一九一八年より二〇年に至る間は對外貿易全く休止の狀態に在り一九二一年に至り初めて幾分恢復の機運見えたるも一九二一年より二二年に亙り復々饑饉に遭遇し露國の主要輸出品たる食料品は却て之を外國に仰ぐの已むなきに至り貿易好轉の機運も玆に一頓坐を見たり。

斯くて一九二三年に入るや「ソヴィエト」の聯邦組織完成し聯邦產業組織の基礎も略確立し外國

貿易の將來に一沐の曙光を認め翌二四年に入りては英、佛、伊を始め墺、匈、希、那威、瑞典、丁抹、支那、墨西哥等の諸國相次で「ソヴィエト」政府を承認し茲に「ソヴィエト」政權の對外的基礎も略々安泰となり外國貿易又一般の躍進をなしたること左表に示すが如し。

年次	輸入價額（千留）	輸出價額（千留）
一九一三年	一、三七四、〇三四	一、五二〇、一三五
一九一四年	一、〇九七、九九二	九五六、〇九〇
一九一五年	一、一三八、五六四	四〇一、八三四
一九一六年	二、四五一、一九九	五七七、二九七
一九一七年	二、三一六、七四八	四三六、九六三
一九一八年	五七、二七四	七、五三四
一九一九年	六〇五	—
一九二〇年	二九、三一一	一、三九七
一九二一年	二三二、四二九	二〇、一九五
一九二二年	四五八、三六〇	八一、六二一
一九二三—二四年（自十月至翌年九月）	二〇〇、五三三	三三九、六八九
一九二四—二五年（〃　〃）	六三三、三一一	五〇七、八四四

註　右統計は歐露國境（高加索を含む）通過の貨物のみなり

以下準之。但し右以外の輸出入貨物は極めて僅少なり

右數字に依り明かなる如く「ソヴィエト」聯邦の對外貿易は最近著敷發展をなしたりと雖之を一九一三年に對比するに輸出總額に於ては一九二三—二四年は一九一三年の二割二分三厘、一九二四—二五年は三割三分四厘に過ぎず又輸入總額に於ては一九二三—二四年は一九一三年の一割四分六厘、一九二四—二五年は四割六分を出でず「ソヴィエト」聯邦の外國貿易が大戰前の狀態に復歸する迄には尚時日を要すべし。

第二節　各國の對露貿易狀態

各國の對露貿易狀態を見るに戰前對露貿易の首位を占めたるは獨逸にして一九一三年度に於ては歐露輸入總額の四割二分は之を獨逸に仰ぎ次は英國、支那、米國の順序なりしが一九二三—二四年度に於ては米國一躍對露輸出國の第一位を占め英、佛、之に追隨し一九二四—二五年度に於

ては米國よりの輸入更に激增し米國は歐露全輸入額の二割九分七厘を供給し英は一割七分、獨は一割六分にして右三國よりの輸入額は全體の六割二分七厘を占む此外芬蘭、瑞典、和蘭等對露輸出に活動せるも其額に於ては右三國に比し遙かに少額なり（別表㈢）

而して米國よりの輸入品中主要なるは大戰前より主として原料品及半加工品にして一九二三—二四年及二四—二五年度に於ても依然棉花を主とする原料品首位を占む但し二四—二五年度に於ては食料品の輸入激減せり。

英國よりの輸入も又護謨、單寧、棉花、羊毛等を主とする原料品及半加工品にして機械類及絹織物等の工業製造品之に次ぐ。

獨逸よりの主たる輸入は塗料及諸種化學製品を主とする原料及半加工品竝工業機械農具醫療器械を主とする工業製造品なり（別表㈣參照）

最近著敷膨脹したる米露貿易關係發展の跡を一瞥するに大戰中米の對露輸出急速の發展をなし同時に露の對米輸出も漸增せり即ち左表の如し。

年次	米よりの輸入額	對米輸出額
一九一三年	一〇〇（とす）	一〇〇（とす）
一九一四年	一〇一	六二
一九一五年	三二七	二七
一九一六年	八八七	二〇一
一九一七年	二九三	一八八

然るに「ソヴィエト」政權樹立以來、一九二〇年に至る間は貿易關係殆ど中絶したるが二一年に至り稍恢復の兆候を呈し二四—二五年度に至りて米よりの輸入は一九一三年當時の二倍歐露の對米輸出は略一倍半に達するに至れり。

年次	米よりの輸入額（一九一三年度を一〇〇とす）	對米輸出
一九一八年	二一・四	四・八
一九一九年	〇・〇	〇・〇
一九二〇年	三・〇	〇・〇
一九二一年	一九・〇	〇・〇
一九二二年	一四・二	〇・〇
一九二三—二四年	六三・一	四二・四

一九二四—二五年　二三八・一　一四九・五

第三節　聯邦內地方別輸出入狀態

更に歐露に對する貨物の出入を國境別に表示すれば左の如し。

國境別	一九二三—二四年 輸入價格(千留)	一九二三—二四年 輸出價格(千留)	一九二四—二五年 輸入價格(千留)	一九二四—二五年 輸出價格(千留)
白海沿岸	一、五六二	二一、五一七	一、二二五	三六、九八九
「ムルマン」海沿岸	四八、二二六	二、七〇六	一三四、三八五	一、五八七
「セレル」芬蘭國境	一八	三七二	二六四	九三〇
露、芬蘭國境	九、八一九	七、〇二七	三二、九八一	一、五四六
露「パルチック」海沿岸	八七、八三〇	五三、八八五	二七一、四〇五	一六〇、八三四
露「エストニア」國境	一一、二七五	一六、六八二	六、六五七	五、〇三〇
露「ラトビア」國境	一〇、七八三	三四、四〇四	二〇、五八一	七四、七八三
白露「ラトビア」國境	四七七	一〇、〇四〇	一、九六五	〇、二〇二
白露、波蘭國境	六、四二七	三、二〇五	二一、〇八五	三、八二二
「ウクライナ」波蘭國境	二、一三六	二、八八七	一二、八六二	一五、六四八
「ウクライナ」羅馬尼國境	—	—	—	—
「ウクライナ」黑海沿岸	六、八五六	六一、一〇一	六〇、六九二	三五、九六三
「クリシア」黑海沿岸	七六	一一、〇一三	一、八二九	九、二五〇
「ムクラナイ」「アゾヴ」海沿岸	〇一	九、九五八	八八七	一一、四三三
露「アゾヴ」海沿岸	一〇	四、三二一	五	五、二三三
露、黑海沿岸	五、四三五	六一、八七八	三二、八六三	六七、三〇二
後高加索黑海沿岸	五、九〇二	八、五五九	二四、七〇四	五八、二九三
其他の國境	三、七〇一	一七九	八、九二一	—
計	二〇〇、五三三	三三九、六八九	六三三、三一一	五〇七、八四四
內陸境よりの輸出入額	四〇、九三五	七四、五七三	九六、三九五	一二〇、九六〇
總額に對する百分比	二〇、四%	二二、〇%	一五、二%	二三、八%
海港よりの輸出入額	一五九、五九八	二六五、一一六	五三六、九一六	三八六、八八四

同上百分比	七六、六%	七八、〇%	八四、八%	七六、二%

註　前表中略語「露」とあるは「ソヴィエト」聯邦中の勞農露國を意味す。

右の表に依り明なる如く輸出入共七割乃至八割は船舶に依るものにして輸入最も多きは主として「レニングラード」を經由する露「バルチック」沿岸及極北の「ムールマンスク」港を經由する露「バルチック」沿岸とす「レニングラード」及「ムールマンスク」港は共に鐵道に依り莫斯科に連絡せられ此等二港に輸入せられたる貨物は大部分露都に集中せらるゝものなり蓋し對露輸出の主要國が米、英、獨及「バルチック」沿海諸國なるに顧みれば此等北方の海港が輸入港として最も形勝の地位に在るは明白にして殊に「ムールマンスク」港は不凍港なるに依り冬季の輸入に最も便利なり黑海沿岸の諸港は之に次ぎ重要なる輸入港なるが一九二四—二五年に於ては「オデッサ」港を主要港とする「ウクライナ」黑海沿岸前記北方二沿岸に次ぎ最も多額の輸入をなせり。

反之輸出貿易は主として肥沃なる白露「ウクライナ」地方を背景とする「オデッサ」港及北高加索の沃野と石油、石炭の產地を控へたる「ノーウオロシースク」最も重要にして一九二三—二四年に於ては此等二港を主要港とする「ウクライナ」黑海沿岸及露、黑海沿岸よりの輸出額首位を占め「レニングラード」よりの輸出之に次げり然るに一九二四—二五年に於ては別表(二)に示す通り穀類の輸出額前年度の半にも達せず食料品の輸出總額に於て前年度の五割減となりたるに反し木材毛皮等の輸出激增したる結果露「バルチック」海沿岸よりの輸出額嶄然として頭角を現し「ウクライナ」黑海沿岸よりの輸出額は激減するに至れり。

第四節　「ソヴィエト」聯邦の貿易機關

第一款　總說

「ソヴィエト」聯邦の外國貿易は專ら聯邦政府の權限に屬し、國家の獨占を原則とするものなるは周知の事實なるが、行政機關たる政府が、直接取引の衝に當るに付ては、種々不備不便の伴ふ事を認め、一九二一年春、新經濟政策實施以來は、國家機關の外に或は國立株式會社の如き、或は內外合併會社の如きを設立し、又は外國商社の「ソヴィエト」聯邦內に於ける、活動を認可し、此等諸機關をして、實際取引の掌に當らしめ、聯邦貿易部は、單に之が指揮監督を行ふ事となれり其結果は、直に聯邦の對外貿易の上に現れ、一九二二年以來其貿易額は、異常の增加を示すに至りたるが而も貿易國家獨占の原則は依然として、如舊、貿易省の指揮監督は極めて峻嚴にして此等貿易機關の輸出入額、若は輸出入商品の種類等、廣汎微細の點に迄及び、常に輸出入の均衡

を得る事に努力し居る爲、聯邦の貿易は未だ十分の發展をなし得ず、一九二四—二五年の貿易額を大戰直前の一九一三年に對比すれば、輸出は三割三分四厘、輸入は四割六分に過ぎず。未だ樂觀し居る時期に達したりと謂ひ得ず又貿易機關の方面に於ても、可成國營機關をして外國貿易の掌に當らしめ、「コンセッション」に依る內外合辨會社、若は外國商社の貿易は極めて特殊の補助機關として取扱ふの傾向あり。從て此等合辨會社、若は外國商社に依る貿易額は極めて僅少なる現狀なり試に此等「ソヴィエト」聯邦外國貿易機關を分類し、其貿易額を示せば左の如し。

第二款　國營企業及官廳

玆に國營企業と謂ふは、國家直營の企業を意味するものにして、國立株式會社の如きは、之を含まず。而して此意味の國營企業は、大別して二となす事を得。貿易を主たる目的とするもの及製造工業又は國內配給を目的とするもの是なり。

(一)　國家輸出入局「ゴストルグ」は、貿易を主たる目的とする國營企業にして、外國貿易部が、直接貿易の掌に當らしむる爲、同部直屬の機關として設立せる法人にして、聯邦內地各地方に支部を有し、「ウクライナ」共和國に在るは略稱「ウクル、ゴストルグ」と稱し、白露共和國に在るは「ベル、ゴストルグ」と稱す。倫敦及伯林に主たる在外事務所を有し、毛皮、木材、農產物等、原料品の輸出及農具、雜貨等の輸入に從事し、其外國市場に於ける商取引は、在外通商代表（トルグブレッド）の指揮監督の下に在り。

(二)　國營商工企業、貿易を主たる目的とするものに非ざるが故に、其輸出し得る商品は、原則として自己の製造に係るものに限られ、其輸入し得る商品は、當該企業に必要なる商品竝使用勞働者の生活必需品に限られ、輸入せる商品の轉賣は、之を禁ぜらる。

然るに「ソヴッエト」聯邦は、可成外國より工業原料品を輸入し、之を國內に於て加工するの主義を把持し居る結果、此等商工企業に依る、輸出入は聯邦貿易額の主要なる部分を占むるものとす。

(三)　尙中央及地方の行政官廳は、自らの必要物資に限り、外國と取引するを得、又外國貿易に關係ある聯邦內共和國の經濟會議等は、自己の代表者を在外通商代表機關の構成員として派遣し、通商代表の名に於て、取引を行ふの權利あり。但し「ウクライナ」以下數箇の經濟會議は、直接自己の代表を通じ、取引するの特權を賦與せらる。

而して此等國營企業及官廳の貿易額を見るに、一九二四—二五年度に於て、輸出は二億四千萬留、同年聯邦輸出總額の四割七分三厘を占め、輸入は五億四千八百萬留に上り同年輸入總額の八

割六分六厘を占む、一九二六年前半期(自一九二五年十月至一九二六年三月)、に於ても、輸出は一億千萬留を超え同期聯邦輸出總額の三割六分を占め、輸入は三億七百萬留にして、輸入總額の八割一分七厘を占め、「ソヴィエト」聯邦貿易界に於ける、最重要なる地位を占めつゝあるを知る。

第三款　「コオペラチヴ」

「コオペラチヴ」は原則として貿易部の特許に依り輸出入に從事する事を得るものなるが、(1)全露消費組合中央聯合「ツエントロ、ソユーズ」、其他同種組合例へば(2)「ウクライナ、コオペラチヴ」の如きは、其所有に係る商品を直接外國に對し、販賣するの權利を賦與されて居り、其爲に「ツエントリユーズ」は、其代表を外國に駐在せしむる事を得。此外(3)全露農村組合聯合「セリスコソユーズ」、(4)全露產業組合聯合「フセヱ、コオ、プロム、ソユーズ」、(5)亞麻組合「リノツエントル」、(6)牛酪組合「マースロツエントル」、等何れも在外通商代表付として、自己の代表者を駐派せしめ、通商代表監督の下に、外國市場に於て商取引を行ふ事を得るものなり。

「コオペラチヴ」の貿易額は、他の國家機關の貿易額に比するに、僅少なるを免れざるも、尙一九二四—二五年度に於て、輸出は六千三百萬留にして、聯邦總輸出額の一割二分を占め、輸入は二千四百萬留にして、總輸入額の三分八厘に當るを見る。又一九二六年前半期(自一九二五年十月至一九二六年三月)に於て、輸出は三千五百五十萬留に上り、同期總輸出額の一割一分を占め、輸入は三千百九十萬留にして、同期總輸入額の八分五厘を占む。

第四款　國立貿易株式會社

此種の會社は、聯邦の外國貿易殊に輸出貿易の促進を計る爲に創立されたものにして從て其輸出額は常に遙に輸入額を超過し一九二二年三月十三日附、外國貿易法(第二條)に依れば、國內に於ける輸出向商品の製產及其輸出を計る爲、並國內の需要商品及國內產業復興に必要なる物資の圓滑なる輸入を計る爲、特に貿易を目的とする株式會社の創立を許可する事となり居るが、斯く株式會社は「ソヴィエト」政府の設立に係る、國立貿易株式會社たると、內外合辦株式會社たるとを問はず、私立會社としての權利義務を有し、各會社の權利義務の細目は、會社定款に依り別々に規定され居り、輸出入に就ては、一々貿易部の免許を得るを要する事は勿論なり。

國立貿易株式會社の一九二四—二五年度に於ける輸出額は、一億六千萬留に上り、同年聯邦輸出總額の三割一分六厘を占め、輸入額は四千五十萬留にして、聯邦輸入總額の六分四厘に當る。又一九二六年前半期(自一九二五年十月至一九二六年三月)に於ける輸出額は、一億四千萬留を超

え、實に同期に於ける聯邦輸出總額の四割五分六厘を占む、之に對し同期の輸入額は、二千四百萬留にして、聯邦輸入總額の六分四厘に當るに過ぎず。

第五款　内外合辦會社及外國商社

外國の個人、若は團體に對し、産業上又は貿易上の「コンセシッション」を許與し、「ソヴィエト」聯邦内に於ける活動を認むる事は、「ソヴィエト」聯邦の産業及貿易國家獨占制度に對する一大讓歩とも謂ふ可く此制度に基き、外國の企業團若は私人は「ソヴィエト」國家と、契約を締結し其契約の範圍内に於て「ソヴィエト」商工界に活動するを得るものとす。

抑も産業に關する「コンセッション」は、既に一九二〇年十一月二十三日附の利權法に依り認められたものなるが、其後前掲一九二二年三月十三日附の、外國貿易法に依りて、外國貿易に關する内外合辦會社の設立を認められ、次で一九二三年五月十二日附、外國商社に關する規定に依り、單なる外國商社も亦特許を得て、外國貿易に從事し、及國内商業を營む事を認められたり、斯く「ソヴィエト」聯邦の産業及貿易界に、外國資本の參加を許與せる理由は、(一)大戰以來極度に破壞疲弊せる産業及輸出貿易の復興を促進する爲、外國資本及外國の優秀なる技術を招致すること、(二)未だ國内に於て知られざるか、又は十分の發達を見ざる産業の確立及對外輸出向商品の製造(三)内外市場の緊密なる連絡を保持し、輸出貿易の促進を計らんが爲なり。右の如く「コンセッション」制度なるものは、一種政策上の意味を有するものにして外國人に利益を與ふるを目的とするものに非ず、要は聯邦の産業及貿易の復興を念とするものなるが故に、外國人に對する「コンセッション」許與の條件は、相當苛酷と認めらるゝものあり。依て左に貿易に關係ある主要なる、「コンセッション」會社の定款を掲げん。

一　内外合辦會社

第一例　一般商品の取引を許可せるもの。

墺露貿易株式會社「ラタオ」

創立者は墺他利と露との合辦墺他利側は、墺國兵器廠を主班とする墺他利商工業「シンヂケート」及墺他利財團の連合。

創立年月日は、一九二三年五月三十一日契約訂結。

同年六月五日、勞農人民委員會議に依り認可さる。

期間は五箇年。

目的は勞農露國よりの輸出には、契約上特殊の制限なし。輸入は墺他利製品に限る。

資本金は、總額三十萬金留、一株百五十金留とし二千株とす。

出資方法は、當初拂込額二十二萬五千留（資本總額の四分の三）とす。

墺他利側は右四分の三の株式全部を拂込、其内五百株（資本總額の四分の一）を露側に無償交付す。殘餘五百株（四分の一）は、勞農側の本會社より受く可き利益配當に依り拂込む、斯くして勞農側は、墺側と同樣資本の一半、十五萬金留（千株）を出資せる事となる。

貨物信用提供は、墺國側は、合辦會社に對し、一年百萬金留迄の貨物信用を提供す。

會社理事會は、六名を定員とし、露墺各三名宛を出す、社長は露側理事中より選任す。

利益配當方法は、純益資本金の五割迄の時は、露墺折半とす、五割以上の時は、其超過部分は、露側七割墺國側三割を受く。

本店、支店及營業所は、維納、莫斯科、「ハリコフ」、「キイエフ」、「オデッサ」。

營業成績は、創立當初一年間に於ける取引額八十九萬六千留にして、墺國よりの主要輸出品は、農具（墺國兵器廠製造）諸種機械、自動車、自動自轉車及塗料。露よりは農產物、皮革毛皮を輸出す。

墺露貿易株式會社「ルスァヴストルグ」

創立者は、墺露工業「シンヂケート」と、露貿易部。

創立年月日は、一九二三年七月三日契約締結。

目的は、前項墺露株式會社に同じ。

資本は、十一萬弗。

出資方法は、（イ）當初資本の四分の三は、墺露工業「シンヂケート」拂込をなす、（ロ）右の内資本の四分の一（二萬五千弗）は、工業「シンヂケート」より、露貿易部に、無償交付す。（ハ）未拂込資本二萬五千弗は、露側が受く可き利益配當金中より、三年内に拂込を了し、斯く露側も工業「シンヂケート」同樣、資本の半額を出資せる事となる。

期間は、五箇年。

貨物信用提供は、工業「シンヂケート」側は、三百萬留迄の貨物信用を提供す。

尙此種類に屬するものに、露西亞貿易會社（資本金五十萬金留、獨墺企業團と露との合併）露土貿易株式會社（資本金、四十萬金留、土耳古企業團と露との合併）等あり。

第二例　特定物品の取引を許可す。

一九二四年一月以來、外國貿易部は、特定商品の取引を目的とする内外合辦會社の設立を慫慂

し、爾後特種の理由に依る外、一般商品の取引を目的とする、合辦會社の設立を許可せざる事とせり。尤も特定商品取引を目的とする合辦會社の設立は之より以前既に先例あり。

鳥卵輸出株式會社「エッグエクスポルト」

創立者は、「ゼイフェルド」兄弟商會（漢堡）と、「ソヴィエト」外國貿易部。

創立年月日は、一九二三年十月二十日契約訂結。

期間は、六箇年。

目的は、鳥卵及家禽鳥類輸出及販賣。

資本及出資方法は、（イ）資本金三萬磅、（ロ）出資方法は、(a)資本金の四分の三は、「ゼイフェルド」當初之を拂込み、其内七千五百磅（資本金の四分の一）は、「ゼイフェルド」より貿易部に對し無償交付す。(b)資本未拂込額七千五百磅（資本の四分の一）は、本營業に依り受くべき露側利益配當金中より之を拂込み斯くして露側も「ゼイフェルド」と同樣、資本の半額を拂込めるものとす。

理事會は、双方同數の理事を出す。

利益配當方法は、純益資本の四割以下の時は、折半とす。四割以上十割以下の時は、露側六割、「ゼイフェルド」四割とす。十割以上の時は、露側七割、「ゼイフェルド」側三割とす。

營業資金提供は、「ゼイフェルド」商會は、毎年鳥卵買收に必要なる資金の提供を保證す。

爭議調訂法は、本契約に付何等爭議を見る時は、「レーニングラード」取引所委員會は爭議調訂委員を指名し、其仲裁に委す。

第三例　産業利權を主とし、輸出を副とするもの。

英露木材株式會社「ルス、アングロ・レエス」

創立者は、英國企業團と、「ソヴィエト」聯邦國營北部木材「トラスト」との合辦。

創立年月日は、一九二三年三月二十四日。

資本は、十五萬磅（英露折半）。

利權地域は、歐露北部「ヴィチェグダ」河上流百二十二萬「デシャチン」の森材利權を得、「ドヴィナ」河沿岸一帶に製材工場を有す。

外に和蘭露西亞木材株式會社「ルスゴランドレエス」、資本金十五萬磅。及諾威露西亞木材株式會社「ルスノルヴェゴレエス」、資本金三十萬磅あり。共に歐露北部地方に、森林利權を有し、木材の輸出をなし居れり。